

野洲市
高齢者福祉計画・介護保険事業計画
アンケート調査結果報告書

令和2年 3月
野洲市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的.....	1
2	実施概要.....	1
3	報告書の見方.....	2
II	調査結果	3
1	日常生活圏域ニーズ調査	3
1	対象者の属性.....	3
	(1) 介護認定状況.....	3
	(2) 年齢・性別.....	3
	(3) 中学校区.....	4
	(4) 調査票の記入者.....	4
2	対象者の家族や生活状況について.....	5
	(1) 家族構成.....	5
	(2) 介護・介助の必要性.....	6
	(3) 暮らしの状況.....	7
3	からだを動かすことについて.....	8
	(1) 運動機能の状況.....	8
	(2) 外出の頻度.....	11
	(3) 外出控えの状況.....	13
	(4) 移動手段.....	15
4	食べることについて.....	16
	(1) BMI.....	16
	(2) 口腔機能の状況.....	16
	(3) 口腔ケアの状況.....	17
	(4) 体重減少の有無.....	19
	(5) 共食の状況.....	20
5	毎日の生活について.....	21
	(1) 認知機能の状況.....	21
	(2) 手段的日常生活動作の状況.....	22
	(3) 知的能動性の状況.....	27
	(4) 趣味や生きがいの有無.....	28
	(5) 家族や友人、地域の方との付き合い.....	32

6	地域での活動について.....	34
	(1) 地域の会・グループ等への参加状況.....	34
	(2) 地域の会・グループ等への参加意向.....	39
7	たすけあいについて.....	41
	(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人.....	41
	(2) 看病や世話をしてくれる人、してあげる人.....	43
	(3) 相談相手の有無.....	45
	(4) あればよいサービスや助け合い.....	46
8	健康について.....	47
	(1) 主観的健康観.....	47
	(2) 健康のために気をつけていること.....	48
	(3) かかりつけ医・歯科医・薬局の有無.....	49
	(4) 主観的幸福感.....	52
	(5) ゆうつ感や物事に対する興味の喪失感.....	53
	(6) 飲酒習慣.....	54
	(7) 喫煙習慣.....	54
	(8) 治療中や後遺症のある病気.....	55
9	認知症対策について.....	56
	(1) 認知症について知っていたこと.....	56
	(2) 認知症の症状の有無.....	57
	(3) 認知症に関する相談窓口の認知度.....	58
10	成年後見制度について.....	59
	(1) 成年後見制度の認知状況.....	59
11	災害時の対応について.....	60
	(1) 災害時に不安に思うこと.....	60
	(2) 避難時に身近に頼れる人の有無.....	61
	(3) 災害時要援護者への登録希望.....	61
12	市の施策等について.....	62
	(1) 地域包括支援センターの認知状況.....	62
	(2) 保健・福祉・介護保険サービスの情報源.....	63
	(3) 充実させてほしい高齢者施策.....	64
13	在宅医療・終末期医療について.....	65
	(1) 最期を迎えたい場所.....	65
	(2) 在宅療養の可否.....	66
	(3) 自宅療養が実現困難な理由.....	67

(4) アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の認知状況.....	68
14 自由意見.....	69
2 生活機能評価等に関する分析	71
1 生活機能評価.....	72
(1) 運動器の機能低下.....	72
(2) 閉じこもり傾向.....	74
(3) 転倒.....	76
(4) 低栄養の傾向.....	78
(5) 認知機能の低下.....	80
(6) うつ傾向.....	82
2 日常生活評価.....	84
(1) 手段的自立度 (IADL)	84
3 在宅介護実態調査.....	87
1 調査対象者の属性.....	87
(1) 性別.....	87
(2) 年齢.....	87
(3) 要介護度.....	87
(4) 認知症高齢者の日常生活自立度.....	87
(5) サービス利用状況.....	88
2 調査対象者の状況.....	89
(1) 聞き取り相手.....	89
(2) 世帯類型.....	89
(3) 家族等による介護の頻度.....	90
3 主な介護者について.....	92
(1) 主な介護者.....	92
(2) 主な介護者の性別.....	92
(3) 主な介護者の年齢.....	92
(4) 主な介護者が行っている介護の内容.....	93
(5) 介護離職の有無.....	95
4 支援・サービスの利用について.....	96
(1) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況.....	96
(2) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス.....	97
(3) 施設等への入所・入居の検討状況.....	99
(4) 現在抱えている傷病.....	100

(5) 訪問診療の利用状況.....	101
(6) 介護保険サービスの利用状況.....	102
(7) 介護保険サービスを利用していない理由.....	103
5 主な介護者の就労等について.....	104
(1) 主な介護者の就労状況.....	104
(2) 主な介護者の勤務調整の有無.....	105
(3) 仕事と介護の両立に効果的な支援.....	106
(4) 就労継続の可否.....	107
(5) 主な介護者が不安に感じる介護.....	108
参考資料（調査票）	109

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、市内にお住まいの高齢者の普段の生活や健康状態などをお伺いし、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする第8期野洲市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定のための基礎資料として活用することを目的とするものです。

2 実施概要

	調査区分	
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
(1) 調査対象	①65歳以上の要介護・要支援認定者を除く高齢者の中から無作為抽出 ②要支援1、2の認定者全員	在宅で生活している要支援・要介護認定者のうち、更新申請及び区分変更に伴う認定調査を受ける高齢者
(2) 調査実施期間	令和2年1月10日(金) ～令和2年1月24日(金)	令和元年5月1日(水) ～令和元年12月31日(火)
(3) 調査方法	郵送配布・郵送回収	認定調査員による聞き取り調査
(4) 配布数	①一般高齢者 1,512件 ②要支援認定者 487件	上記期間の対象者に実施
(5) 有効回収数 [有効回収率]	①一般高齢者 1,122件 [74.2%] ②要支援認定者 356件 [73.1%]	454件

3 報告書の見方

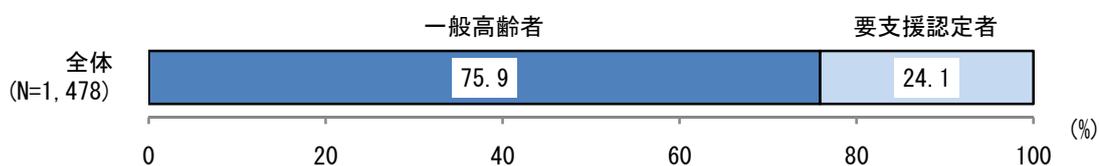
- (1) 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単一回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に以下の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
- ・ MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 LA% (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- ※特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。

Ⅱ 調査結果

1 日常生活圏域ニーズ調査

1 対象者の属性

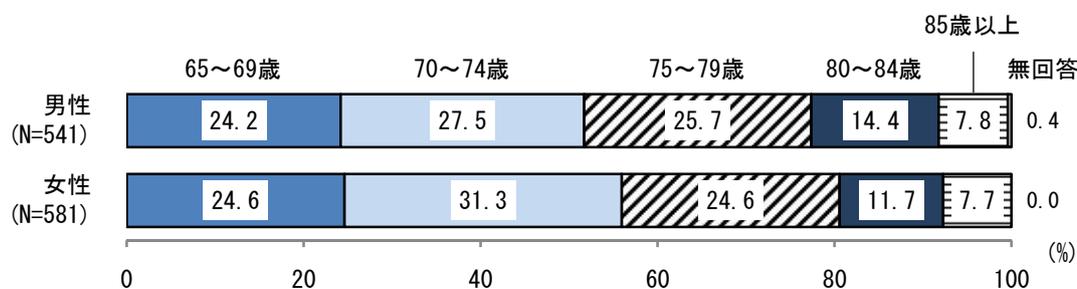
(1) 介護認定状況



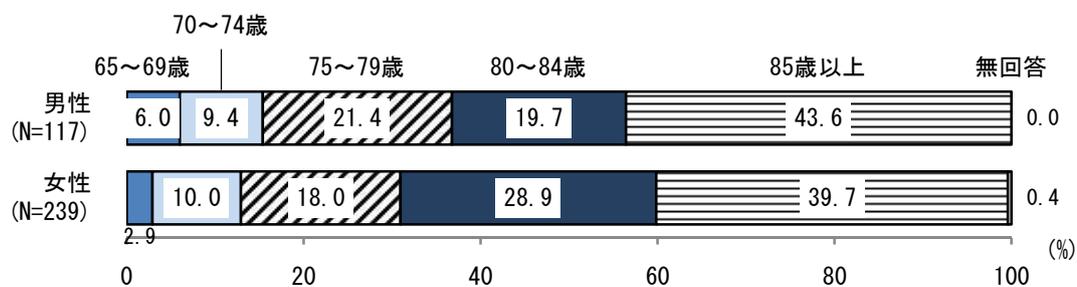
一般高齢者が 75.9%、要支援認定者が 24.1%となっています。

(2) 年齢・性別

【一般高齢者】

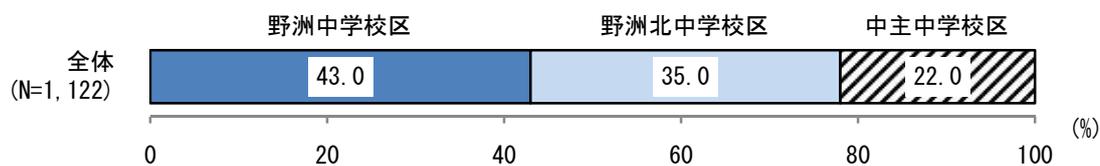


【要支援認定者】



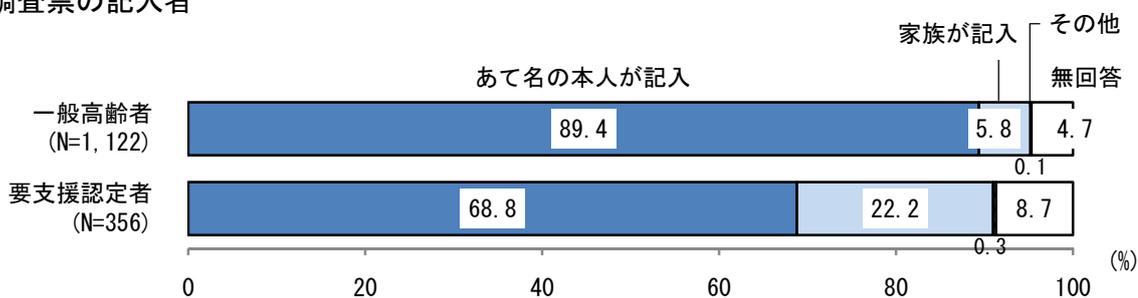
一般高齢者は 79 歳以下が多く、男性で 77.4%、女性で 80.5%となっています。
要支援認定者は 80 歳以上が多く、男性で 63.3%、女性で 68.6%となっています。

(3) 中学校区 ※要支援認定者を除く



要支援認定者を除く一般高齢者 1,122 人のうち、野洲中学校区在住者は 43.0%、野洲北中学校区在住者は 35.0%、中主中学校区在住者は 22.0%となっています。

(4) 調査票の記入者



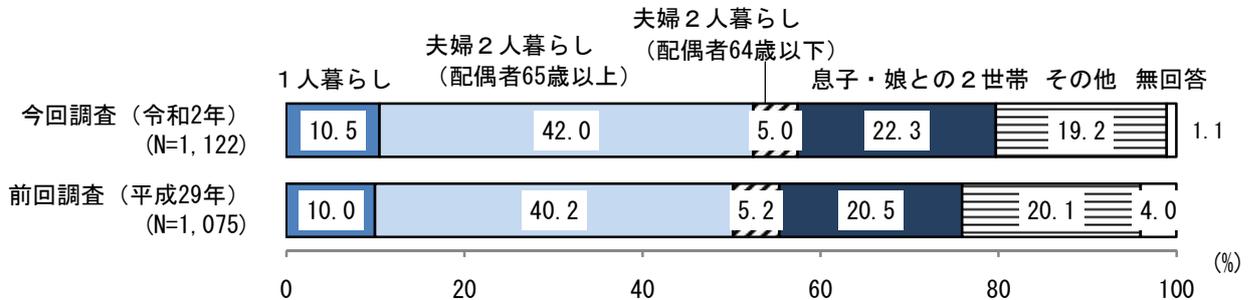
調査票の記入者は、一般高齢者、要支援認定者ともに「あて名の本人が記入」が最も多く、一般高齢者で9割 (89.4%)、要支援認定者で7割 (68.8%) となっています。要支援認定者では、「家族が記入」も2割 (22.2%) ほどみられます。

2 対象者の家族や生活状況について

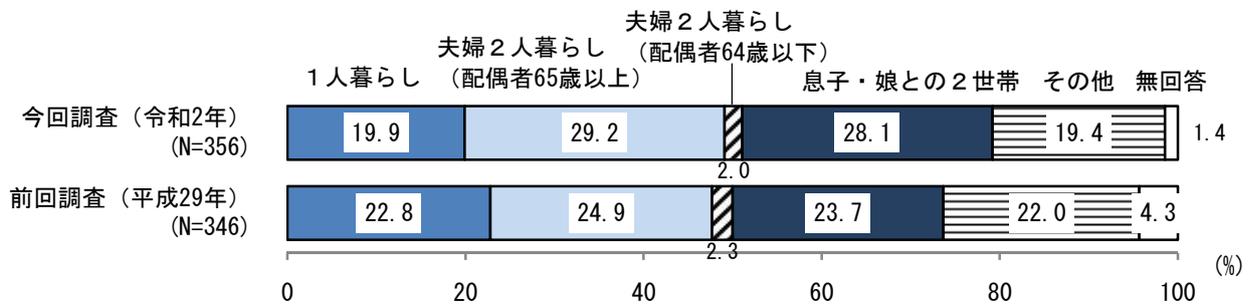
(1) 家族構成

問1 家族構成をお教えてください（○は1つ）

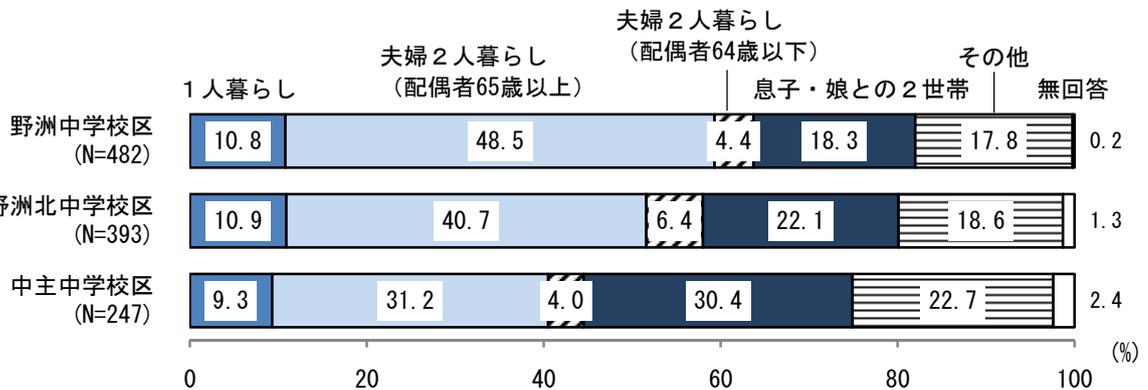
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



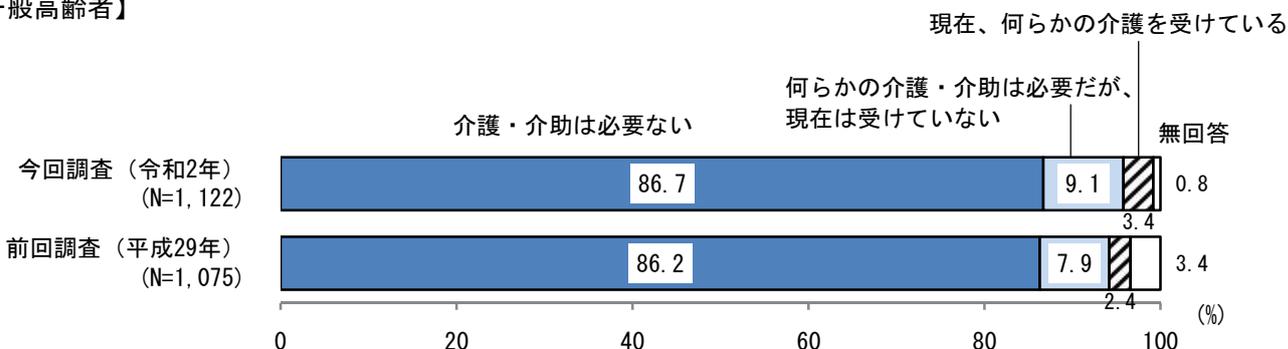
家族構成については、一般高齢者では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が42.0%と最も多く、次いで、「息子・娘との2世帯」が22.3%、「1人暮らし」が10.5%となっています。要支援認定者も「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が29.2%と最も多く、次いで、「息子・娘との2世帯」が28.1%となっていますが、「1人暮らし」の割合が19.9%と一般高齢者より多くなっています。

中学校区別にみると、野洲中学校区では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が48.5%と他の地区より多く、中主中学校区では「息子・娘との2世帯」が30.4%と多くなっています。

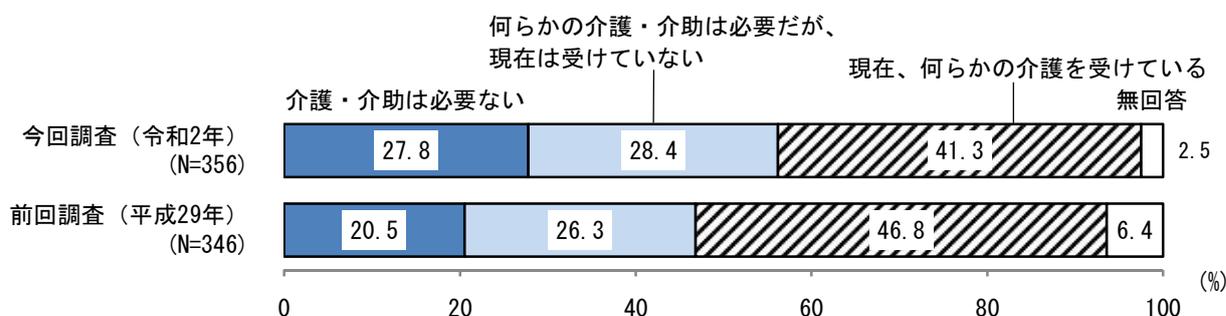
(2) 介護・介助の必要性

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は1つ）

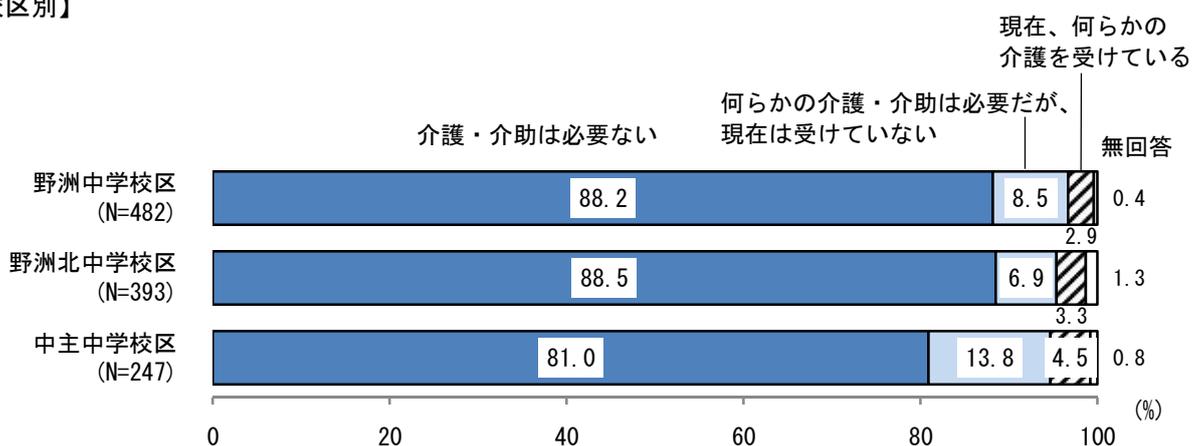
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



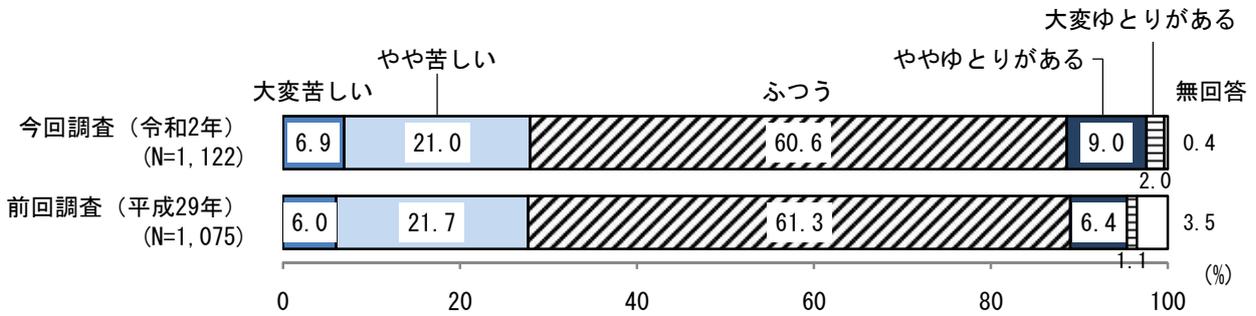
普段の生活で何らかの介護が必要な人（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」の合計）は、一般高齢者では 12.5%、要支援認定者では 69.7% となっています。

中学校区別にみると、何らかの介護が必要な人は中主中学校区で 18.3%と他の地区より多くなっています。

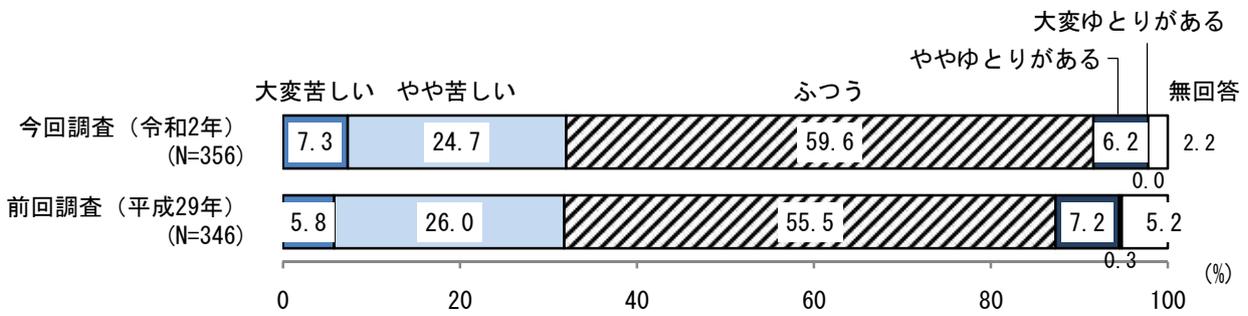
(3) 暮らしの状況

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

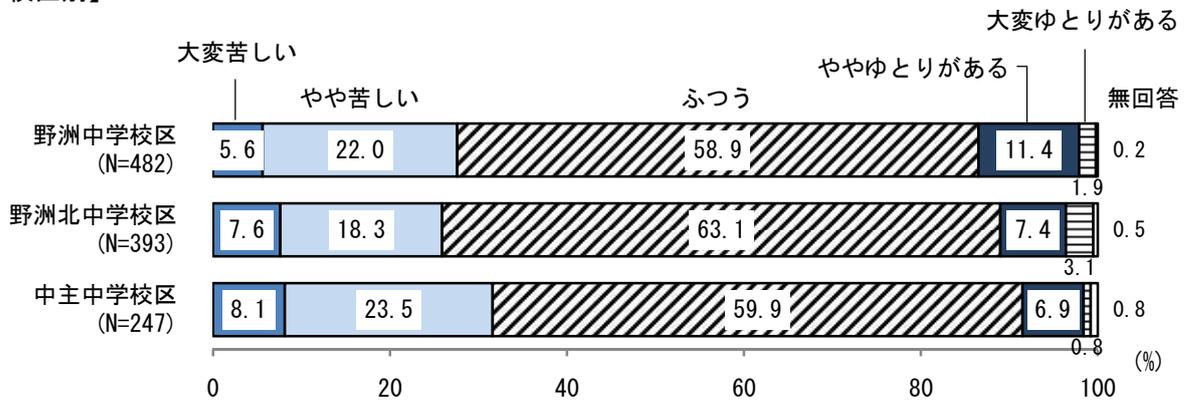
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



現在の暮らしの経済的な状況については、一般高齢者では、『苦しい』（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）が 27.9%、『ゆとりがある』（「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合計）が 11.0%となっています。要支援認定者では、『苦しい』が 32.0%、『ゆとりがある』が 6.2%となっています。

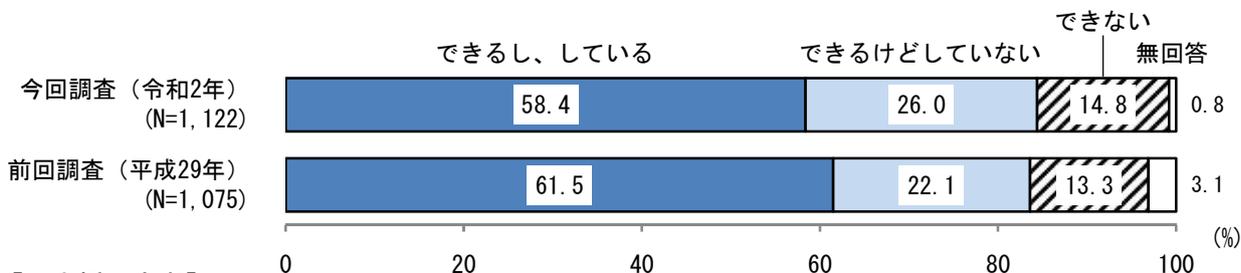
中学校区別にみると、中主中学校区で『苦しい』が 31.6%と他の地区よりやや多くなっています。

3 からだを動かすことについて

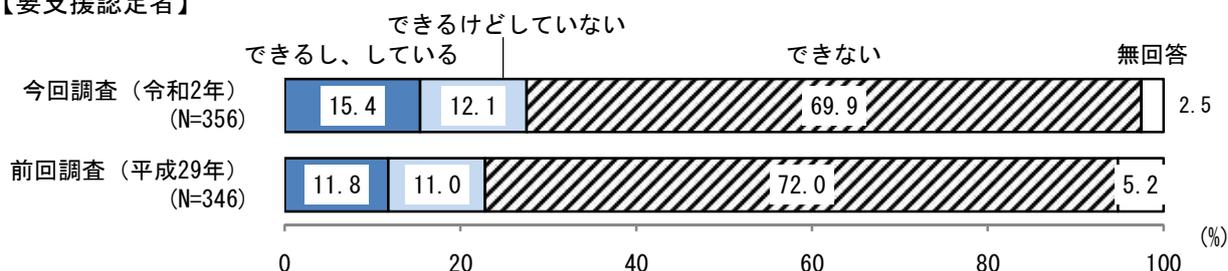
(1) 運動機能の状況

問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

【一般高齢者】



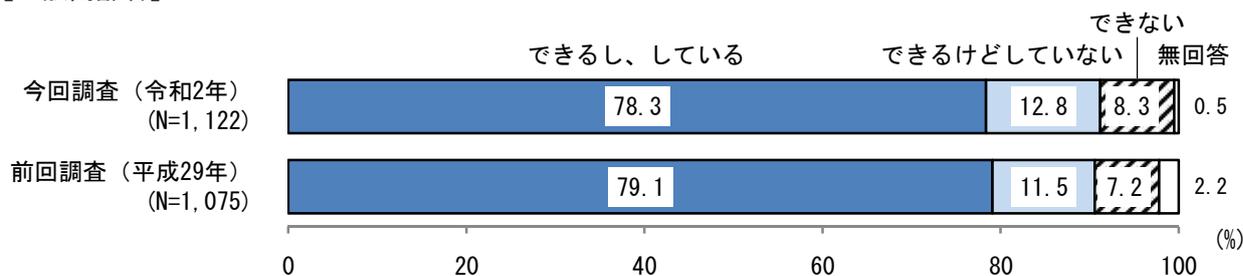
【要支援認定者】



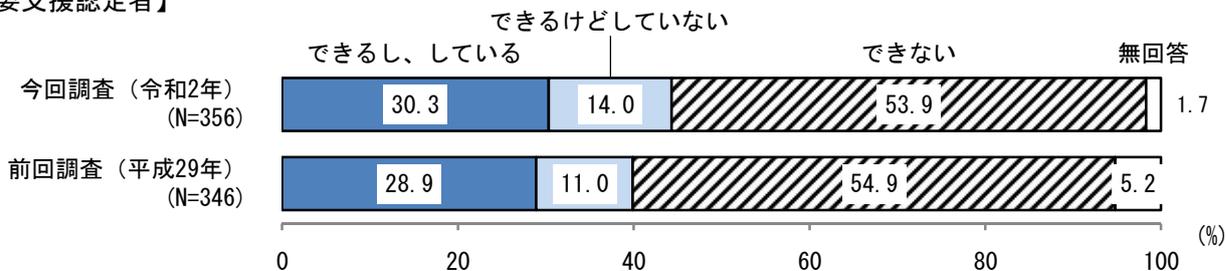
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、一般高齢者では「できるし、している」が58.4%と多く、要支援認定者では「できない」が69.9%と多くなっています。

問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

【一般高齢者】



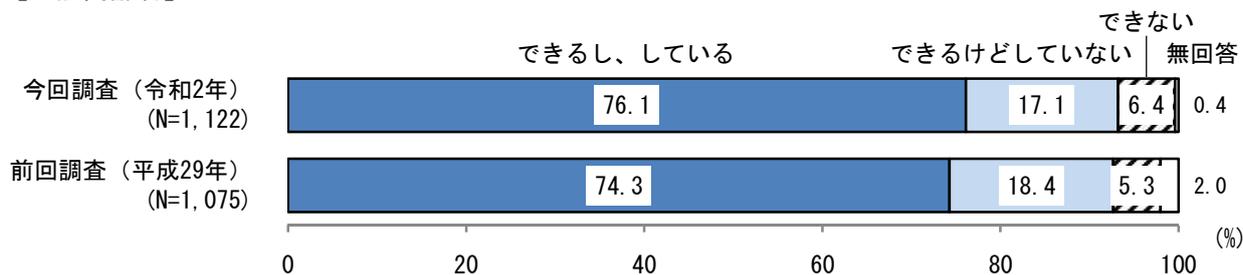
【要支援認定者】



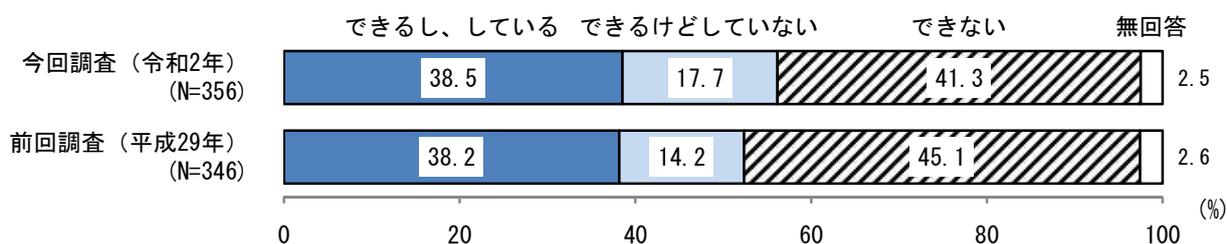
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、一般高齢者では「できるし、している」が78.3%と多く、要支援認定者では「できない」が53.9%と多くなっています。

問6 15分位続けて歩いていますか（○は1つ）

【一般高齢者】



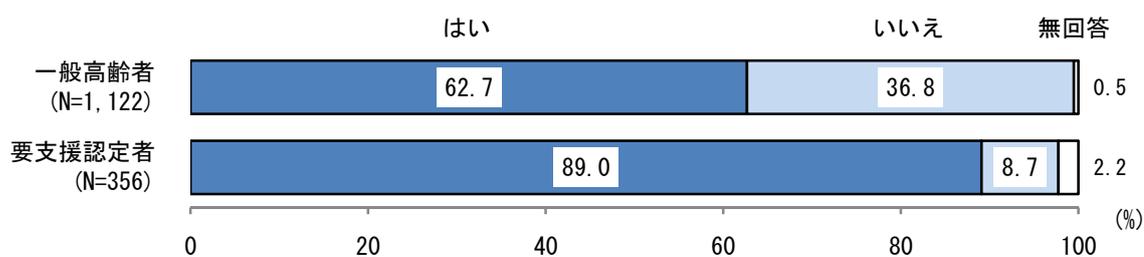
【要支援認定者】



15分位続けて歩いているかについては、一般高齢者では「できるし、している」が76.1%と多く、要支援認定者では、「できない」が41.3%と多くなっています。

問7 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか（○は1つ）

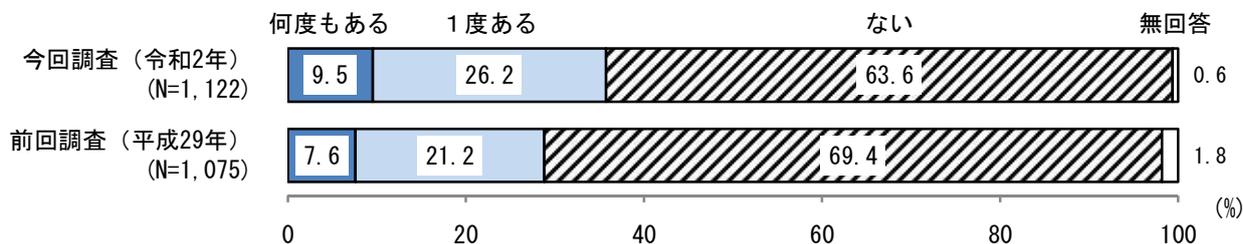
※前回調査では、設問なし



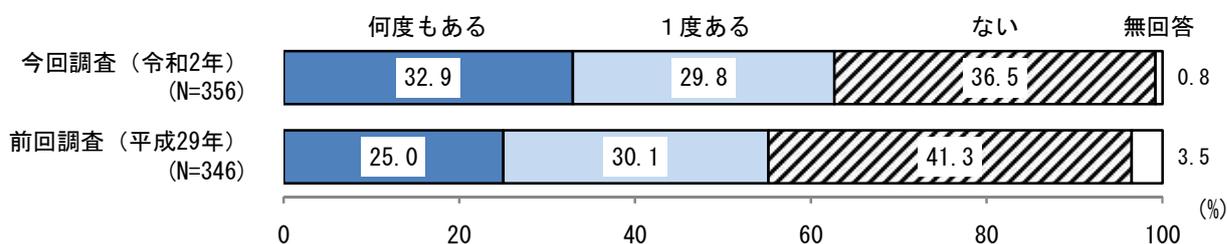
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う（「はい」と回答した）人は、一般高齢者では62.7%、要支援認定者では89.0%となっています。

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか（○は1つ）

【一般高齢者】



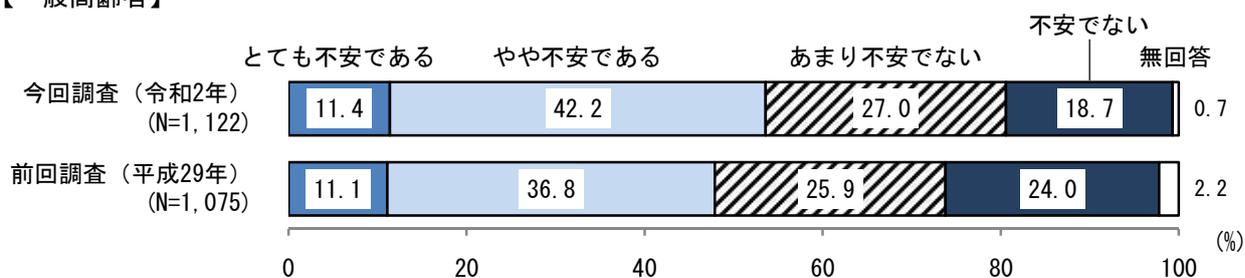
【要支援認定者】



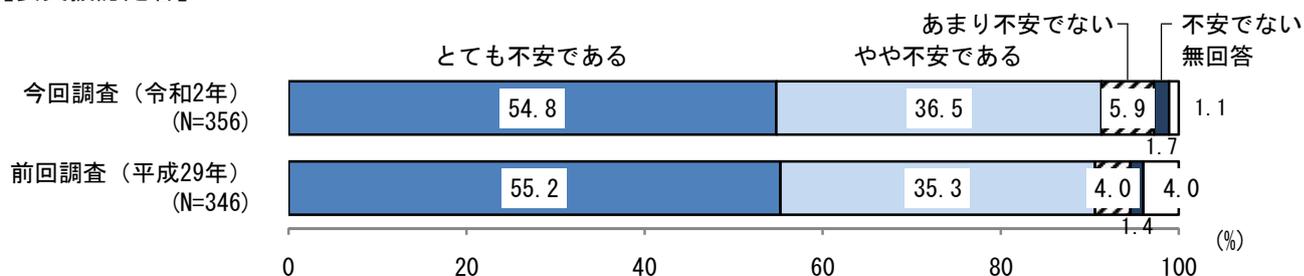
過去1年間に転んだ経験が『ある』（「何度もある」と「1度ある」の合計）と回答した人は、一般高齢者では35.7%、要支援認定者では62.7%となっています。

問9 転倒に対する不安は大きいですか（○は1つ）

【一般高齢者】



【要支援認定者】

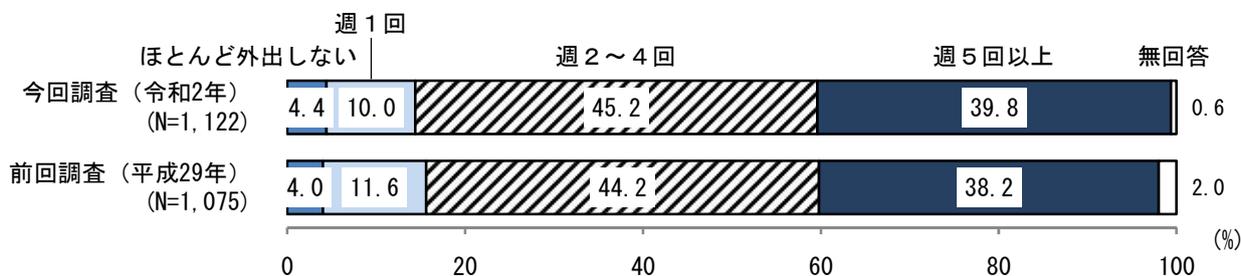


転倒に対して『不安である』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）と回答した人は、一般高齢者では53.6%、要支援認定者では91.3%となっています。

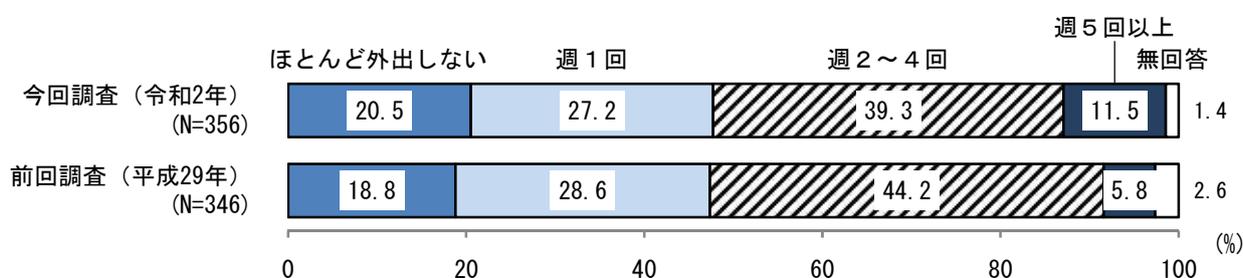
(2) 外出の頻度

問10 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

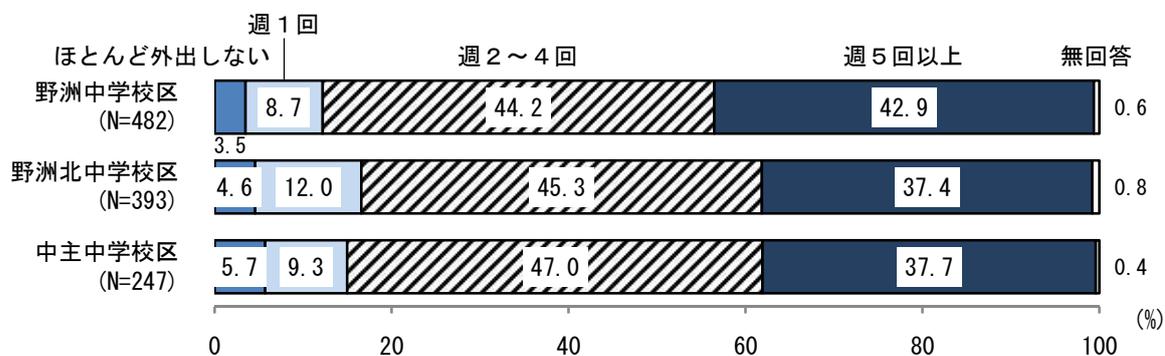
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】

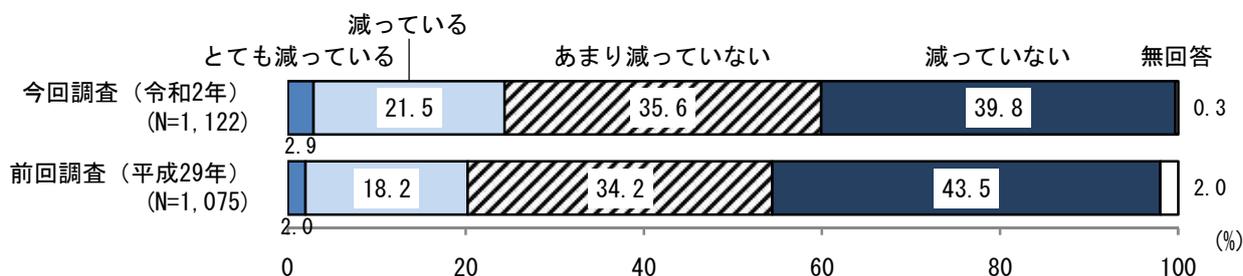


外出の頻度については、一般高齢者では「週2～4回」が45.2%と最も多く、次いで、「週5回以上」が39.8%となっています。要支援認定者も「週2～4回」が39.3%と最も多くなっていますが、『週1回以下』（「週1回」と「ほとんど外出しない」の合計）の人が合わせて47.7%と半数近くを占めています。

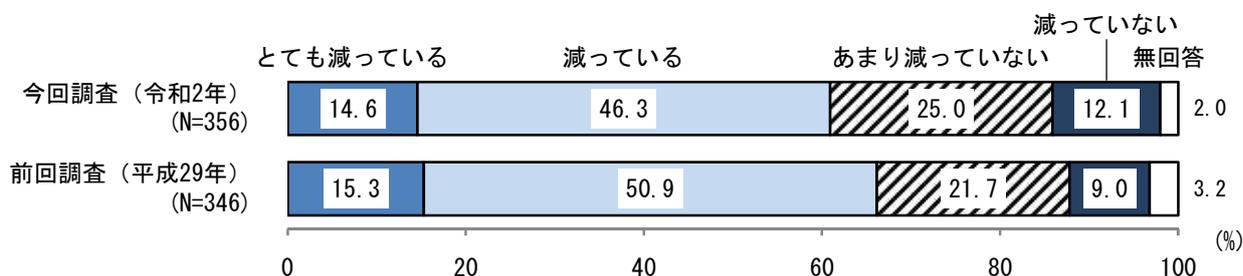
中学校区別にみると、野洲中学校区では他の地区に比べて外出頻度がやや高くなっています。

問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（○は1つ）

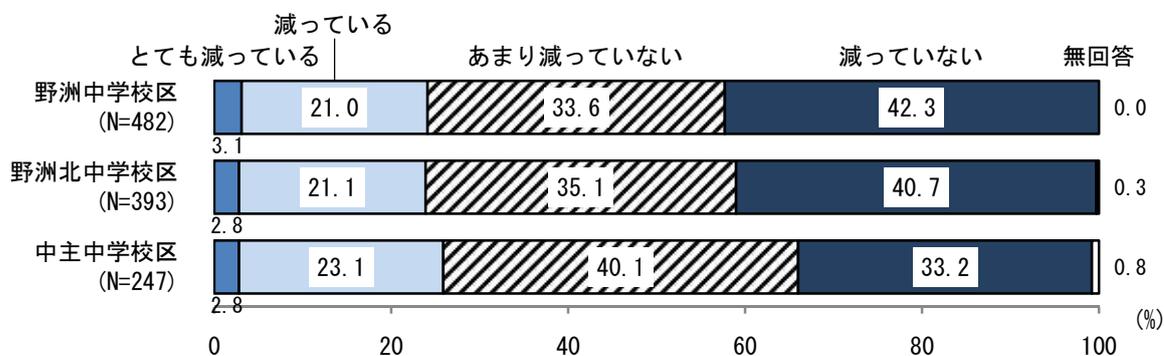
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



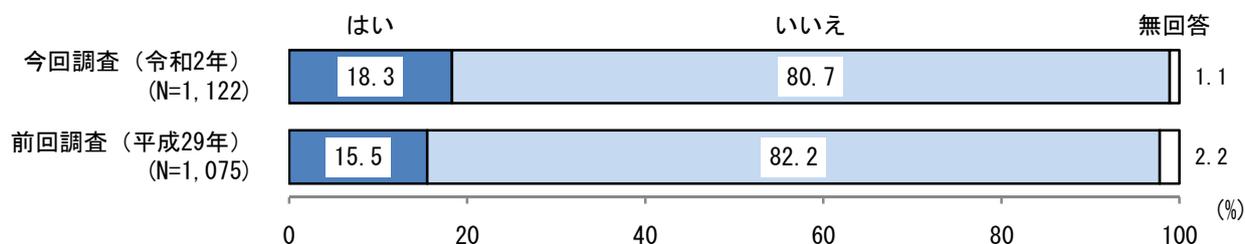
昨年と比べての外出回数の変化について、一般高齢者では、『減っている』（「とても減っている」と「減っている」の合計）が 24.4%、『減っていない』（「あまり減っていない」と「減っていない」の合計）が 75.4%で、要支援認定者では、『減っている』が 60.9%、『減っていない』が 37.1%となっています。

前回調査に比べて、要支援認定者では『減っている』が 5.3 ポイント減少しています。
中学校区別には、大きな差はみられません。

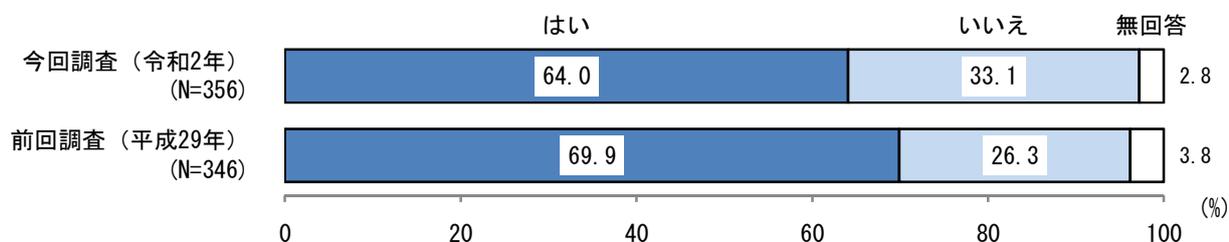
(3) 外出控えの状況

問 12 外出を控えていますか (○は1つ)

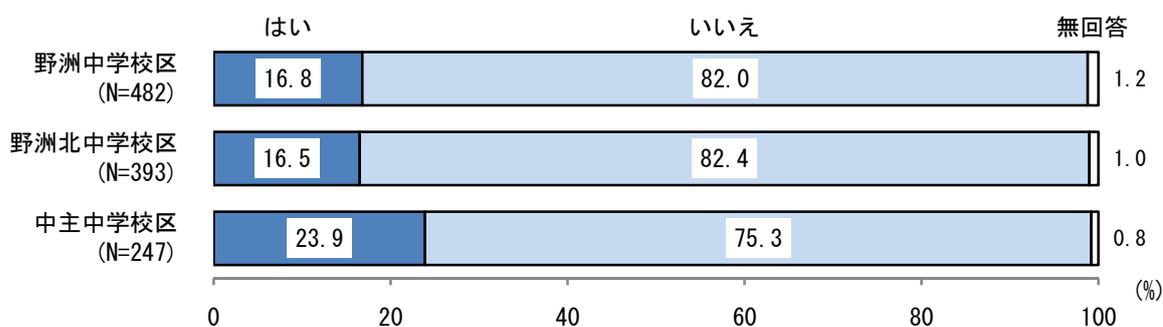
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



外出を控えている(「はい」と回答している)人は、一般高齢者では18.3%、要支援認定者では64.0%となっています。

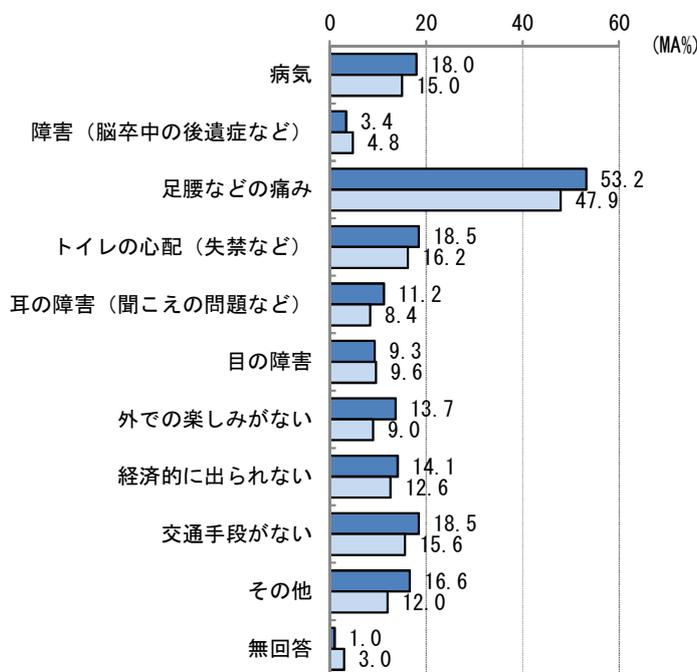
前回調査に比べて、外出を控えている人は要支援認定者で5.9ポイント減少しています。

中学校区別にみると、中主中学校区で外出を控えている人が23.9%と他の地区よりやや多くなっています。

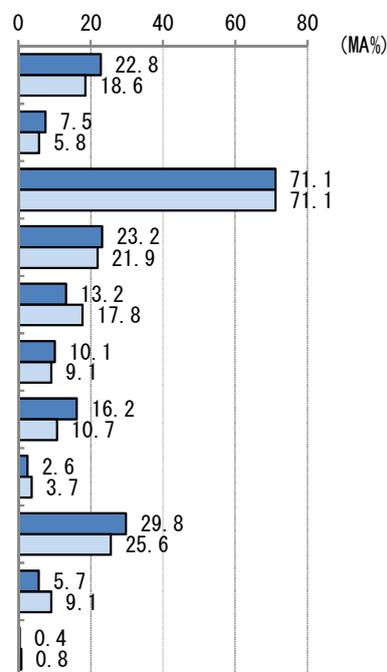
【問12で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか (〇はいくつでも)

【一般高齢者】



【要支援認定者】



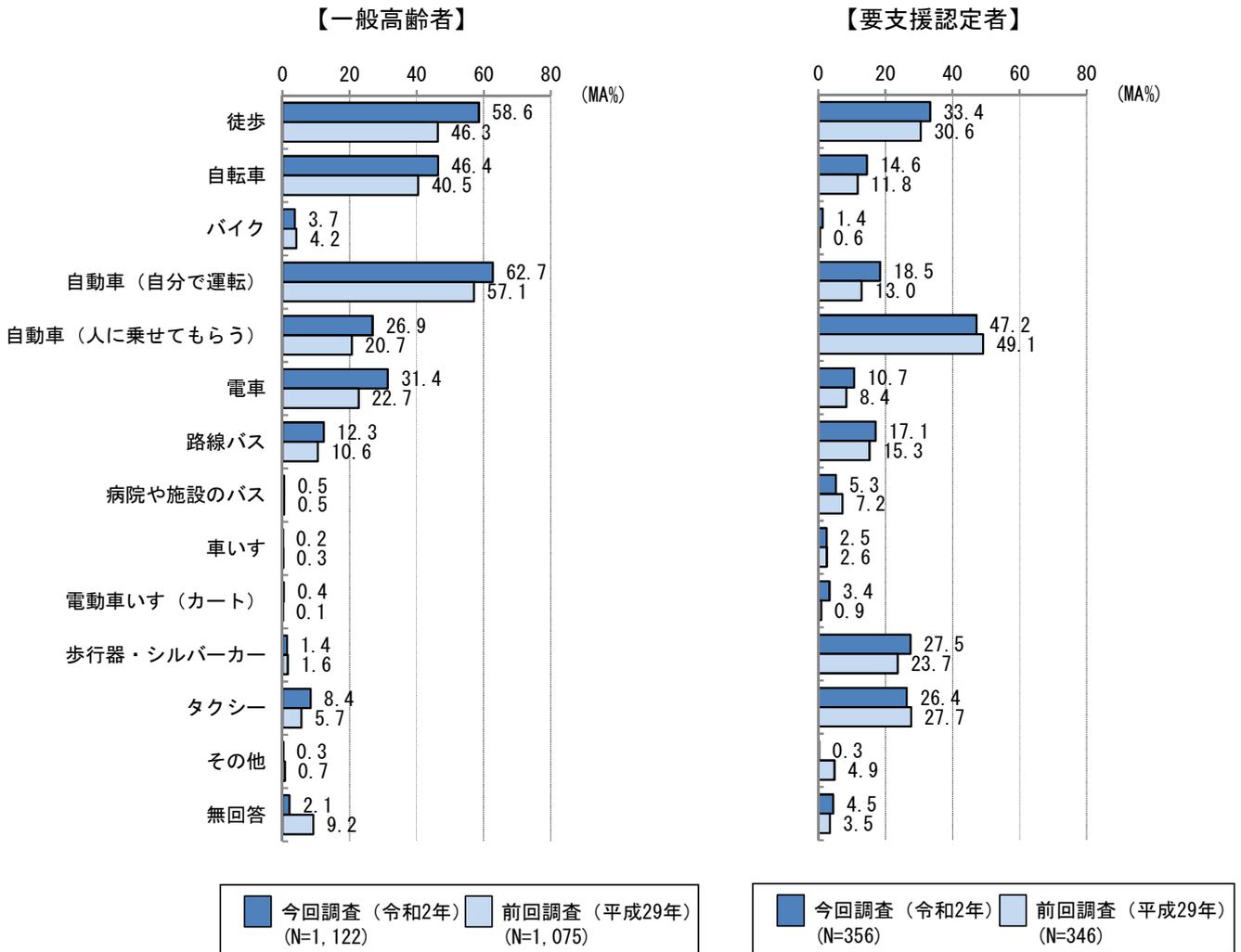
■ 今回調査 (令和2年) (N=205) □ 前回調査 (平成29年) (N=167)

■ 今回調査 (令和2年) (N=228) □ 前回調査 (平成29年) (N=242)

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が一般高齢者で 53.2%、要支援認定者で 71.1%と最も多くなっています。次いで、一般高齢者では「トイレの心配 (失禁など)」「交通手段がない」(それぞれ 18.5%)、「病気」(18.0%)、要支援認定者では「交通手段がない」(29.8%)、「トイレの心配 (失禁など)」(23.2%)、「病気」(22.8%) となっています。

(4) 移動手段

問 13 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)



【中学校区別】

	N	(上段: 人、下段: MA%)													
		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
野洲中学校区	482	326	233	18	286	145	181	59	3	0	1	4	58	1	10
	100	67.6	48.3	3.7	59.3	30.1	37.6	12.2	0.6	0	0.2	0.8	12	0.2	2.1
野洲北中学校区	393	222	174	14	249	96	131	55	2	2	1	7	27	1	9
	100	56.5	44.3	3.6	63.4	24.4	33.3	14	0.5	0.5	0.3	1.8	6.9	0.3	2.3
中主中学校区	247	110	114	9	169	61	40	24	1	0	2	5	9	1	5
	100	44.5	46.2	3.6	68.4	24.7	16.2	9.7	0.4	0	0.8	2	3.6	0.4	2

外出する際の移動手段については、一般高齢者では「自動車 (自分で運転)」が 62.7%と最も多く、次いで、「徒歩」(58.6%)、「自転車」(46.4%)となっています。要支援者では「自動車 (人に乗せてもらう)」が 47.2%と最も多く、次いで、「徒歩」(33.4%)、「歩行器・シルバーカー」(27.5%)、「タクシー」(26.4%)となっています。

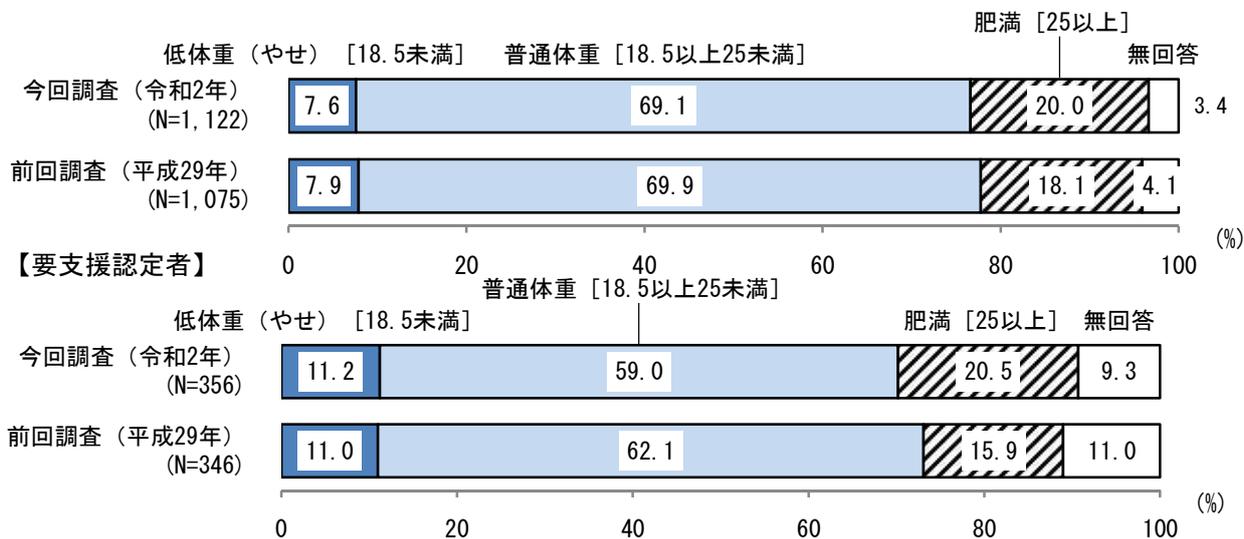
中学校区別にみると、野洲中学校区では「徒歩」、野洲北中学校区、中主中学校区では「自動車 (自分で運転)」が最も多くなっています。

4 食べることについて

(1) BMI

問 14 身長・体重をご記入ください

【一般高齢者】

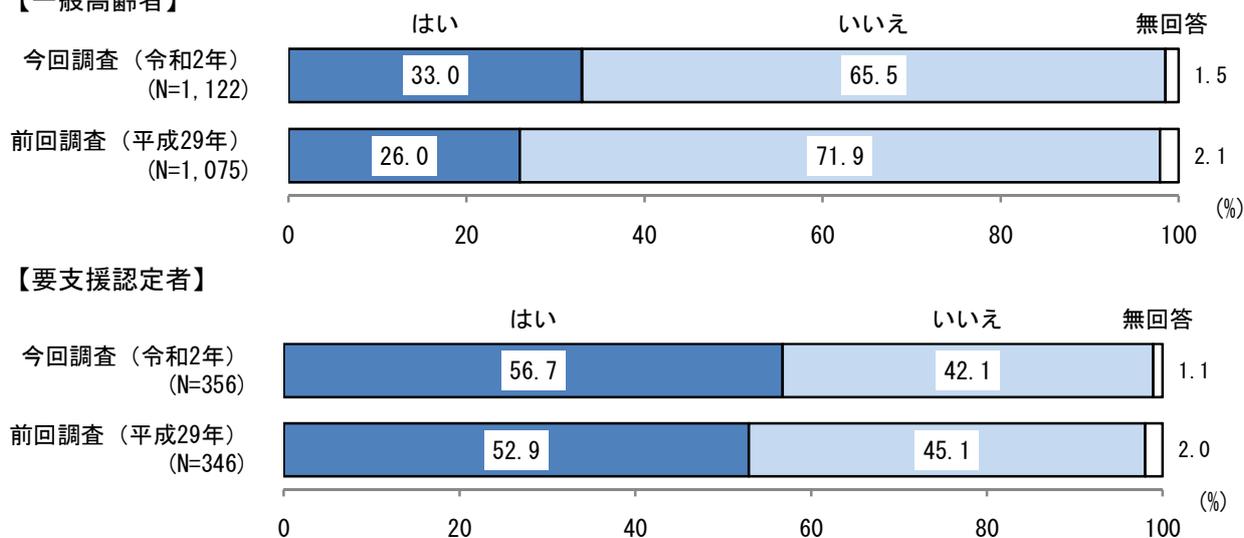


身長・体重から算出したBMI値をみると、一般高齢者では「肥満 [25以上]」が20.0%、「低体重 (やせ) [18.5未満]」が7.6%、要支援認定者では「肥満 [25以上]」が20.5%、「低体重 (やせ) [18.5未満]」が11.2%となっています。

(2) 口腔機能の状況

問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

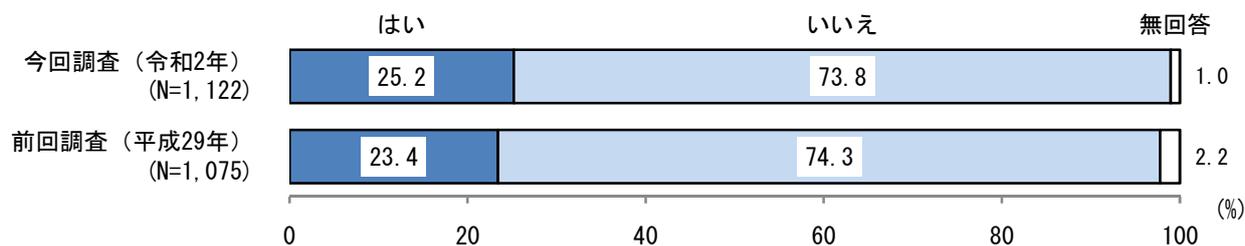
【一般高齢者】



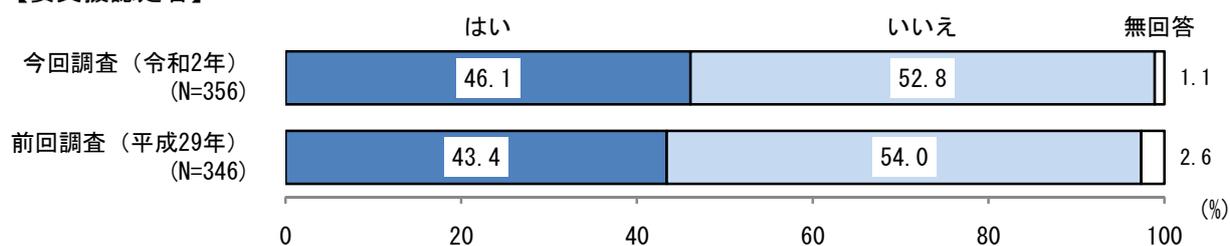
半年前に比べて固いものが食べにくくなった (「はい」と回答した) 人は、一般高齢者で33.0%、要支援認定者で56.7%となっており、前回調査に比べて、一般高齢者で7.0ポイント、要支援認定者で3.8ポイント増加しています。

問 16 お茶や汁物等でむせることがありますか（○は1つ）

【一般高齢者】



【要支援認定者】

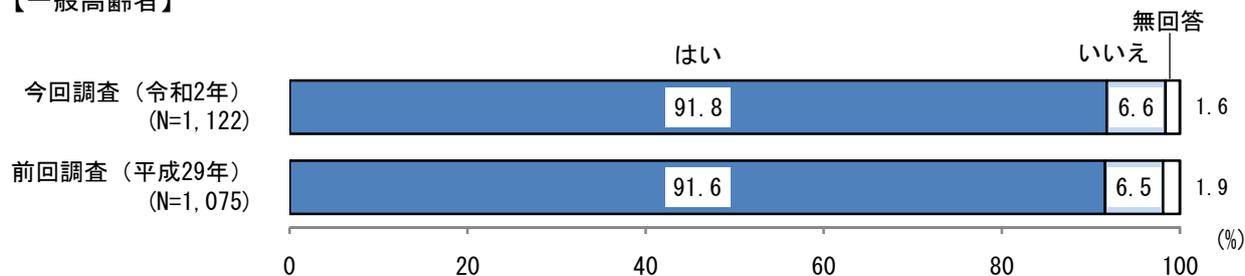


お茶や汁物等でむせることがある（「はい」と回答している）人は、一般高齢者で25.2%、要支援認定者で46.1%となっています。

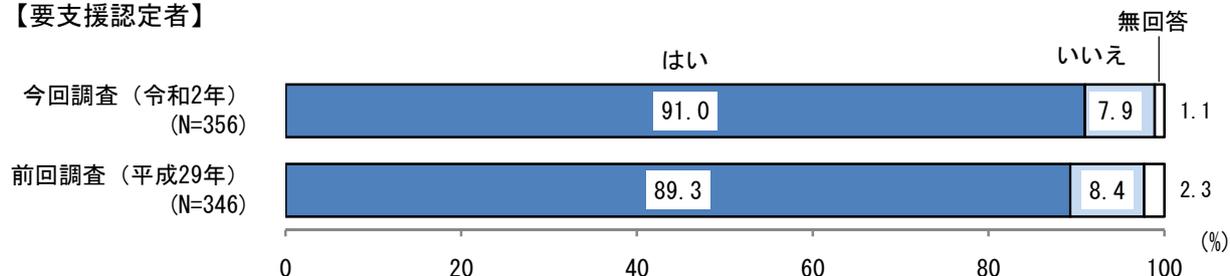
（3）口腔ケアの状況

問 17 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）

【一般高齢者】



【要支援認定者】

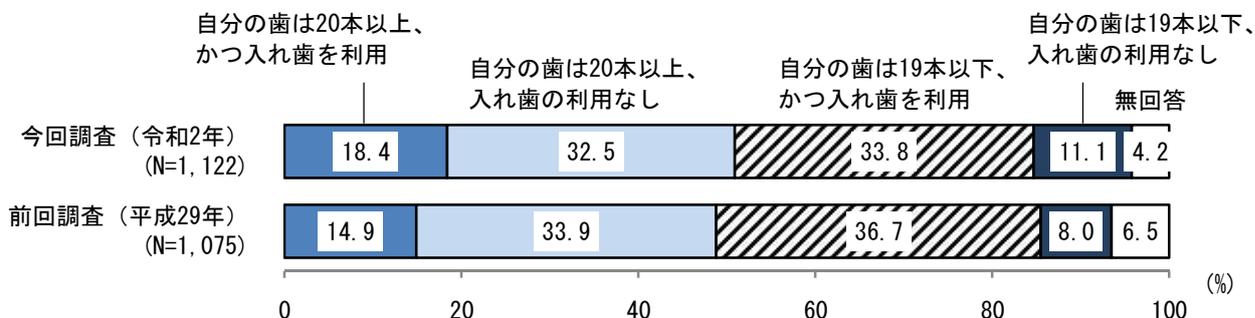


毎日歯磨きをしている（「はい」と回答している）人は、一般高齢者、要支援認定者ともに9割となっています。

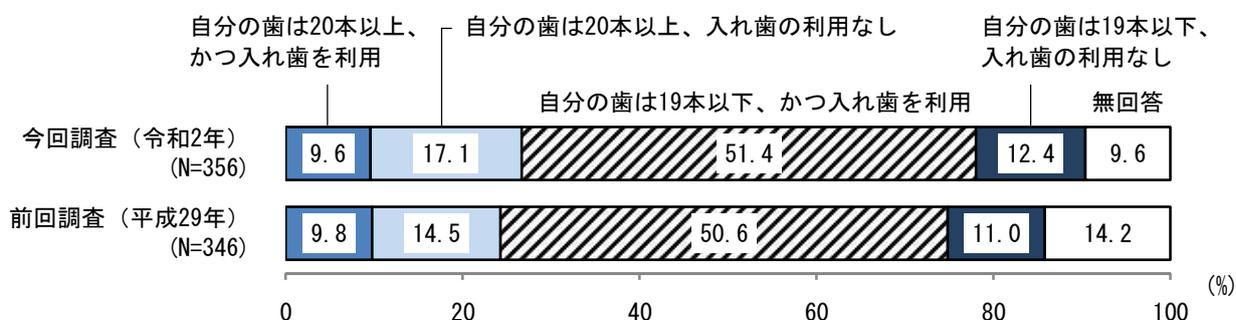
問 18 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（○は1つ）

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です

【一般高齢者】



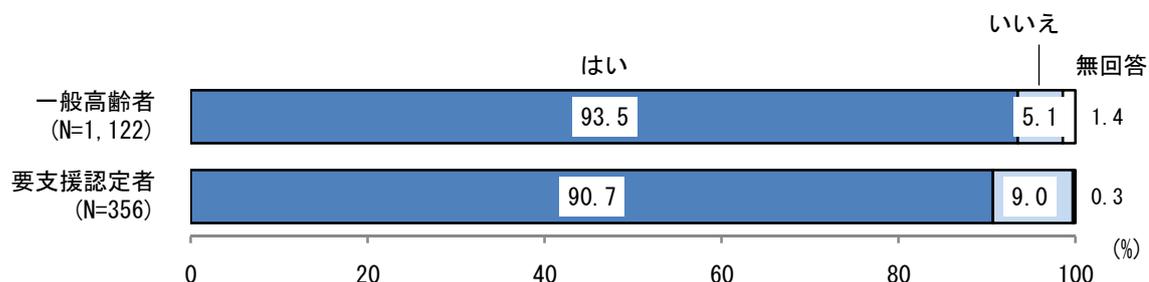
【要支援認定者】



歯の数と入れ歯の使用状況については、一般高齢者では、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」と、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」がともに 3 割強で、『自分の歯は 19 本以下』は合計 44.9%、『入れ歯を利用』は合計 52.2%となっています。要支援認定者では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 51.4%と多く、『自分の歯は 19 本以下』は合計 63.8%、『入れ歯を利用』は合計 61.0%となっています。

問19 1日3食きちんと食べていますか（○は1つ）

※前回調査では、設問なし

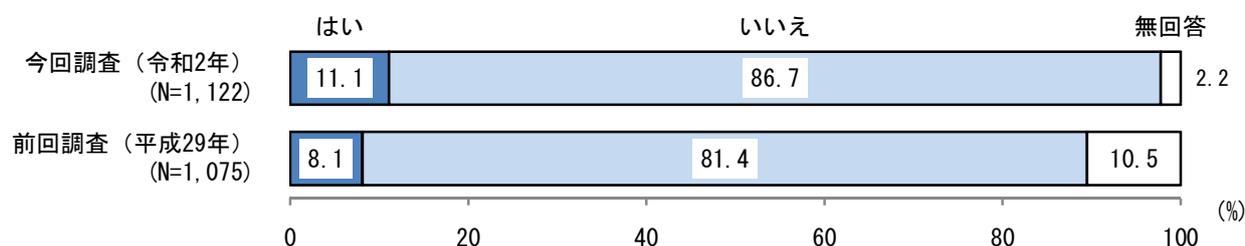


1日3食きちんと食べているかについては、一般高齢者、要支援認定者ともに「はい」が9割以上となっています。

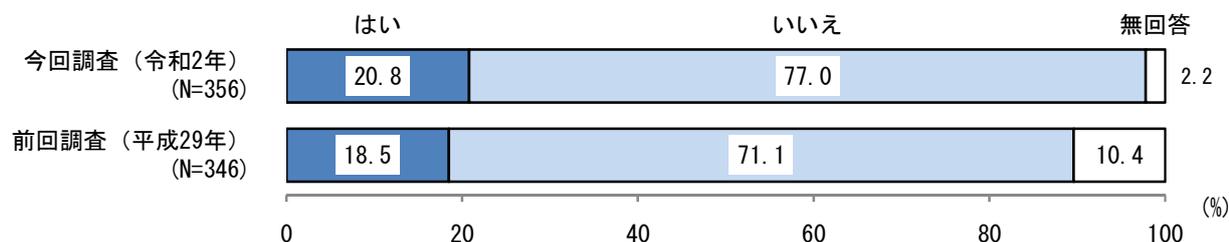
(4) 体重減少の有無

問20 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（○は1つ）

【一般高齢者】



【要支援認定者】

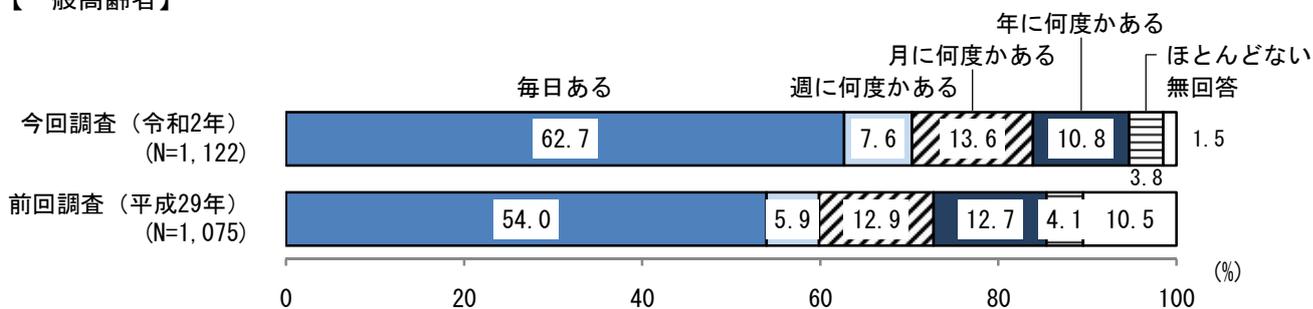


6か月間で2～3kg以上の体重減少があった（「はい」と回答している）人は、一般高齢者では11.1%、要支援認定者では20.8%となっています。

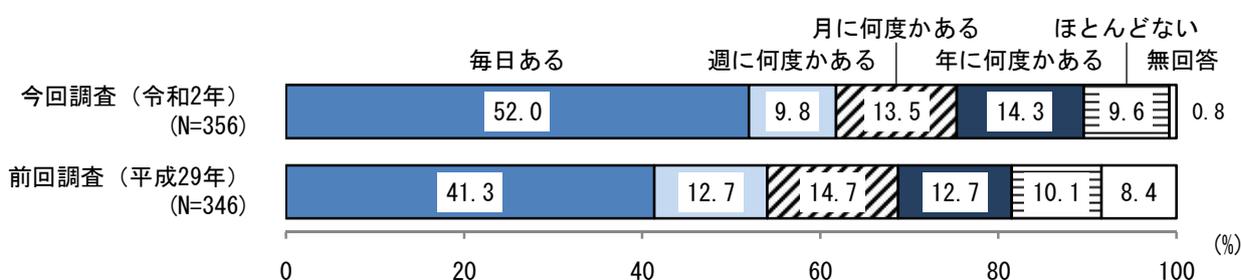
(5) 共食の状況

問 21 どなたかと食事をともにする機会がありますか (○は1つ)

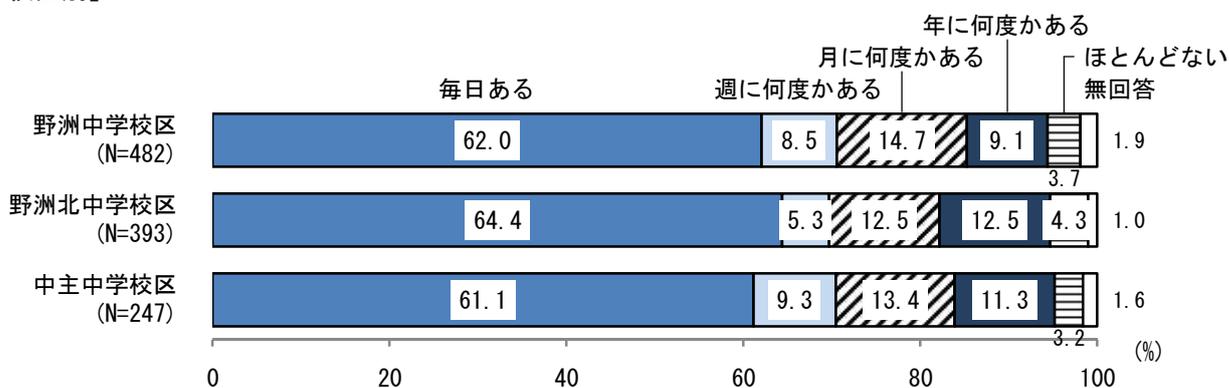
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



共食の状況については、一般高齢者、要支援認定者ともに「毎日ある」が最も多く、一般高齢者で62.7%、要支援認定者で52.0%となっています。一方で、共食の機会の少ない人（「年に何度かある」、「ほとんどない」の合計）は、一般高齢者で14.6%、要支援認定者で23.9%みられます。

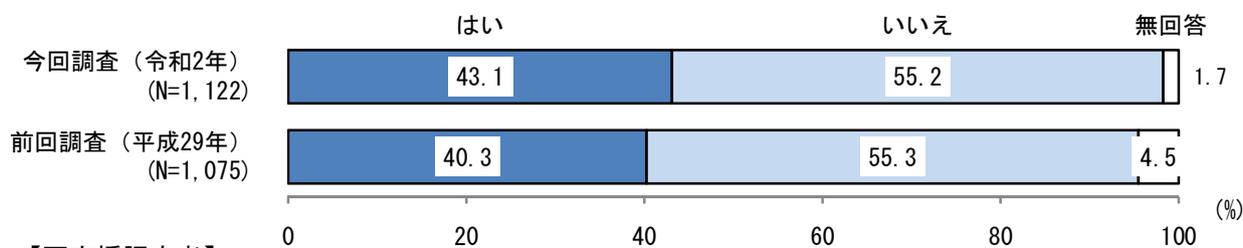
中学校区別にみると、野洲北中学校区で「毎日ある」がやや多い程度で、大きな差はみられません。

5 毎日の生活について

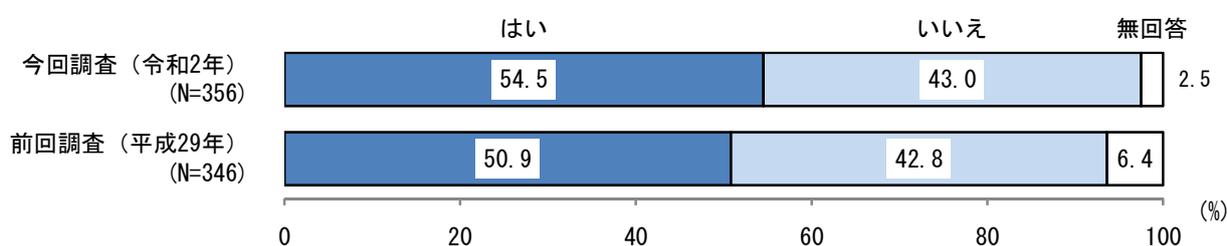
(1) 認知機能の状況

問 22 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

【一般高齢者】



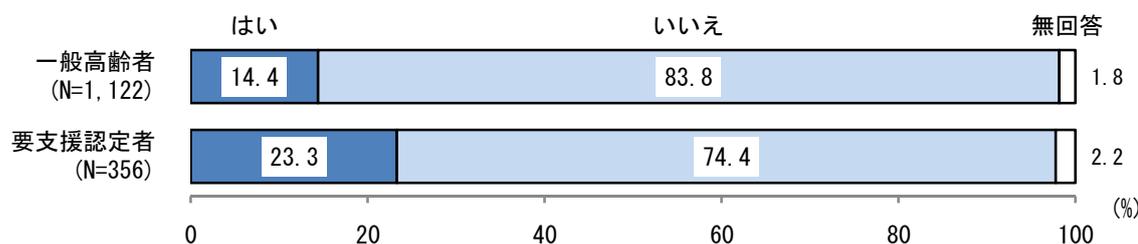
【要支援認定者】



物忘れが多いと感じる(「はい」と回答している)人は、一般高齢者で43.1%、要支援認定者で54.5%となっており、一般高齢者、要支援認定者ともに、前回調査に比べて微増しています。

問 23 周りの人から「いつも同じことを聞く」等の物忘れがあるとされていますか (○は1つ)

※前回調査では、設問なし

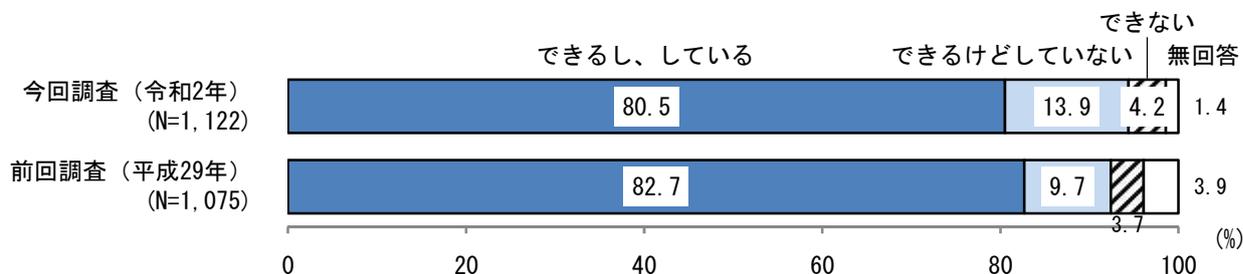


周りの人から物忘れがあるとされている(「はい」と回答している)人は、一般高齢者で14.4%、要支援認定者で23.3%となっています。

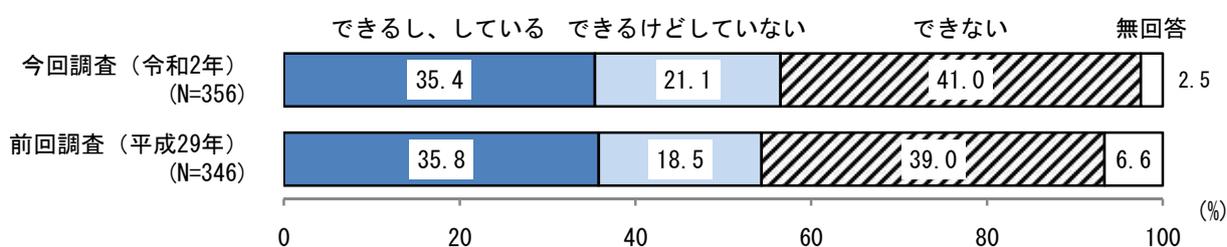
(2) 手段的日常生活動作の状況

問 24 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

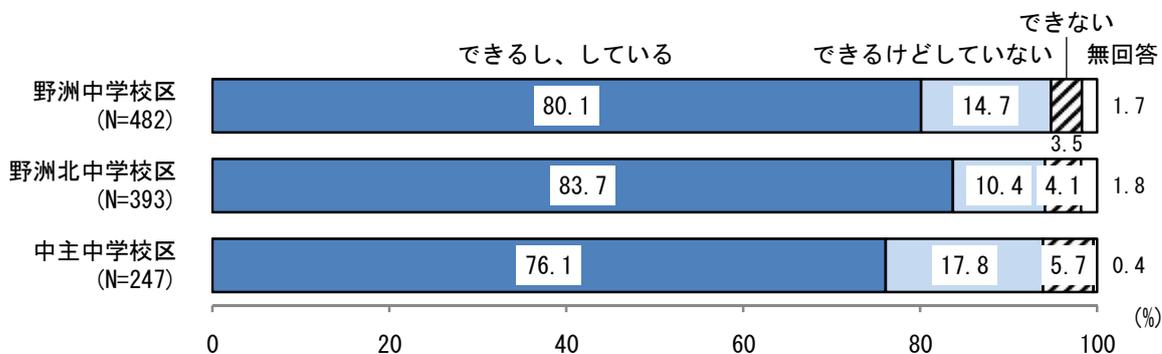
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】

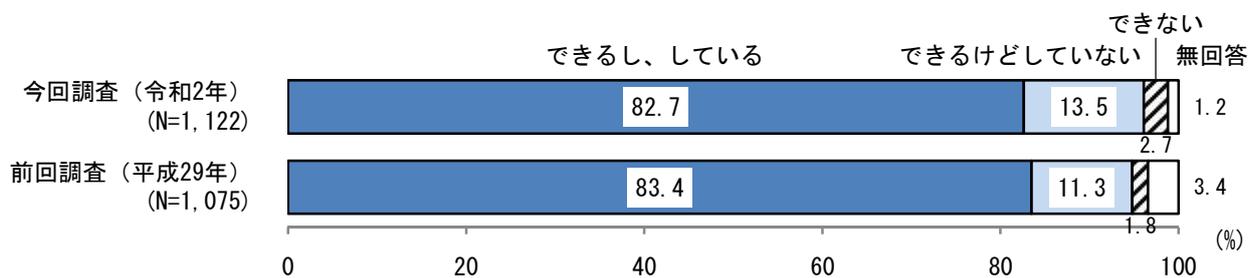


バスや電車を使って1人で外出しているかについては、一般高齢者では「できるし、している」が8割（80.5%）を占め、「できない」（4.2%）と「できるけどしていない」（13.9%）は合計で2割弱（18.1%）となっています。要支援認定者では「できない」（41.0%）と「できるけどしていない」（21.1%）の合計が6割（62.1%）となっています。

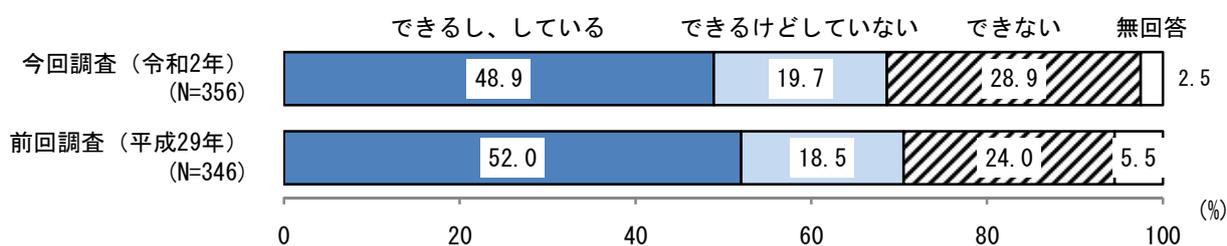
中学校区別にみると、「できるし、している」は野洲北中学校区で83.7%とやや多く、「できない」、「できるけどしていない」は中主中学校区で合計23.5%と、他の地区に比べてやや多くなっています。

問 25 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

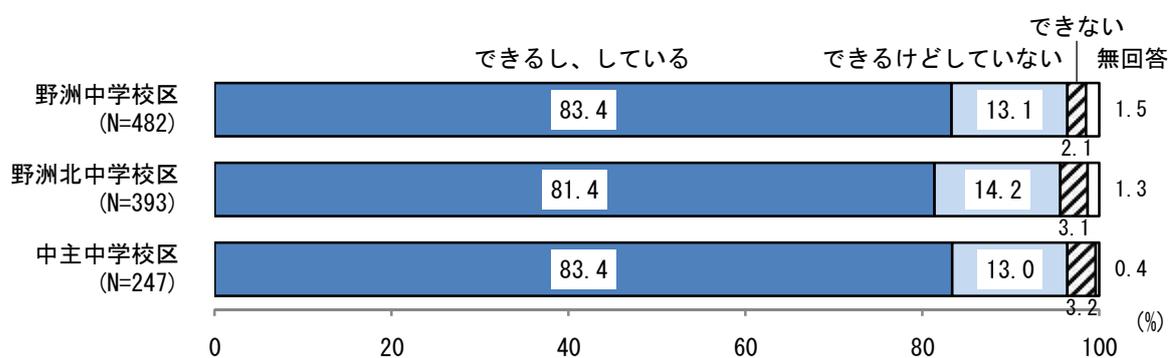
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】

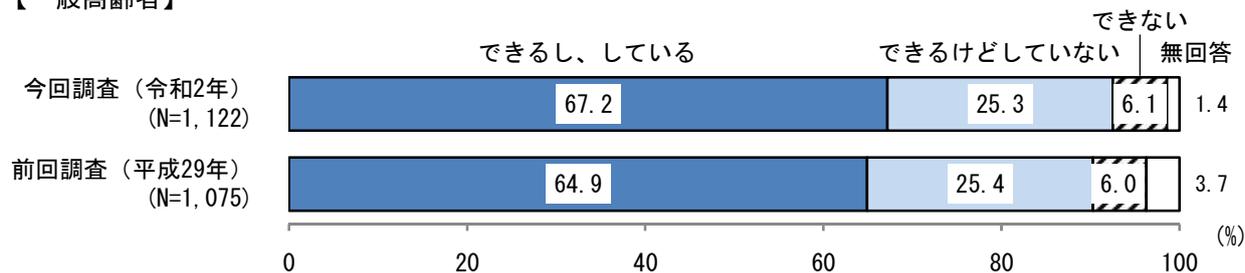


自分で食品・日用品の買物をしているかについては、一般高齢者では「できるし、している」が8割 (82.7%) を占め、「できない」 (2.7%) と「できるけどしていない」 (13.5%) は合計で16.2%となっています。要支援認定者では、「できない」 (28.9%) と「できるけどしていない」 (19.7%) が合計で約5割 (48.6%) となっています。

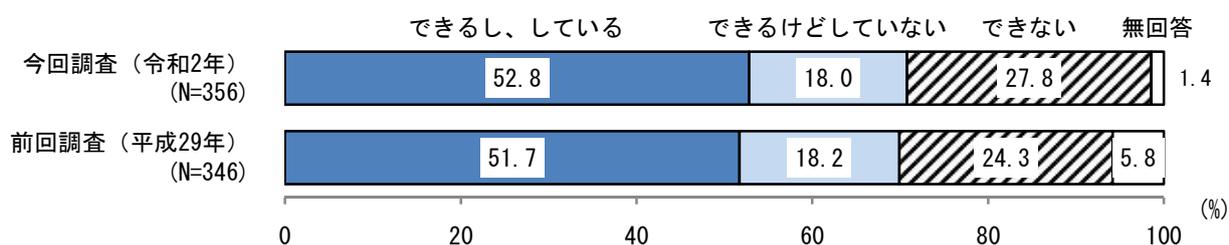
中学校区別には大きな差はみられません。

問 26 自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

【一般高齢者】



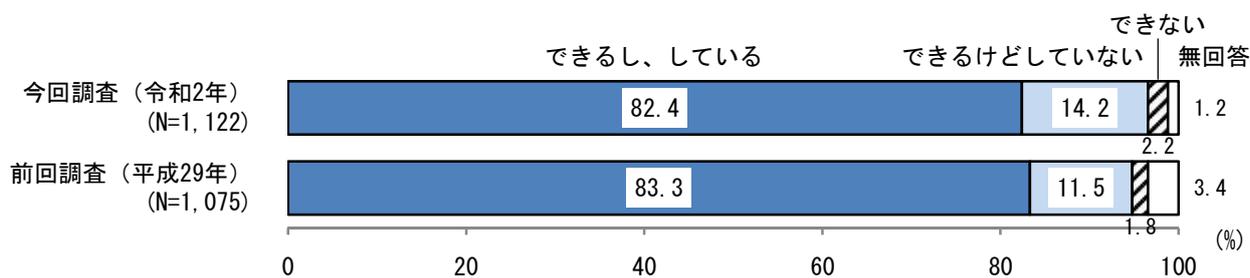
【要支援認定者】



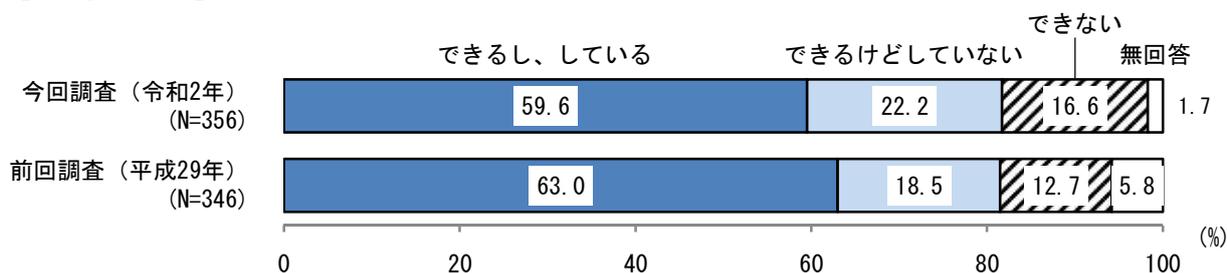
自分で食事の用意をしているかについては、一般高齢者では「できるし、している」が67.2%、「できない」(6.1%)と「できるけどしていない」(25.3%)は合計31.4%となっています。要支援認定者では「できるし、している」が52.8%、「できない」(27.8%)と「できるけどしていない」(18.0%)は合計45.8%となっています。

問 27 自分で請求書の支払いをしていますか（○は1つ）

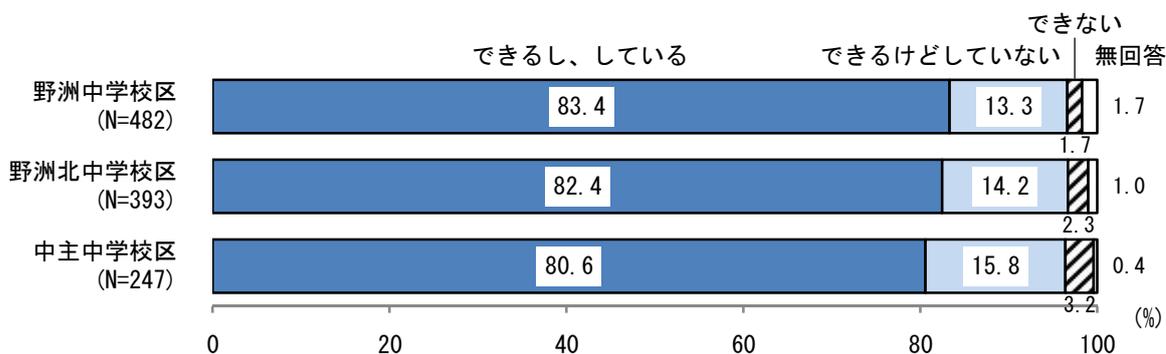
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】

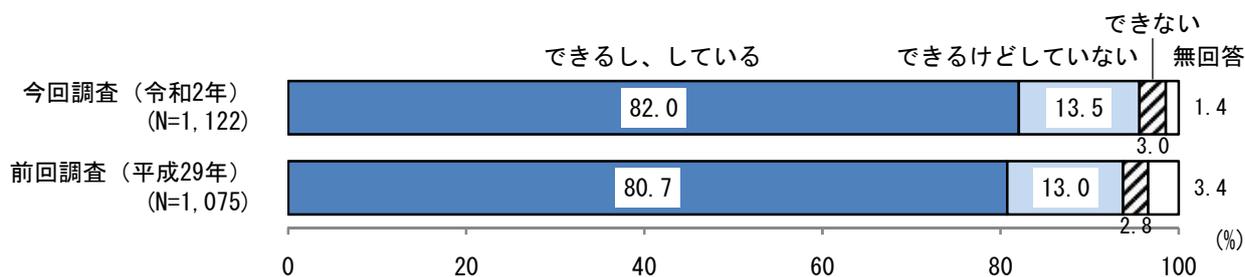


自分で請求書の支払いをしているかについては、一般高齢者では「できるし、している」が8割（82.4%）を占め、「できない」（2.2%）と「できるけどしていない」（14.2%）は合計16.4%となっています。要支援認定者では「できるし、している」は6割（59.6%）で、「できない」（16.6%）と「できるけどしていない」（22.2%）は合計38.8%となっています。

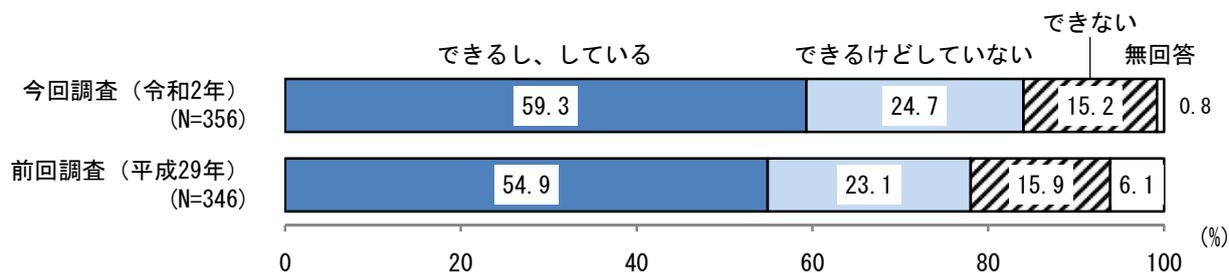
中学校区別には中主中学校区で「できない」、「できるけどしていない」がやや多くなっている程度で、大きな差はみられません。

問 28 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

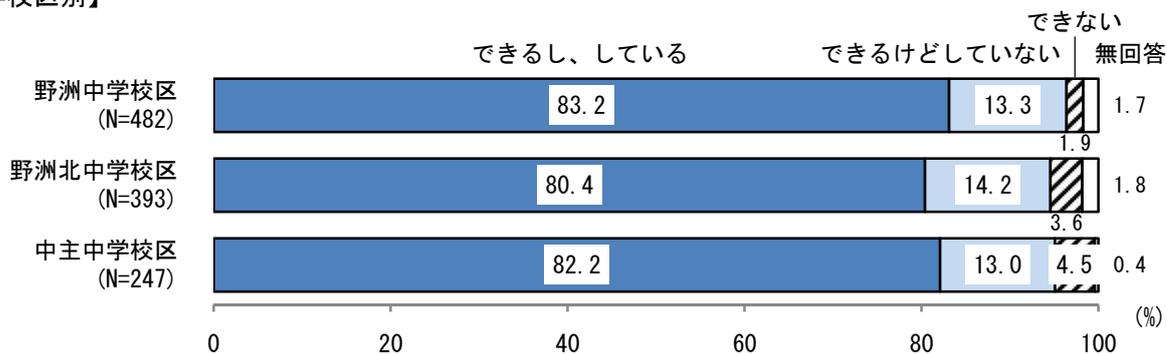
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



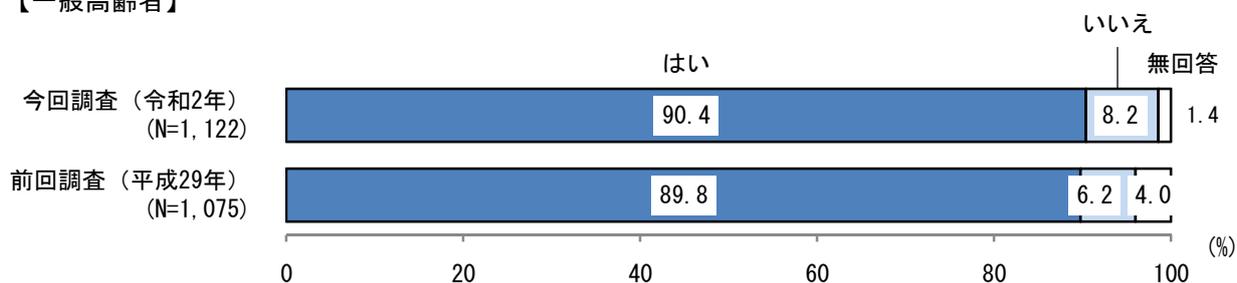
自分で預貯金の出し入れをしているかについては、一般高齢者では「できるし、している」が8割 (82.0%) を占め、「できない」 (3.0%) と「できるけどしていない」 (13.5%) は合計 16.5% となっています。要支援認定者では「できるし、している」は6割 (59.3%) で、「できない」 (15.2%) と「できるけどしていない」 (24.7%) は合計 4割 (39.9%) となっています。

中学校区別には野洲中学校区で「できるし、している」がやや多くなっている程度で、大きな差はみられません。

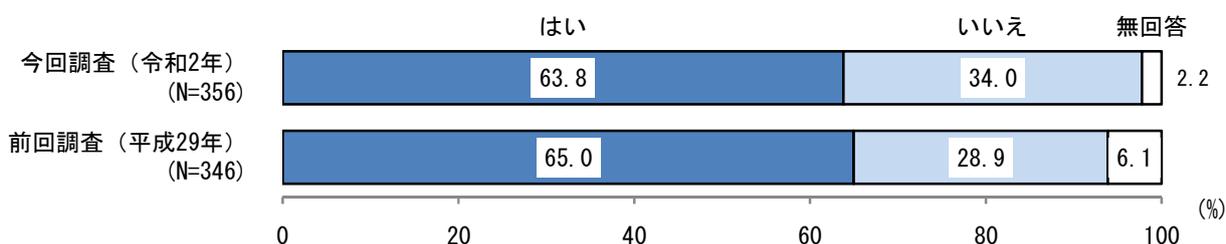
(3) 知的能動性の状況

問 29 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つ）

【一般高齢者】



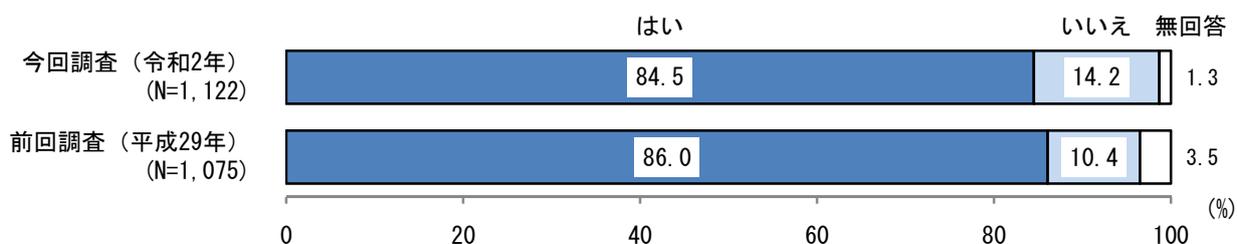
【要支援認定者】



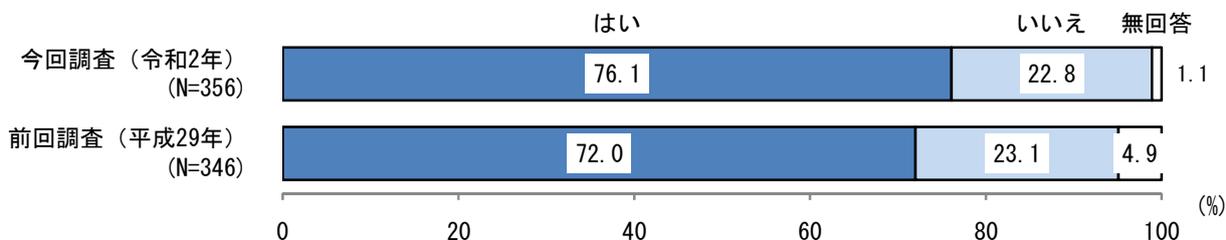
役所や病院などに出す書類が書ける（「はい」と回答している）人は、一般高齢者で9割（90.4%）、要支援認定者では6割（63.8%）となっています。

問 30 新聞を読んでいますか（○は1つ）

【一般高齢者】



【要支援認定者】

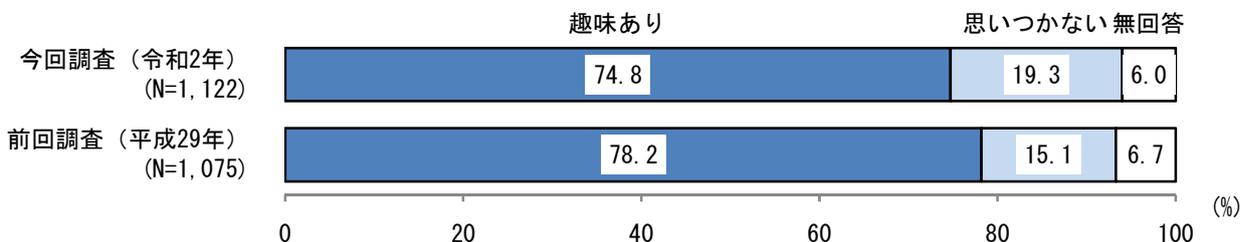


新聞を読んでいる（「はい」と回答している）人は一般高齢者で8割台（84.5%）、要支援認定者で7割台（76.1%）となっています。

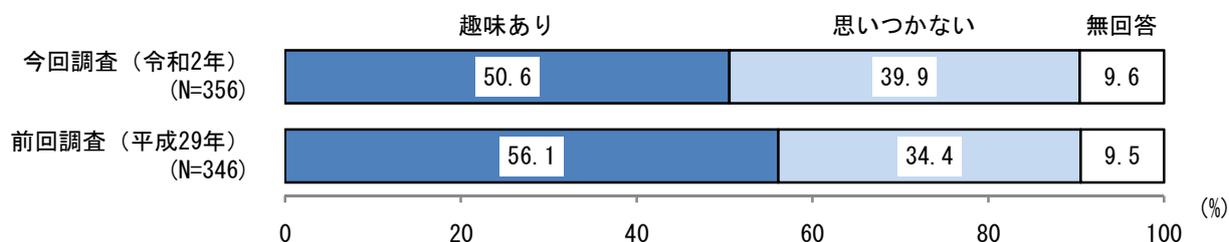
(4) 趣味や生きがいの有無

問 31 趣味はありますか。ある場合は () 内にご記入ください (○は1つ)

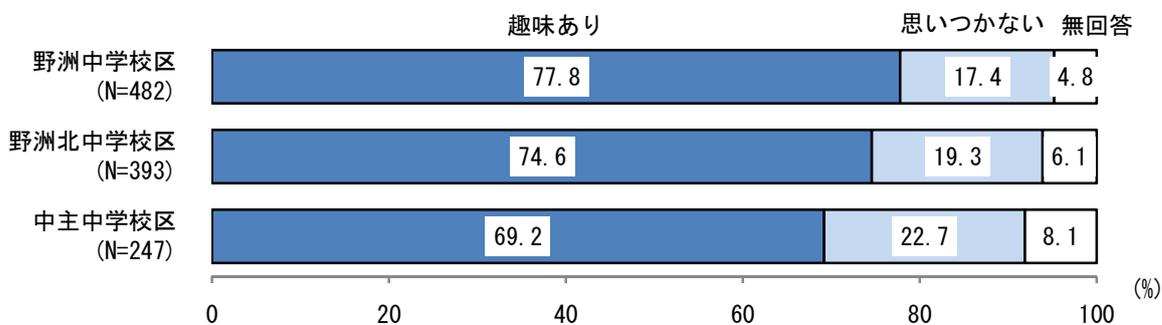
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】

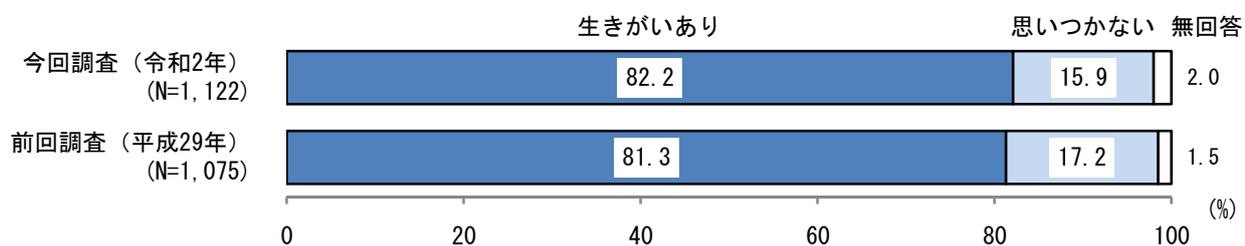


「趣味あり」と回答している人は、一般高齢者で7割台 (74.8%)、要支援認定者で5割 (50.6%) となっています。

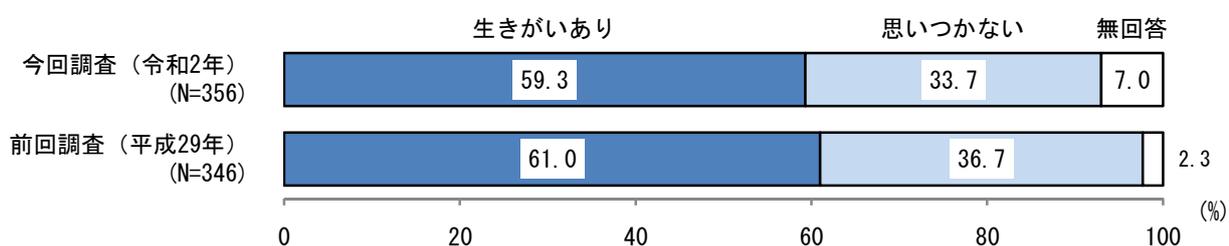
中学校区別にみると、「趣味あり」は野洲中学校区で77.8%と最も多く、中主中学校区で69.2%と少なくなっています。

問 32 生きがいがありますか (○は1つ)

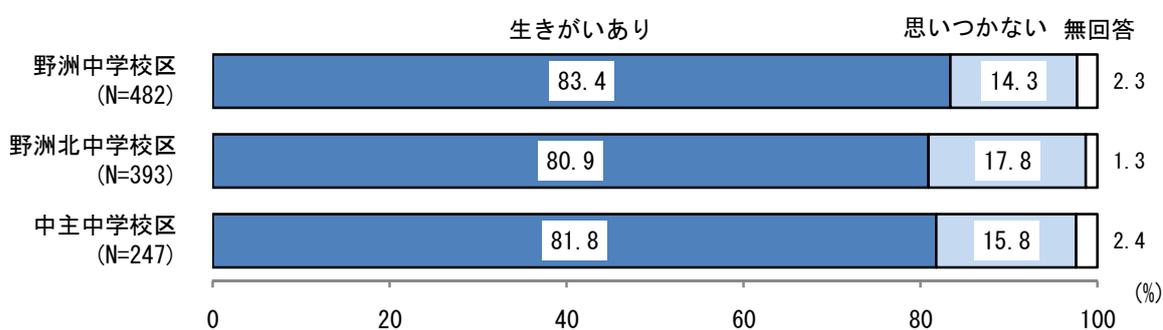
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】

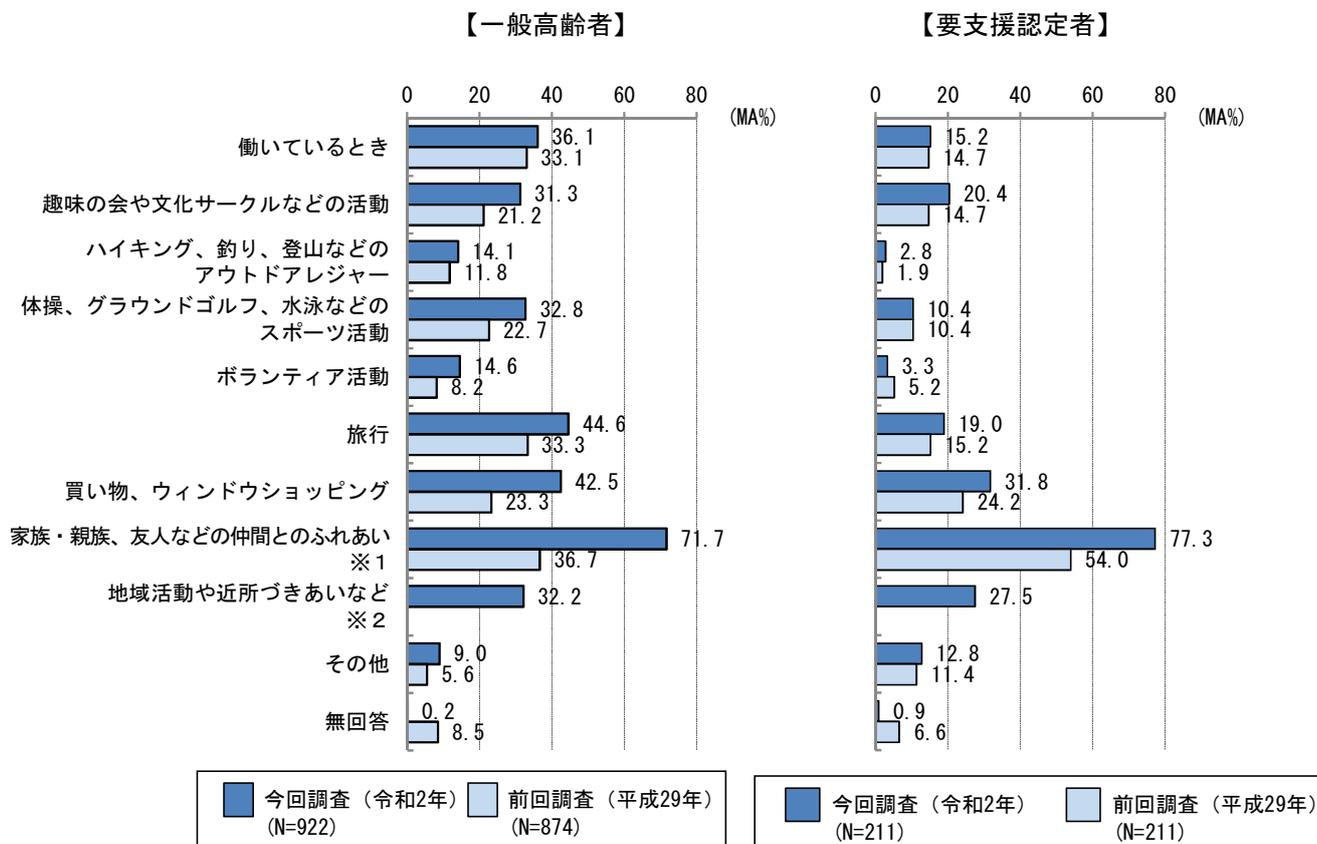


「生きがいあり」と回答している人は、一般高齢者で8割(82.2%)、要支援認定者で6割(59.3%)となっています。

中学校区別にみると、「生きがいあり」は野洲中学校区で(83.4%)とやや多くなっている程度で、大きな差はみられません。

【問 32 で「1. 生きがいあり」の方のみ】

問 32① あなたが生きがいを感じるのはどのような時ですか（〇はいくつでも）



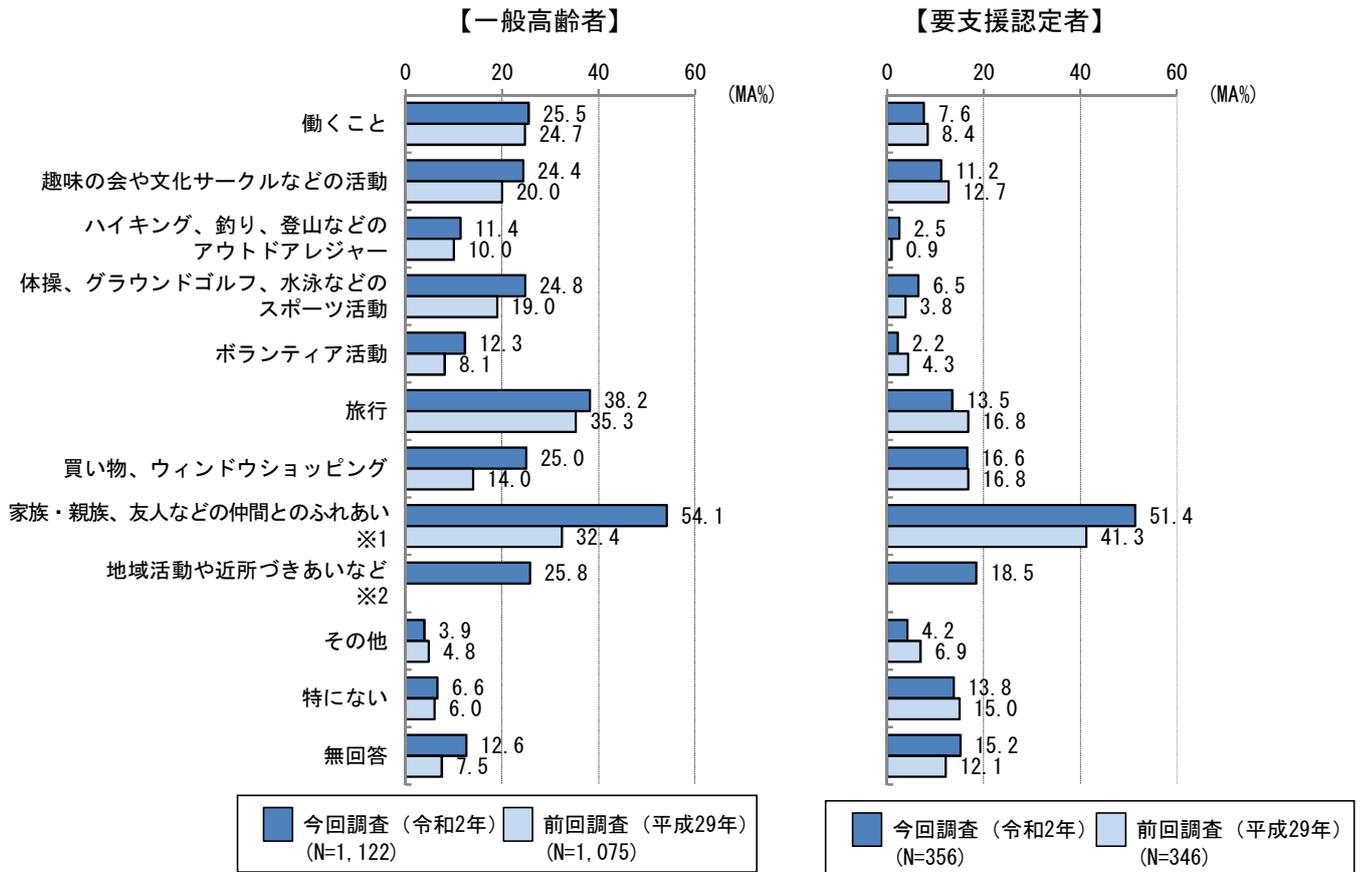
※1 前回調査では、「家族・親族とのふれあい」

※2 前回調査では、「近所とのつきあい」「町内会、自治会などの地域活動」の別の選択肢

「生きがいあり」と回答している人が生きがいを感じる時は、一般高齢者、要支援認定者ともに「家族・親族、友人などの仲間とのふれあい」が7割台（一般高齢者 71.7%、要支援認定者 77.3%）と最も多く、次いで、一般高齢者では「旅行」（44.6%）、要支援認定者では「買い物、ウィンドウショッピング」（31.8%）となっています。

前回調査に比べて、一般高齢者では「買い物、ウィンドウショッピング」で 19.2 ポイント、「旅行」で 11.3 ポイント、「趣味の会や文化サークルなどの活動」「体操、グラウンドゴルフ、水泳などのスポーツ活動」でそれぞれ 10.1 ポイント増加しています。要支援認定者でも「買い物、ウィンドウショッピング」で 7.6 ポイント増加しています。（「家族・親族、友人などの仲間とのふれあい」、「地域活動や近所づきあいなど」については、前回と選択肢が違うため比較はしていない。）

問 33 あなたが今後の生きがいにしたいことは何ですか（〇は1つ）



※1 前回調査では、「家族・親族とのふれあい」

※2 前回調査では、「近所とのつきあい」「町内会、自治会などの地域活動」の別の選択肢

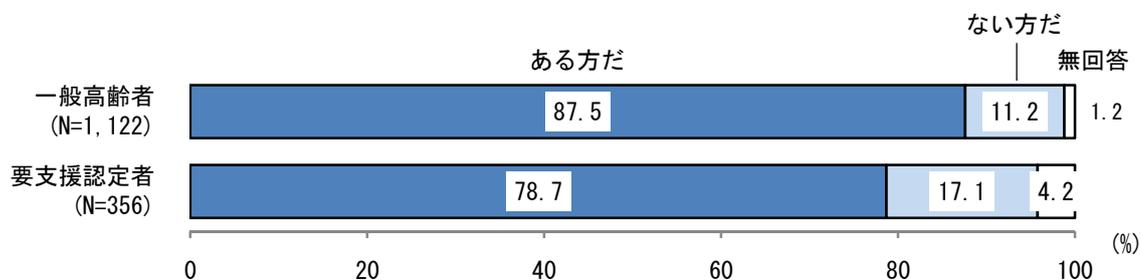
今後の生きがいにしたいことについては、一般高齢者、要支援認定者ともに「家族・親族、友人などの仲間とのふれあい」が5割台（一般高齢者 54.1%、要支援認定者 51.4%）で最も多く、次いで、一般高齢者では「旅行」（38.2%）、「地域活動や近所づきあいなど」（25.8%）、「働くこと」（25.5%）、「買い物、ウィンドウショッピング」（25.0%）となっています。要支援認定者では「地域活動や近所づきあいなど」（18.5%）となっています。

前回調査に比べて、一般高齢者では「買い物、ウィンドウショッピング」で11.0ポイント、「体操、グラウンドゴルフ、水泳などのスポーツ活動」で5.8ポイント増加しています。（「家族・親族、友人などの仲間とのふれあい」、「地域活動や近所づきあいなど」については、前回と選択肢が違うため比較はしていない。）

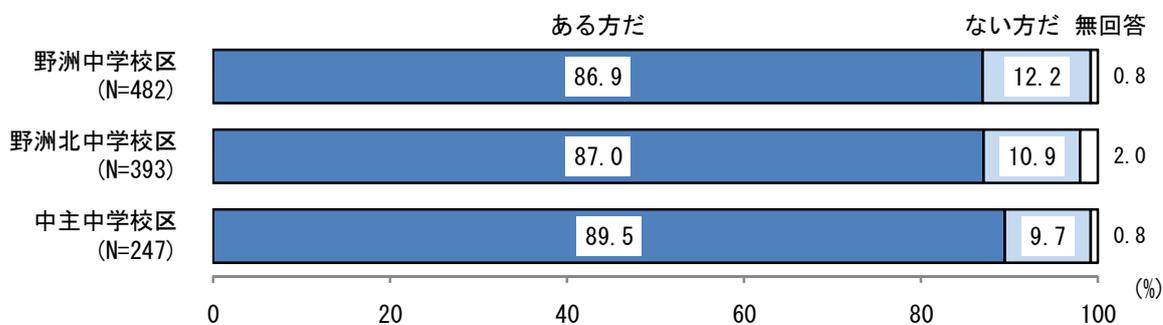
(5) 家族や友人、地域の方との付き合い

問 34 ふだんから家族や友人と付き合いがありますか (○は1つ)

※前回調査では、設問なし



【中学校区別】

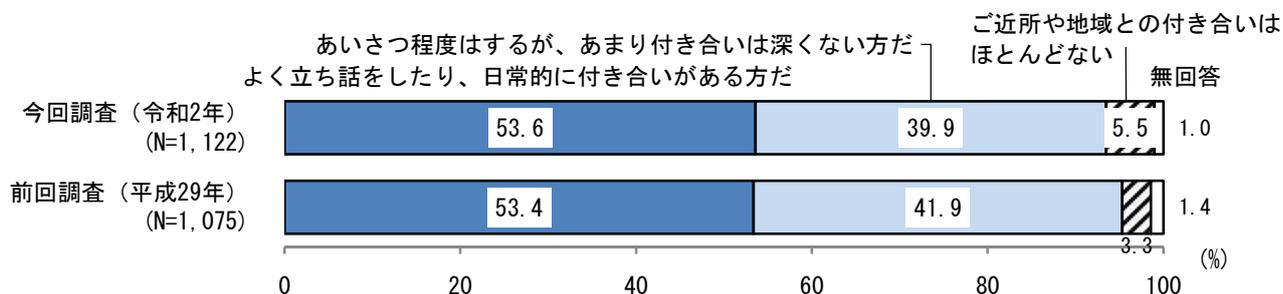


家族や友人との付き合いが「ある方だ」と回答している人は、一般高齢者で87.5%、要支援認定者で78.7%となっています。

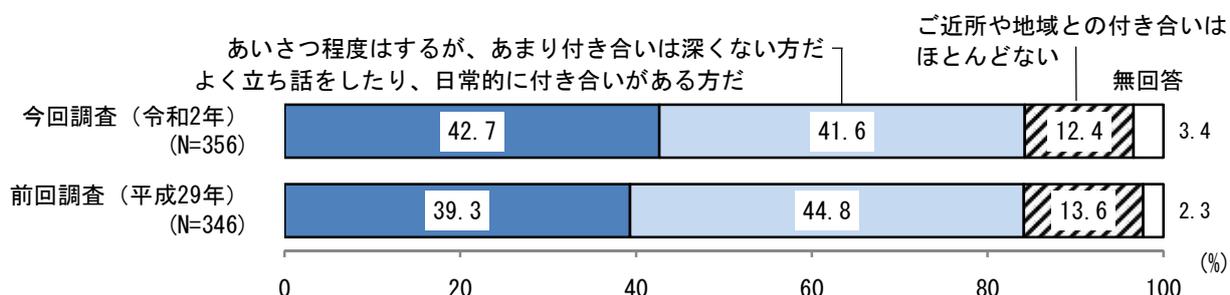
中学校区別にみると、「ある方だ」は中主中学校区で89.5%と他の地区よりやや多くなっていますが、大きな差はみられません。

問 35 ご近所や地域の方との付き合いはどのようなようすですか（○は1つ）

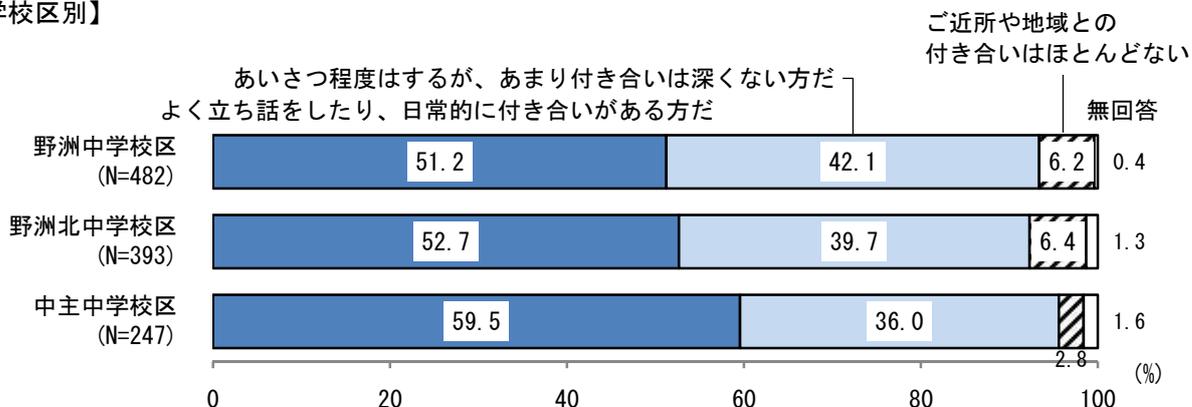
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



近所づきあいの程度については、一般高齢者では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」が 53.6%と最も多く、次いで、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」が 39.9%となっています。要支援認定者では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」が 42.7%、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」が 41.6%で、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」が 1割強（12.4%）みられます。

中学校区別にみると、中主中学校区で、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」が 59.5%と、他の地区に比べてやや多くなっています。

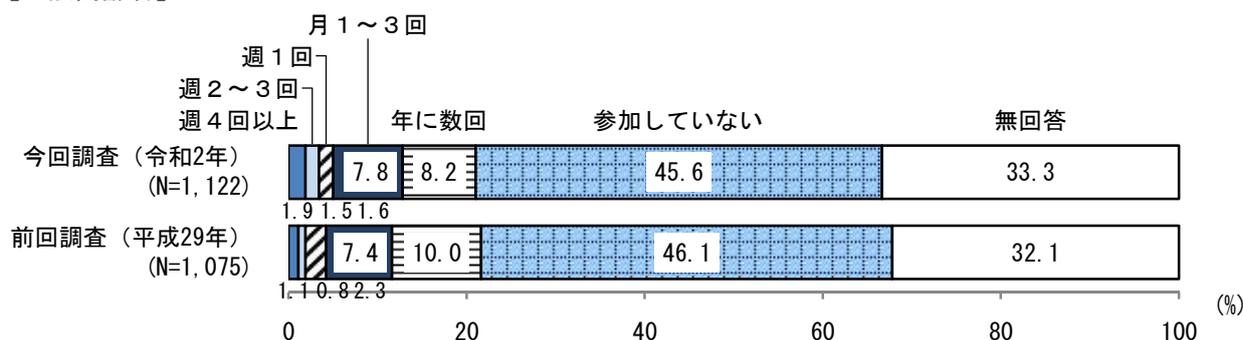
6 地域での活動について

(1) 地域の会・グループ等への参加状況

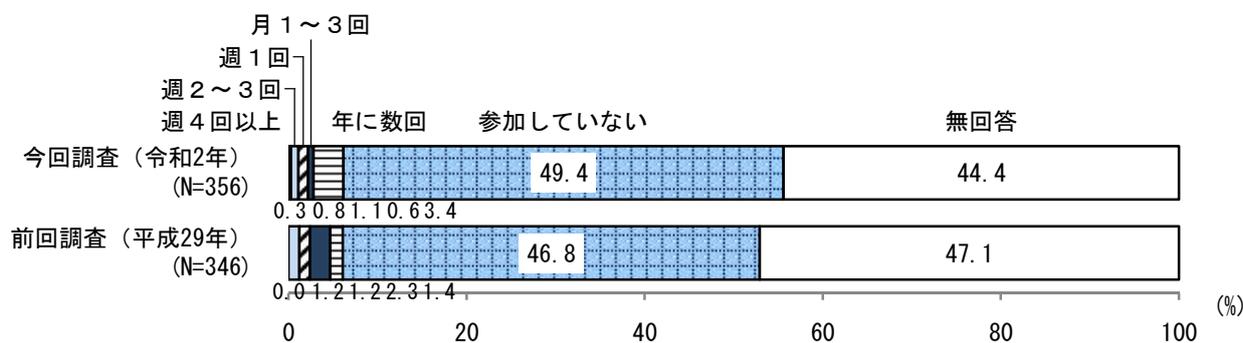
問 36 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑧それぞれに回答（それぞれ○は1つ）

① ボランティアのグループ

【一般高齢者】



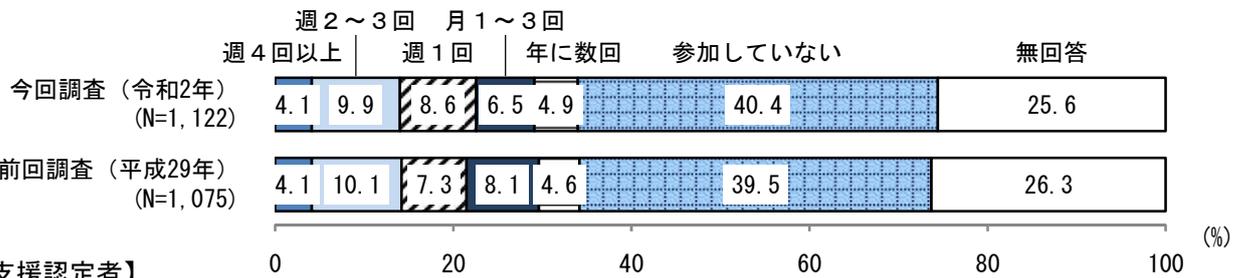
【要支援認定者】



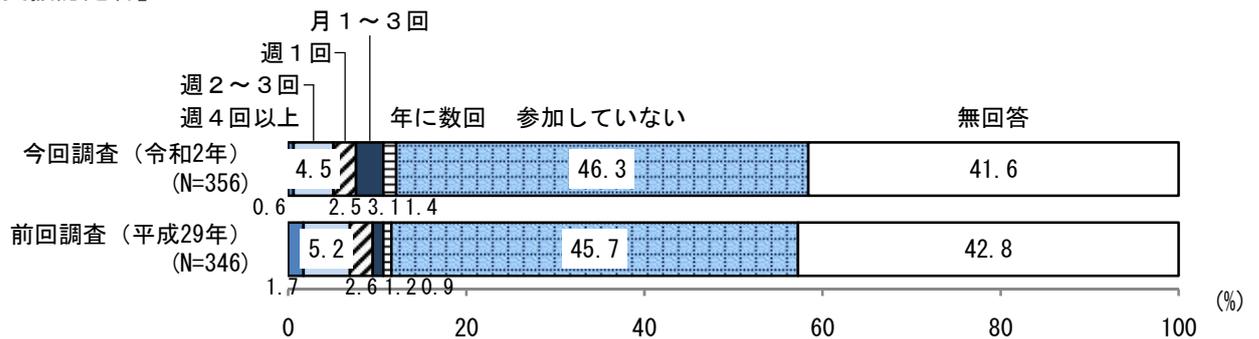
地域の会・グループ等への参加状況をたずねたところ、ボランティアのグループに『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」までの合計）人は、一般高齢者で21.0%、要支援認定者で6.2%となっています。参加頻度は「月に1から3回」、「年に数回」が多くなっています。

②スポーツ関係のグループやクラブ

【一般高齢者】



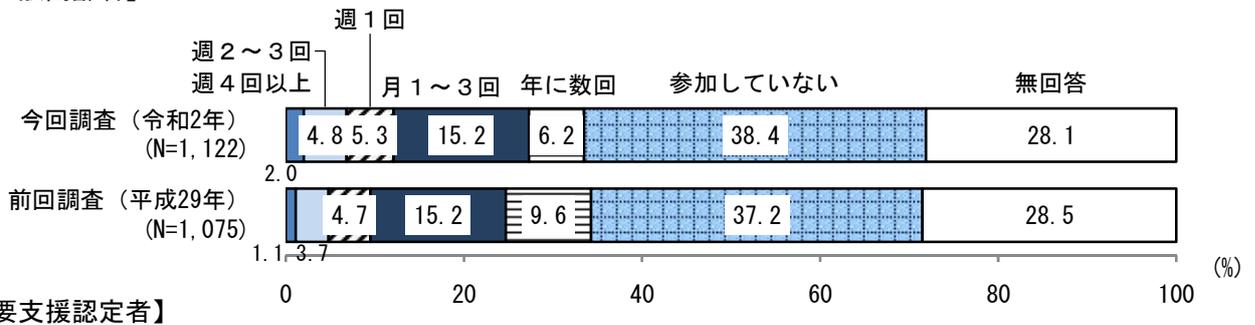
【要支援認定者】



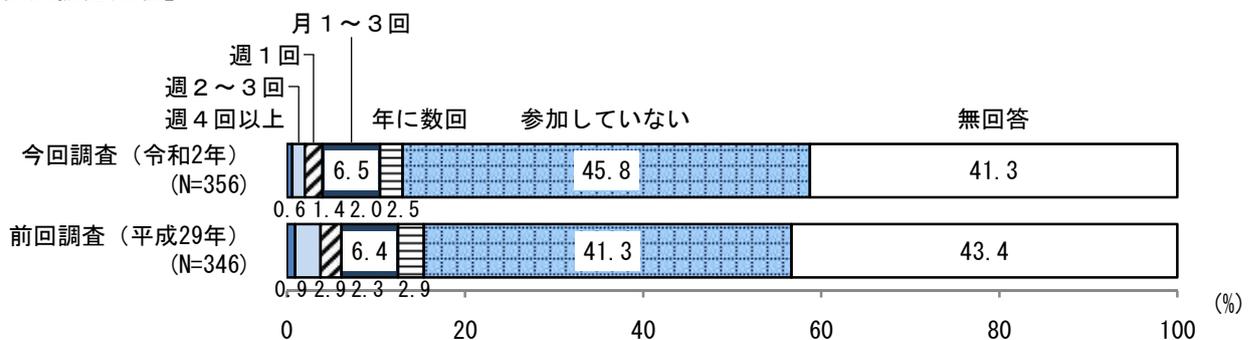
スポーツ関係のグループやクラブに『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」までの合計）人は、一般高齢者で34.0%、要支援認定者で12.1%となっています。参加頻度は「週に2～3回」、「週1回」が多くなっています。

③趣味関係のグループ

【一般高齢者】



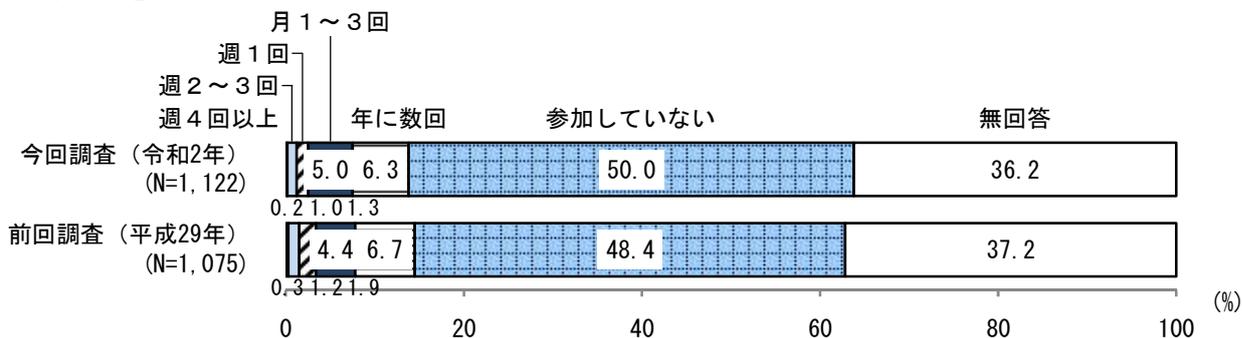
【要支援認定者】



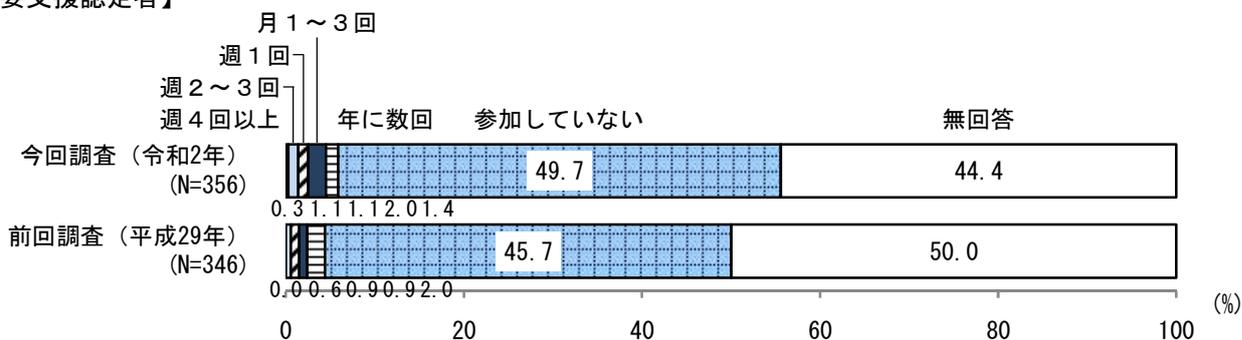
趣味関係のグループに『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」までの合計）人は、一般高齢者で33.5%、要支援認定者で13.0%となっています。参加頻度は「月に1から3回」が多くなっています。

④学習・教養サークル

【一般高齢者】



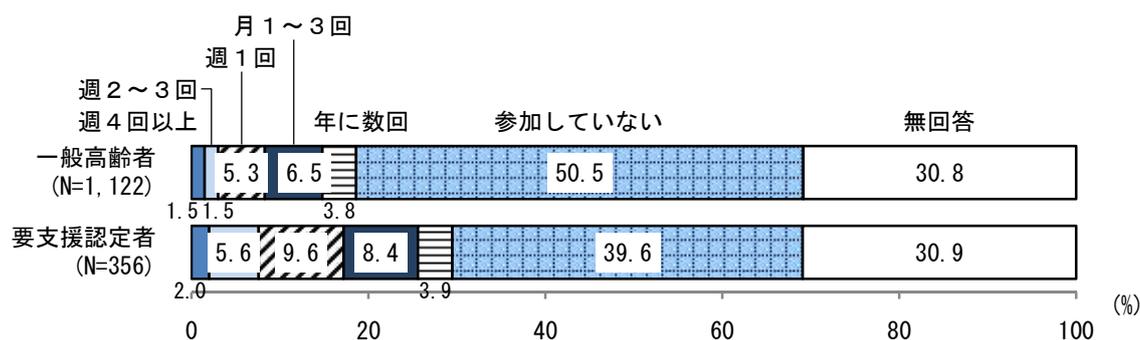
【要支援認定者】



学習・教養サークルに『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」までの合計）人は、一般高齢者で13.8%、要支援認定者で5.9%となっています。参加頻度は「月に1～3回」、「年に数回」が多くなっています。

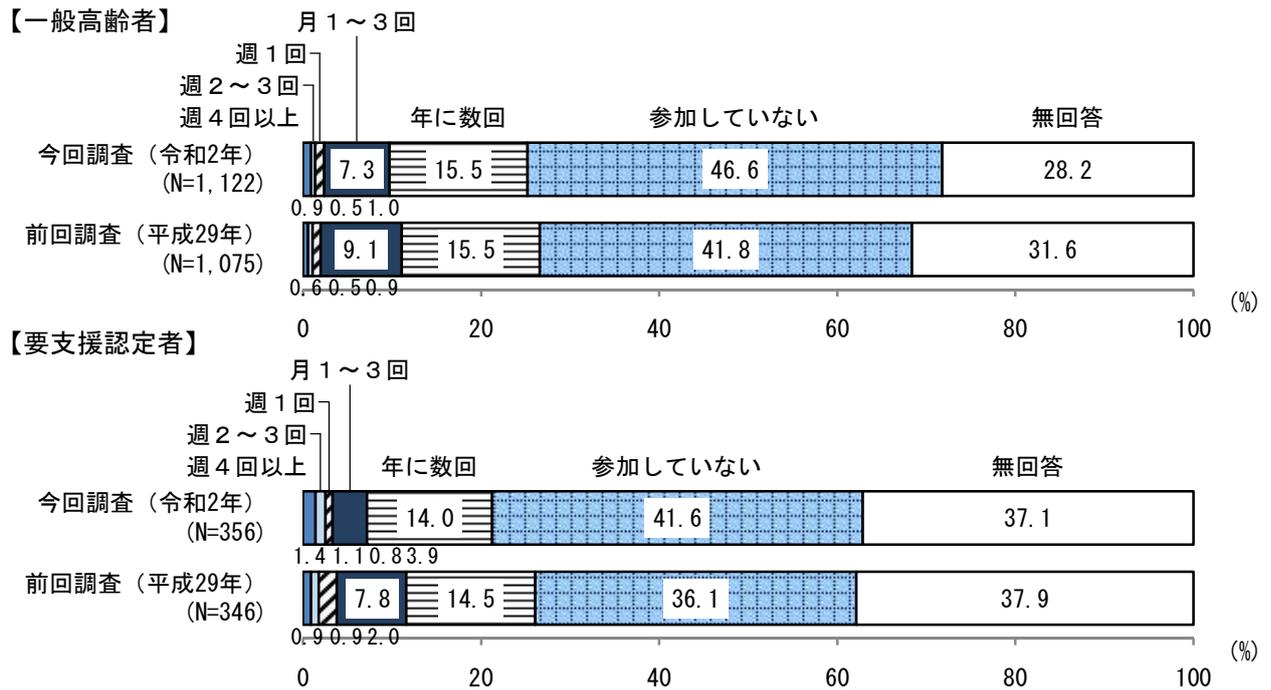
⑤介護予防のための通い場

※前回調査では、設問なし



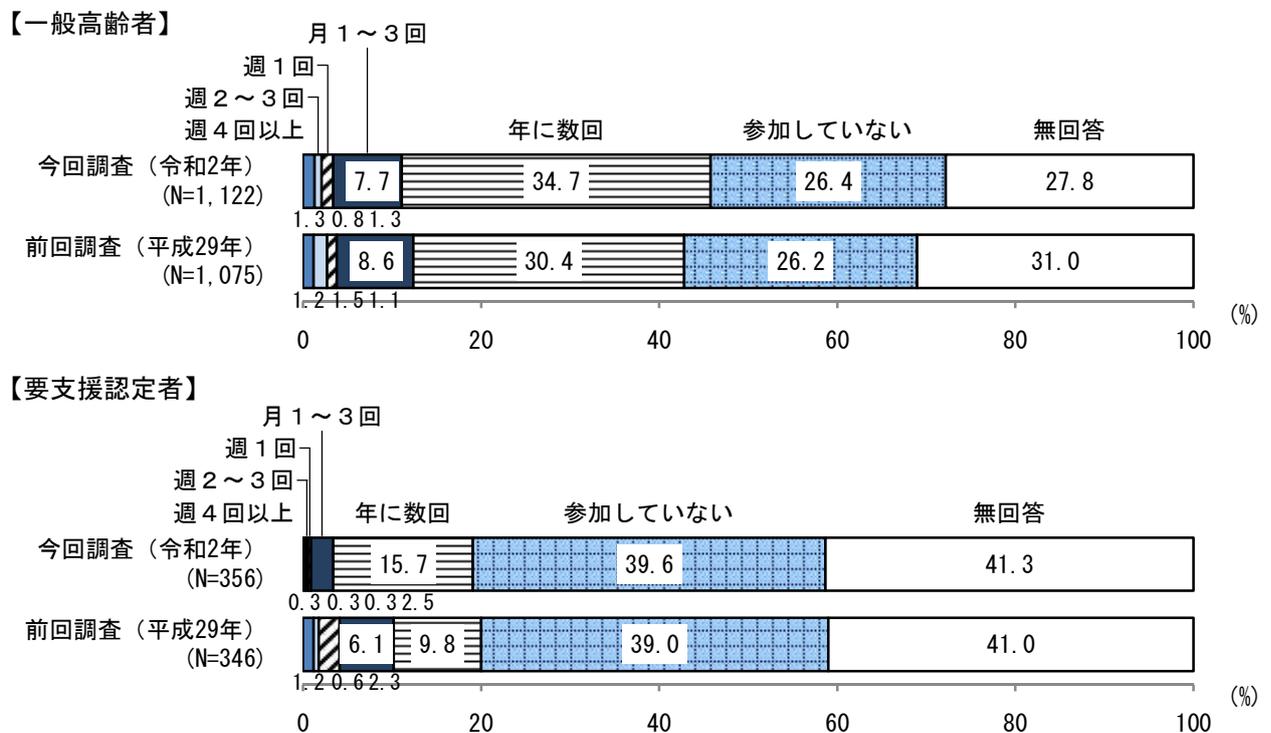
介護予防のための通い場に『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」までの合計）人は、一般高齢者で18.6%、要支援認定者で29.5%となっています。参加頻度は「週に1回」、「月に1～3回」が多くなっています。

⑥老人クラブ



老人クラブに『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」までの合計）人は、一般高齢者で25.2%、要支援認定者で21.2%となっています。参加頻度は「月に1～3回」、「年に数回」が多くなっています。前回調査に比べて、要支援認定者の参加が減少しています。

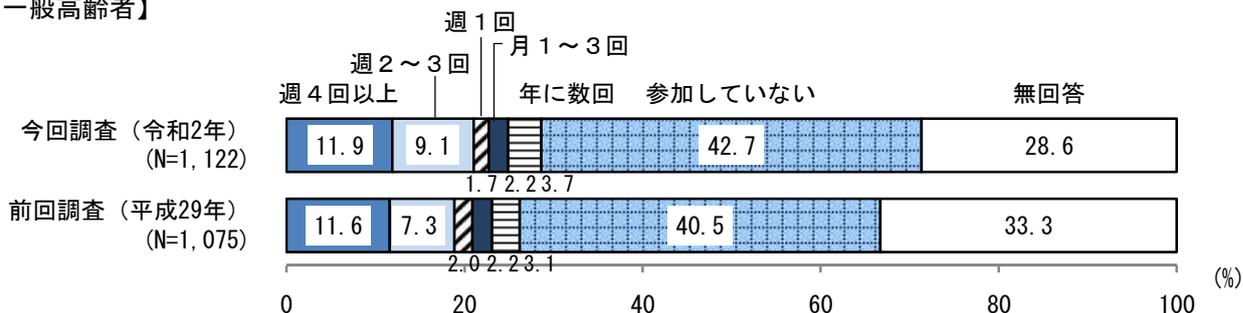
⑦町内会・自治会



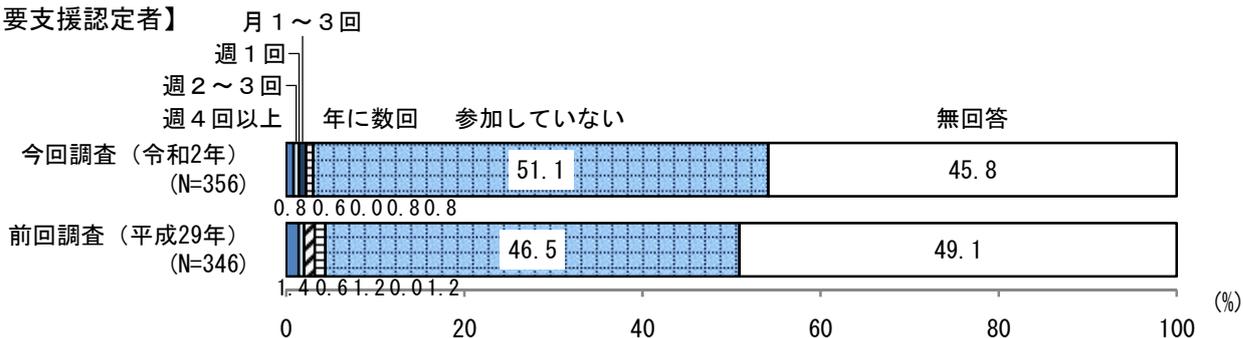
町内会・自治会に『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」までの合計）人は、一般高齢者で45.8%、要支援認定者で19.1%となっています。参加頻度は「年に数回」が多くなっています。前回調査に比べて、一般高齢者の参加がやや増加しています。

⑧収入のある仕事

【一般高齢者】



【要支援認定者】



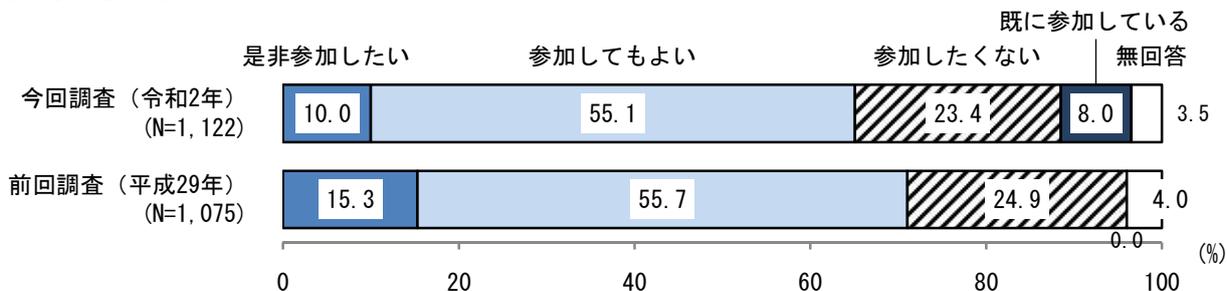
収入のある仕事を『している』（「週4回以上」～「年に数回」までの合計）人は、一般高齢者で28.6%、要支援認定者で3.0%となっています。参加頻度は「週に2～3回」、「週4回以上」が多くなっています。前回調査に比べて、一般高齢者で仕事をしている人が増加しています。

(2) 地域の会・グループ等への参加意向

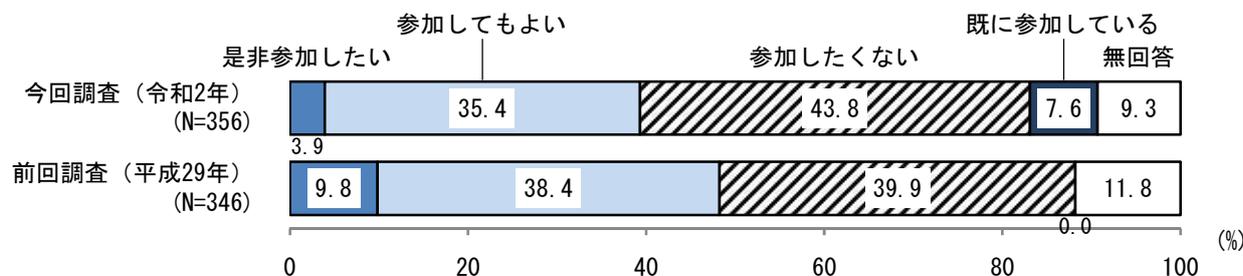
①参加者としての参加

問 37 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

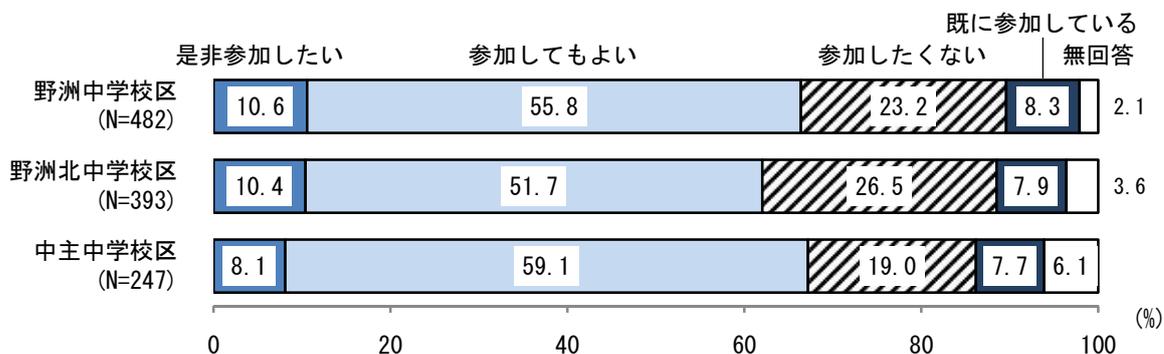
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



※「既に参加している」は今回調査より追加された選択肢。

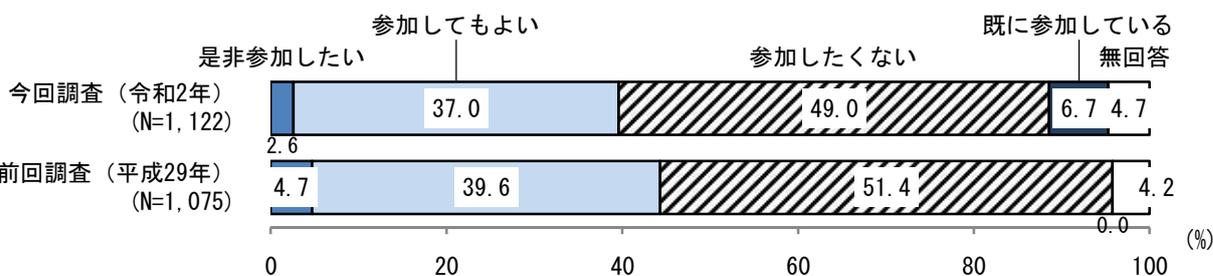
地域の会・グループ等への、参加者としての参加意向がある人（「是非参加したい」、「参加してもよい」「既に参加している」の合計）は、一般高齢者で 73.1%、要支援認定者で 46.9%となっています。

中学校区別にみると、野洲北中学校区で「参加したくない」がやや多くなっていますが、大きな差はみられません。

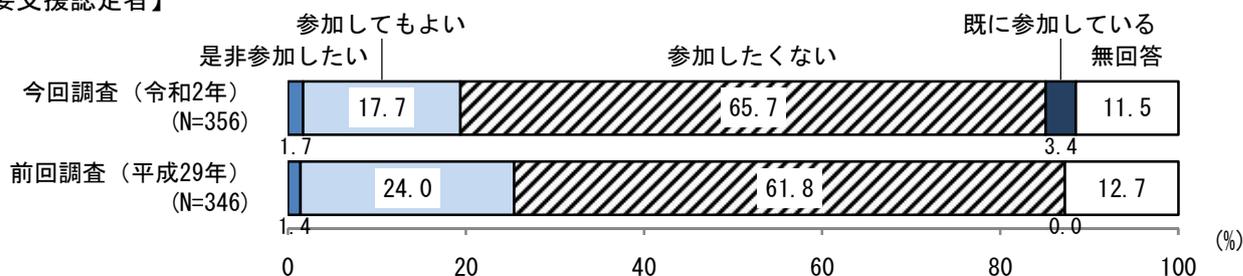
②企画・運営としての参加

問 38 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

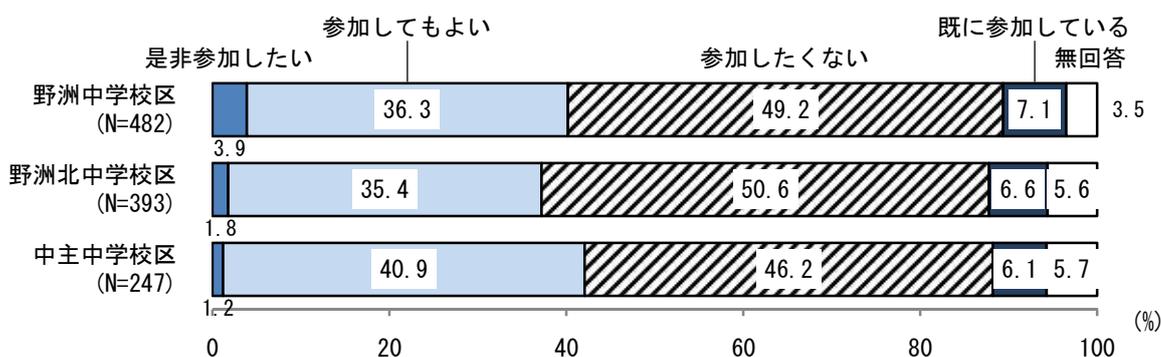
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



※「既に参加している」は今回調査より追加された選択肢。

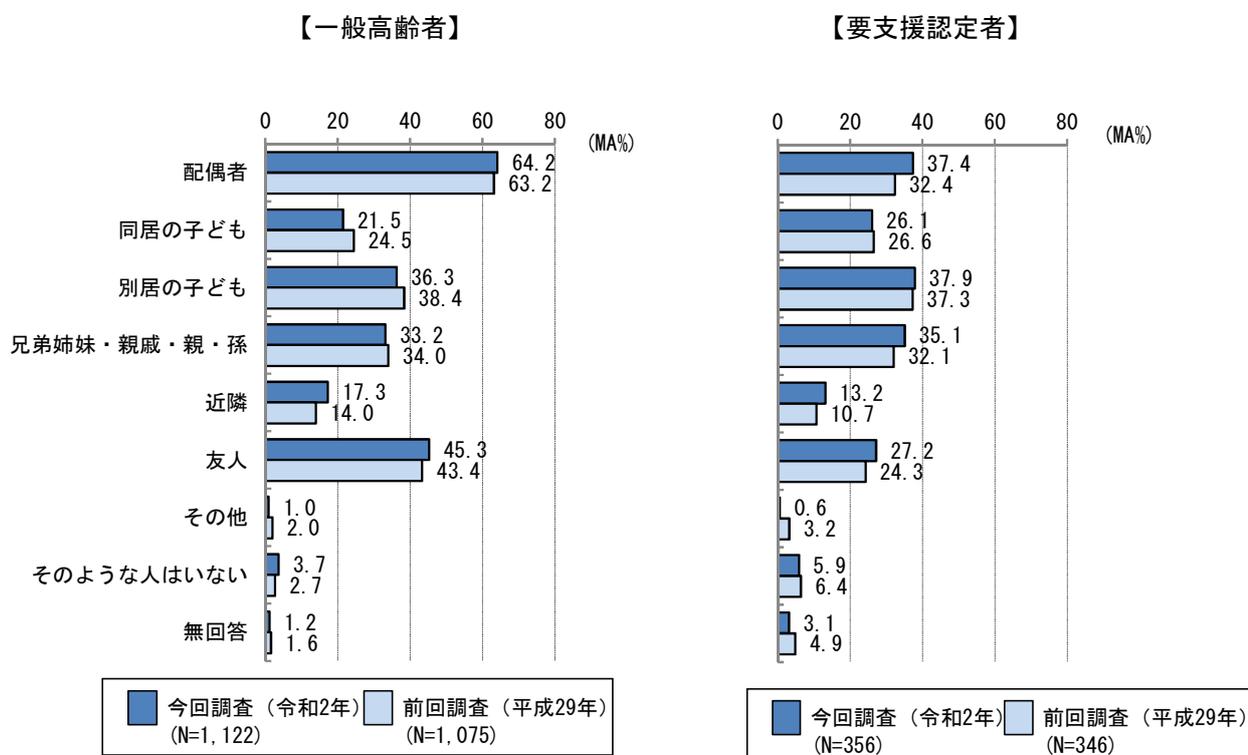
地域の会・グループ等への、企画・運営としての参加意向がある人（「是非参加したい」、「参加してもよい」「既に参加している」の合計）は、一般高齢者で 46.3%、要支援認定者で 22.8%となっています。

中学校区別にみると、参加意向がある人は野洲北中学校区でやや少なくなっていますが、大きな差はみられません。

7 たすけあいについて

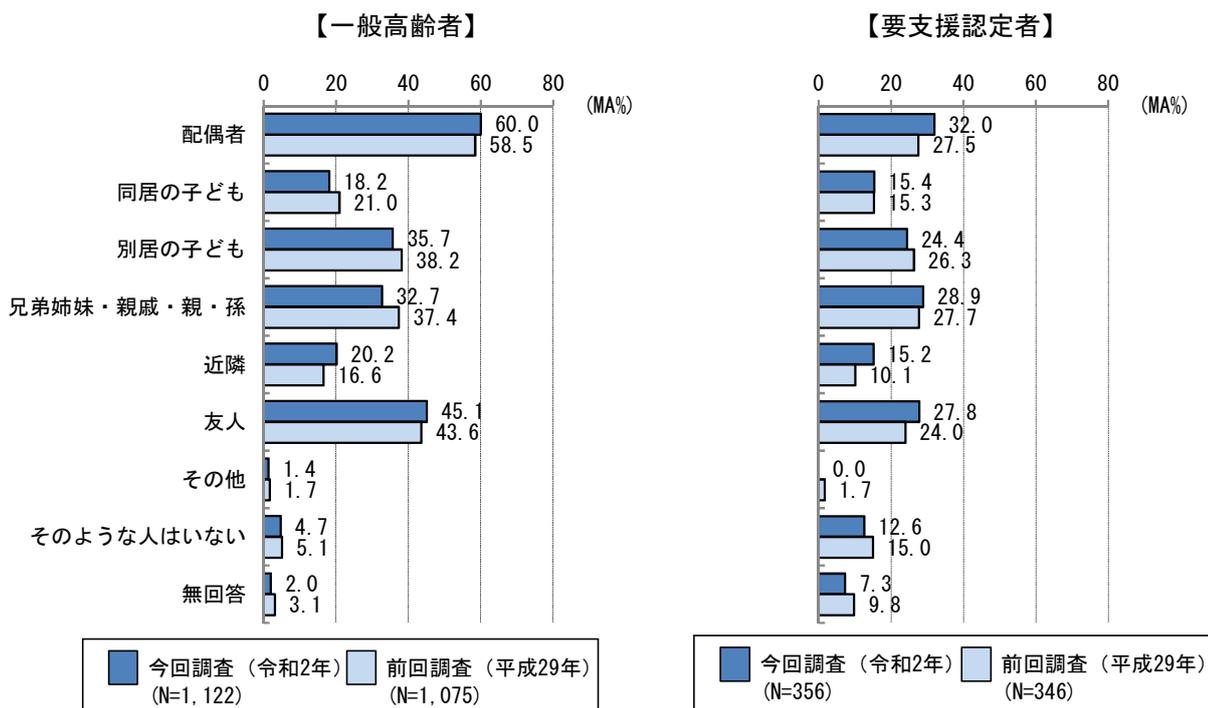
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人

問 39 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)



心配事や愚痴を聞いてくれる人は、一般高齢者では「配偶者」(64.2%)が最も多く、次いで、「友人」(45.3%)となっています。要支援認定者では「別居の子ども」(37.9%)が最も多く、次いで、「配偶者」(37.4%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(35.1%)となっています。

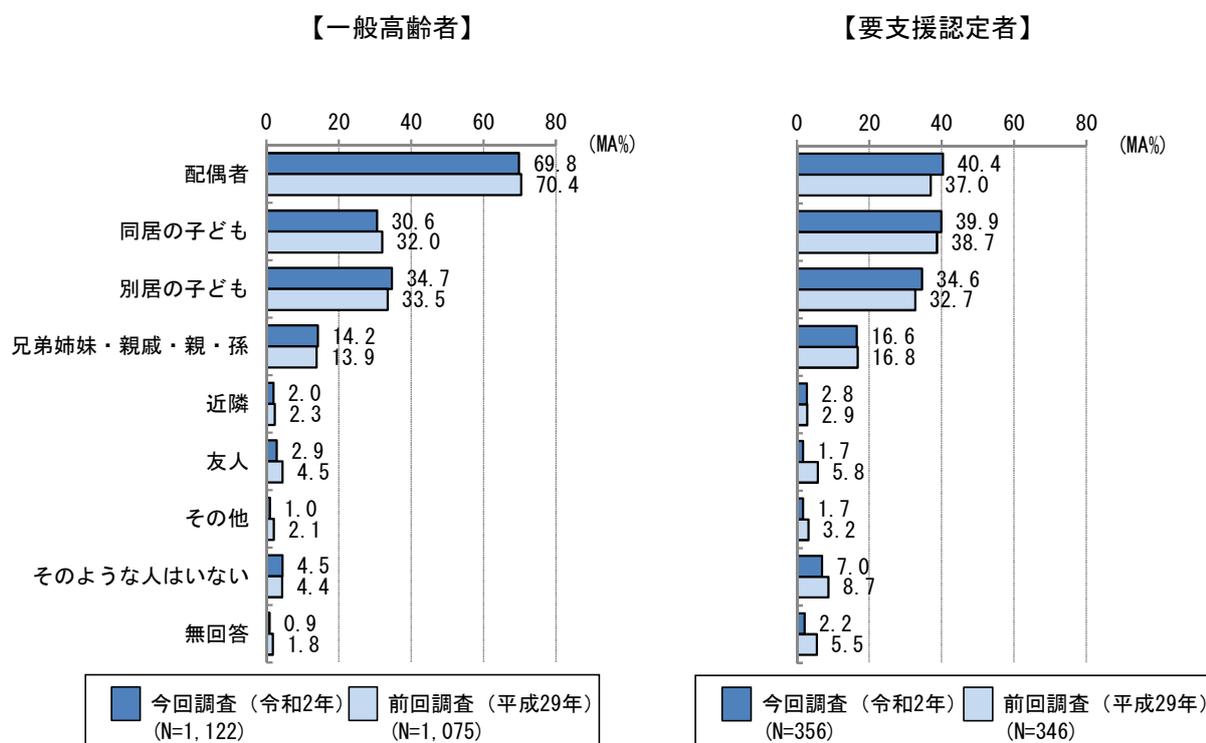
問 40 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（〇はいくつでも）



心配事や愚痴を聞いてあげる人は、一般高齢者では「配偶者」（60.0%）が最も多く、次いで、「友人」（45.1%）となっています。要支援認定者では「配偶者」（32.0%）が最も多く、次いで、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（28.9%）、「友人」（27.8%）となっています。

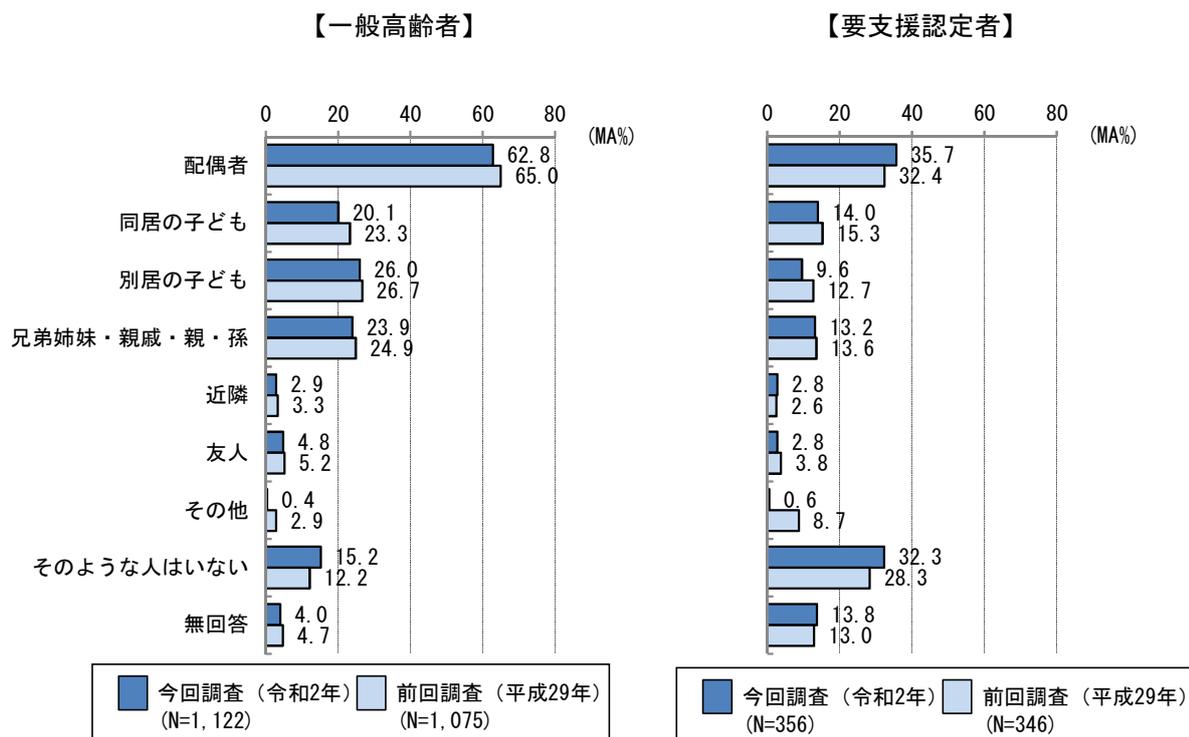
(2) 看病や世話をしてくれる人、してあげる人

問 41 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)



看病や世話をしてくれる人は、一般高齢者では「配偶者」(69.8%)が最も多く、次いで、「別居の子ども」(34.7%)、「同居の子ども」(30.6%)となっています。要支援認定者では「配偶者」(40.4%)が最も多く、次いで、「同居の子ども」(39.9%)、「別居の子ども」(34.6%)となっています。

問 42 反対に、看病や世話をしあける人（〇はいくつでも）

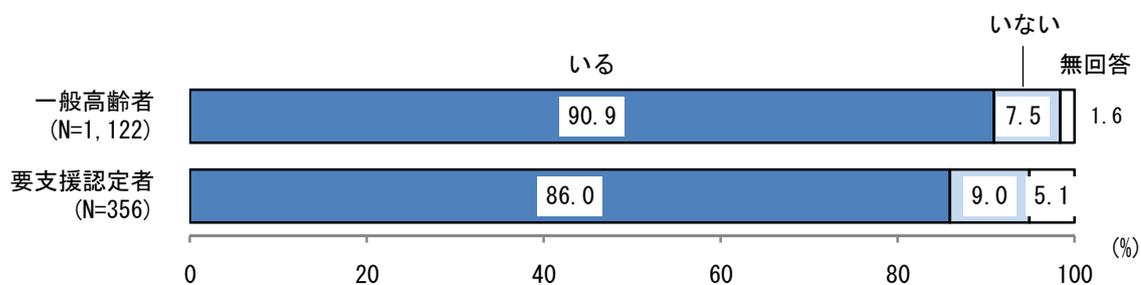


看病や世話をしあける人は、一般高齢者、要支援認定者ともに「配偶者」が最も多く、一般高齢者で 62.8%、要支援認定者で 35.7%となっています。また、要支援認定者では、「そのような人はいない」が 32.3%と多くなっています。

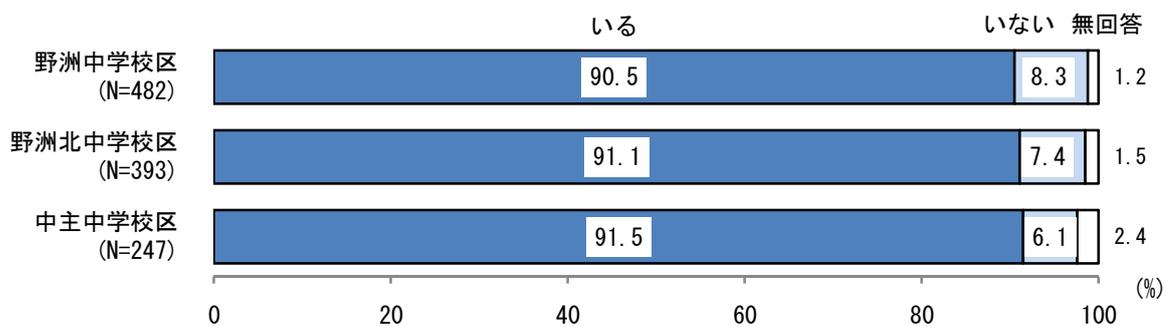
(3) 相談相手の有無

問 43 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか (○は1つ)

※前回調査では、設問なし



【中学校区別】



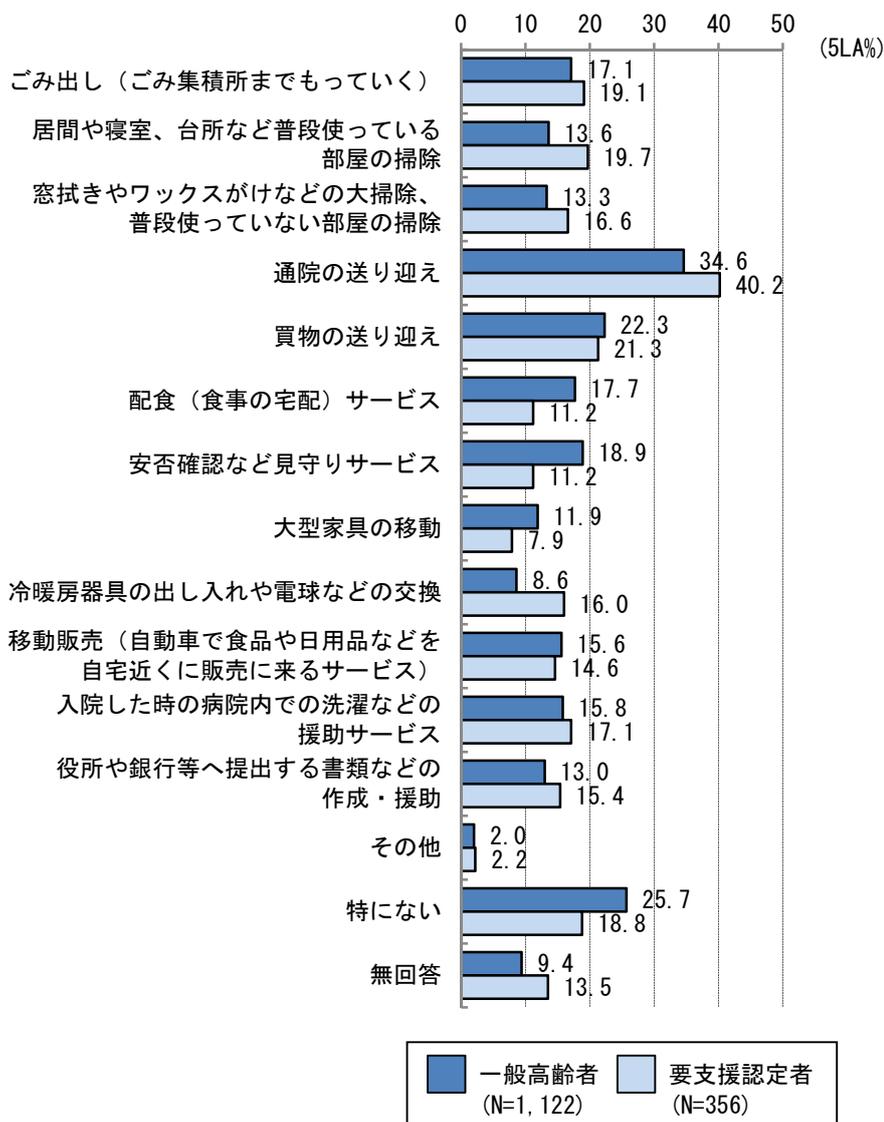
体調が悪いときに、身近に相談できる人が「いる」人は、一般高齢者で 90.9%、要支援認定者で 86.0%となっています。

中学校区別にみると、いずれの地区も「いる」が9割となっています。

(4) あればよいサービスや助け合い

問 44 介護保険サービス以外で、特にどのようなサービスや助け合いがあれば良いと思いますか (〇は5つまで)

【新規設問】



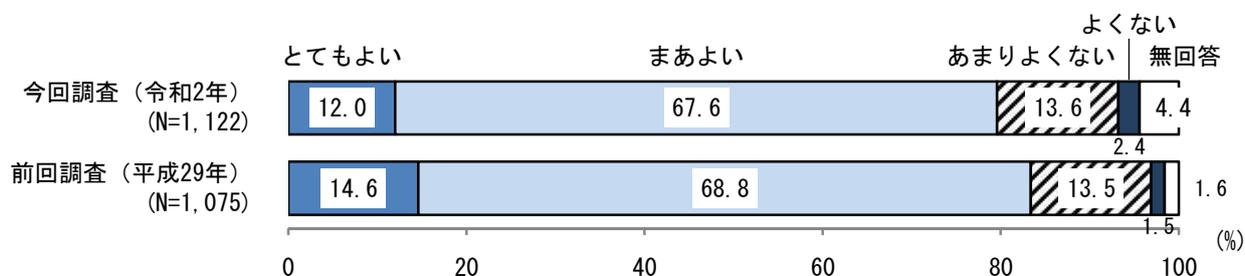
介護保険サービス以外で希望するサービスや助け合いについては、一般高齢者、要支援認定者ともに「通院の送り迎え」(一般高齢者 34.6%、要支援認定者 40.2%) が最も多く、次いで、「買物の送り迎え」(一般高齢者 22.3%、要支援認定者 21.3%) となっています。また、「安否確認など見守りサービス」、「配食 (食事の宅配) サービス」などは一般高齢者の方が多く、「ごみ出し (ごみ集積所までもっていく)」、「居間や寝室、台所など普段使っている部屋の掃除」、「窓拭きやワックスがけなどの大掃除、普段使っていない部屋の掃除」、「冷暖房器具の出し入れや電球などの交換」などでは要支援認定者の方が多くなっています。

8 健康について

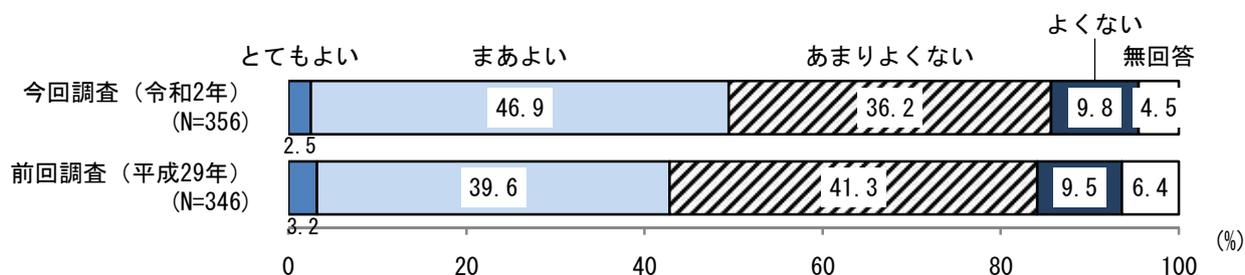
(1) 主観的健康観

問 45 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は1つ)

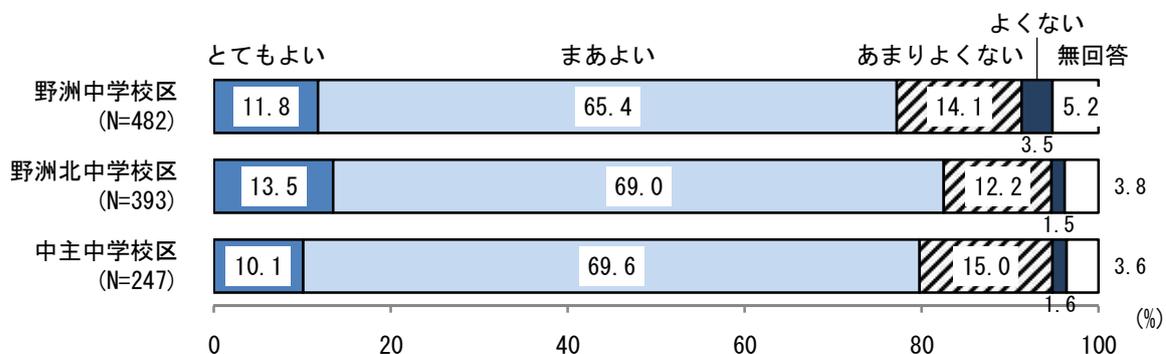
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】

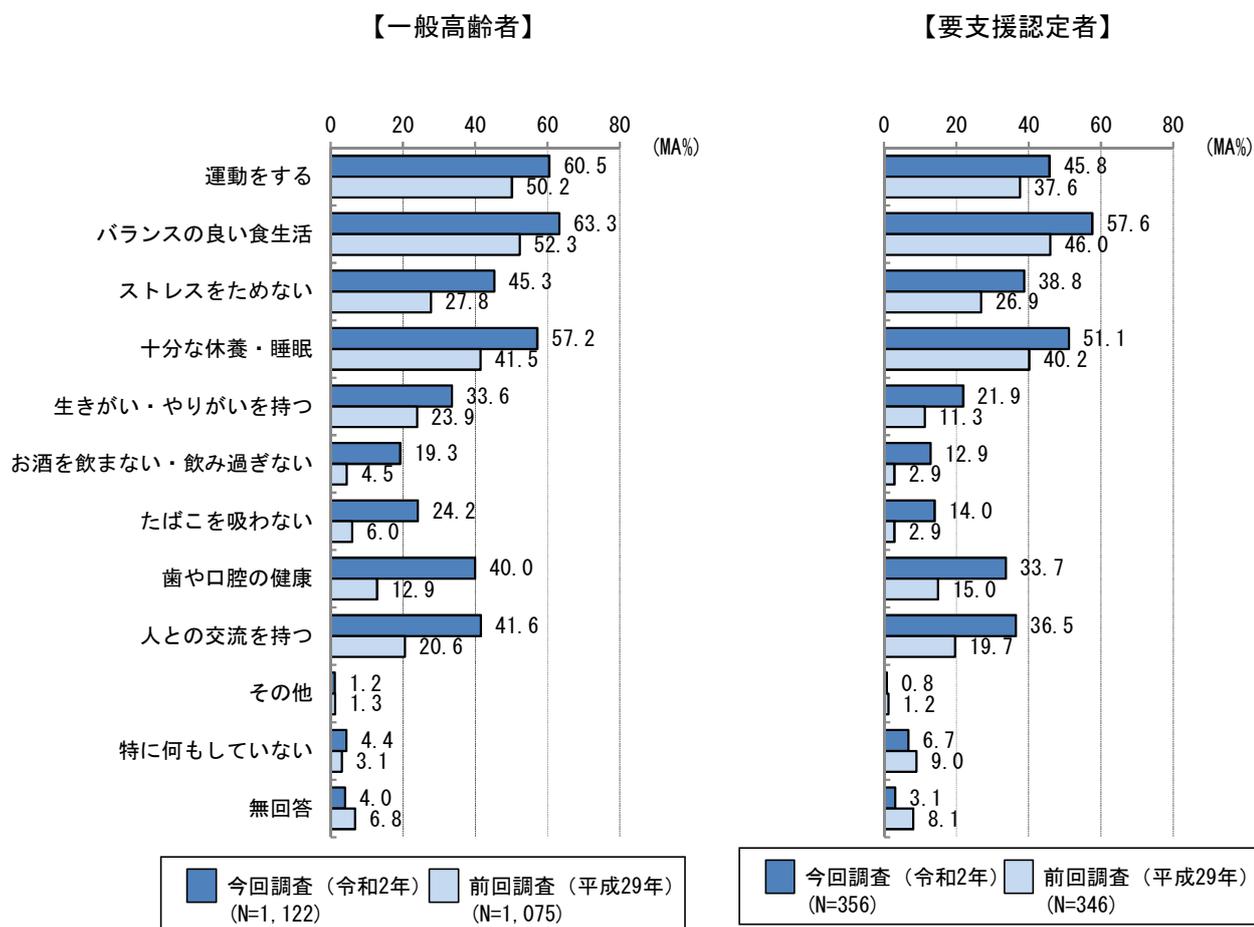


現在の健康状態について、『よい』（「とてもよい」と「まあよい」の合計）と回答している人は、一般高齢者では 79.6%、要支援認定者では 49.4% となっており、前回調査に比べて、『よい』は一般高齢者で 3.8 ポイント減少し、要支援認定者で 6.6 ポイント増加しています。

中学校区別にみると、『よい』は野洲北中学校区で 82.5% と他の地区に比べてやや多くなっています。

(2) 健康のために気をつけていること

問 46 健康のために特に気をつけていることは何ですか (〇はいくつでも)



※前回調査では「〇は3つまで」であったため、全体的に今回調査の数値が高くなっている。

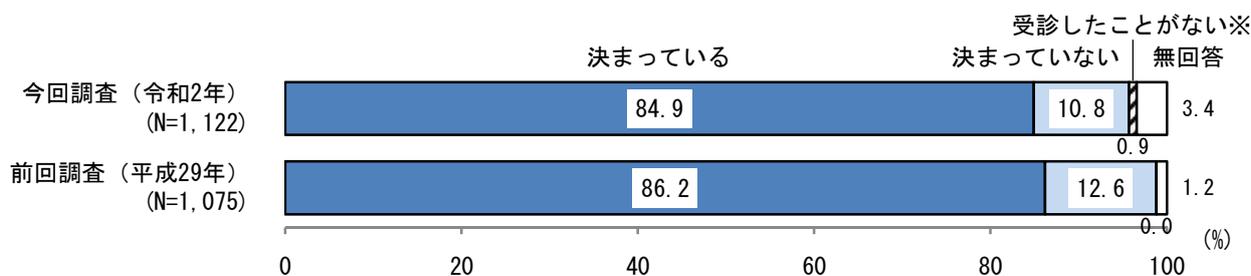
健康のために特に気をつけていることは、一般高齢者では「バランスの良い食生活」(63.3%)が最も多く、次いで、「運動をする」(60.5%)、「十分な休養・睡眠」(57.2%)となっています。要支援認定者でも「バランスの良い食生活」(57.6%)が最も多く、次いで、「十分な休養・睡眠」(51.1%)、「運動をする」(45.8%)となっています。

(3) かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

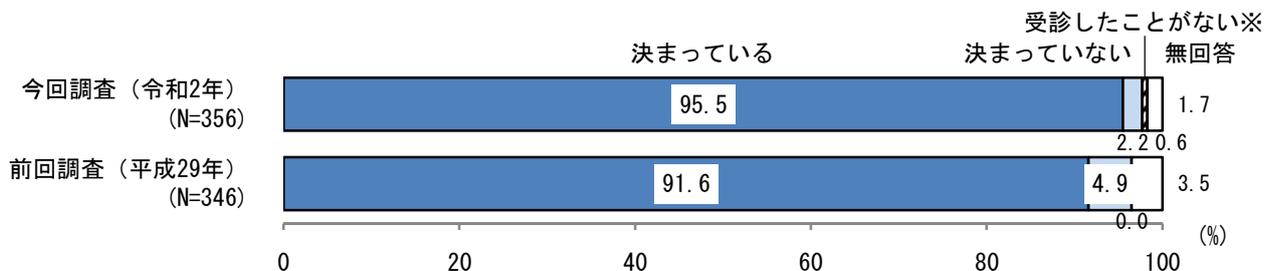
問 47 具合が悪くなったときにいつも診てもらう「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」は決まっていますか (①～③それぞれ1つに○)

①かかりつけ医

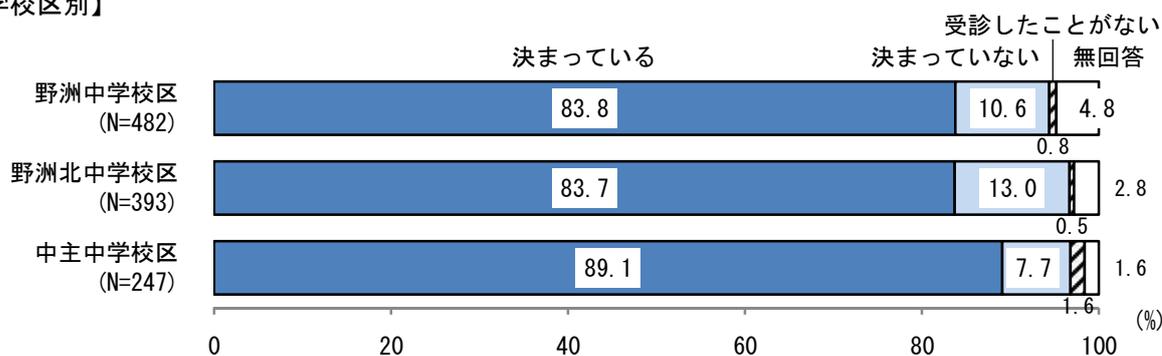
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



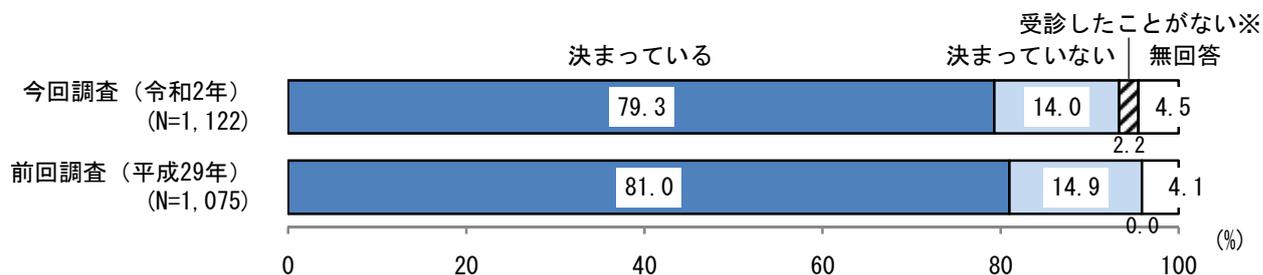
※「受診したことがない」は前回調査では選択肢なし。

かかりつけ医が「決まっている」人は、一般高齢者で84.9%、要支援認定者で95.5%となっています。

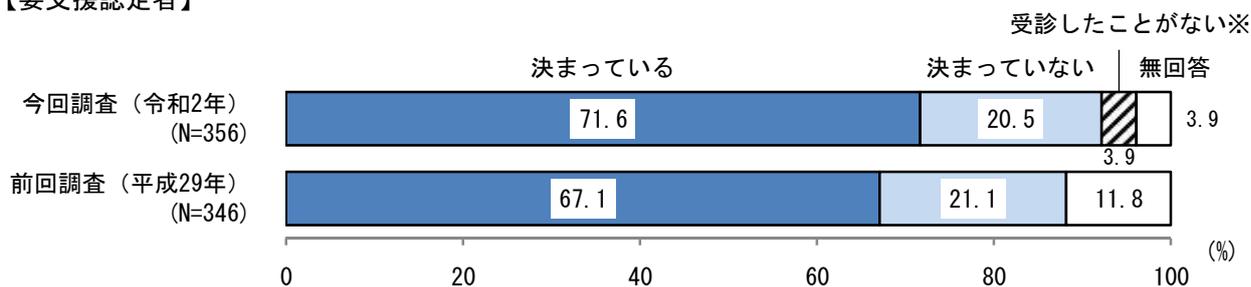
中学校区別にみると、「決まっている」人は中主中学校区で89.1%と、他の地区に比べて多くなっています。

②かかりつけ歯科医

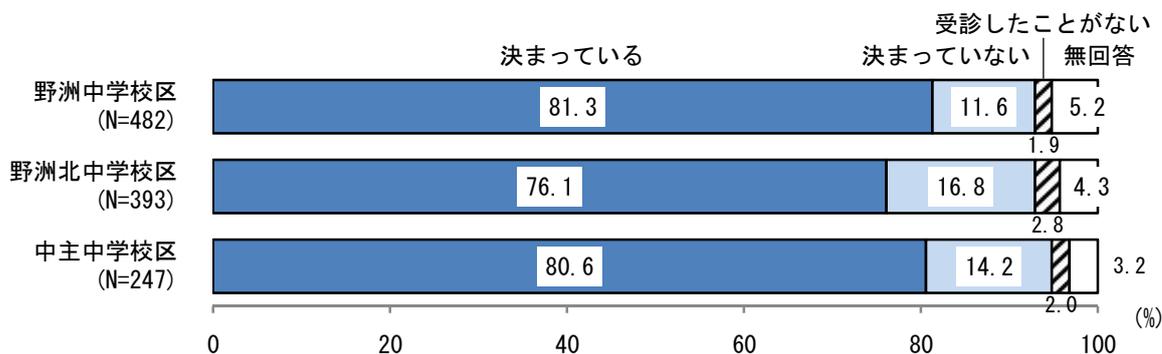
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



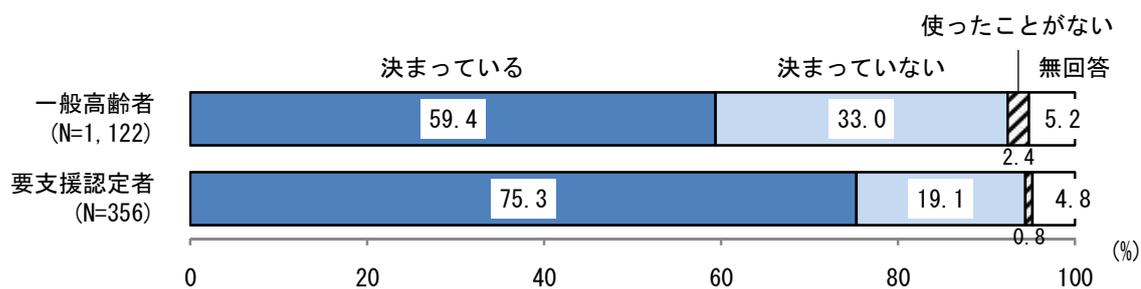
※「受診したことがない」は前回調査では選択肢なし。

かかりつけ歯科医が「決まっている」人は、一般高齢者では79.3%、要支援認定者では71.6%となっています。

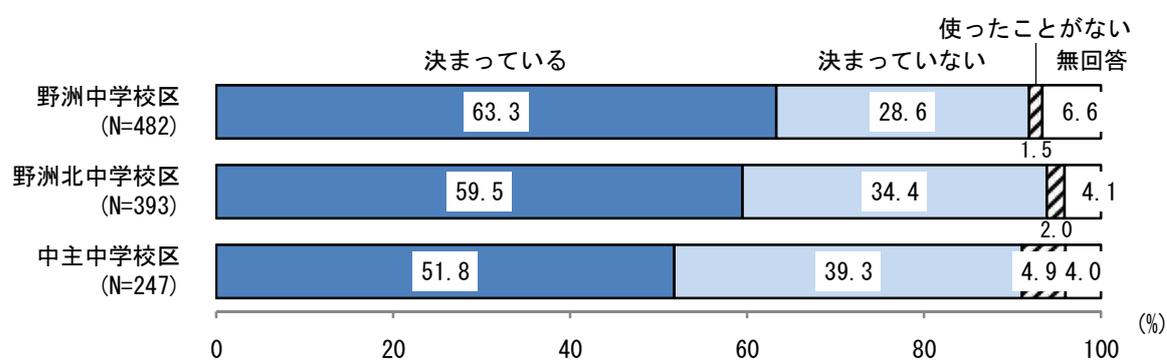
中学校区別にみると、野洲北中学校区では「決まっていない」が16.8%と他の地区に比べてやや多くなっています。

③かかりつけ薬局

※前回調査では、設問なし



【中学校区別】



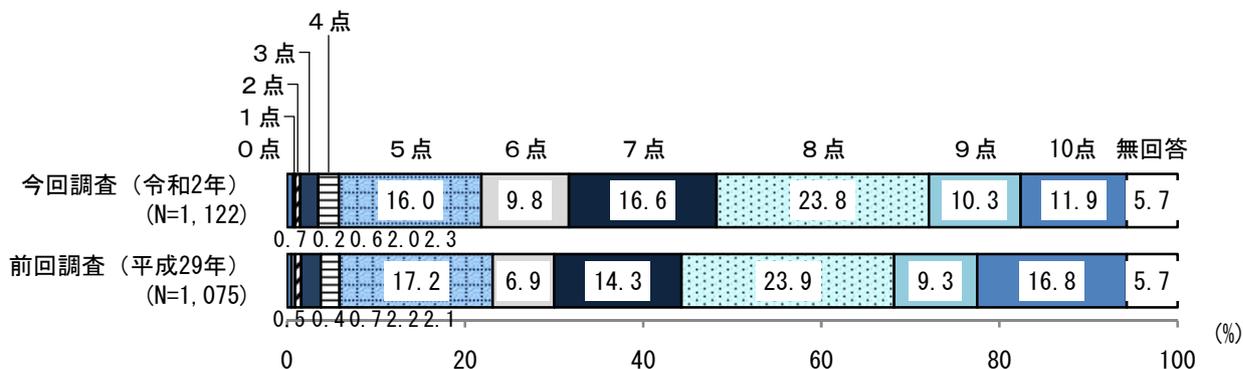
かかりつけ薬局が「決まっている」人は、一般高齢者で59.4%、要支援認定者で75.3%となっています。

中学校区別にみると、「決まっている」人は野洲中学校区で63.3%と最も多く、中主中学校区では「決まっていない」が39.3%と他の地区に比べて多くなっています。

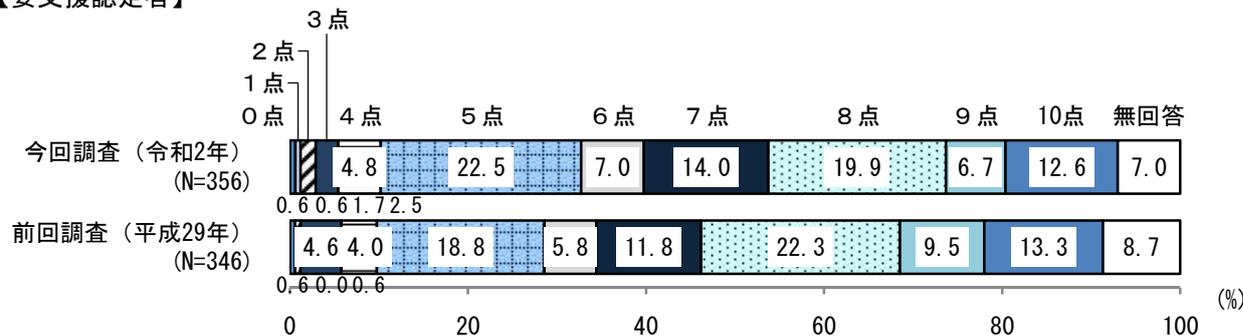
(4) 主観的幸福感

問 48 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○を1つ）

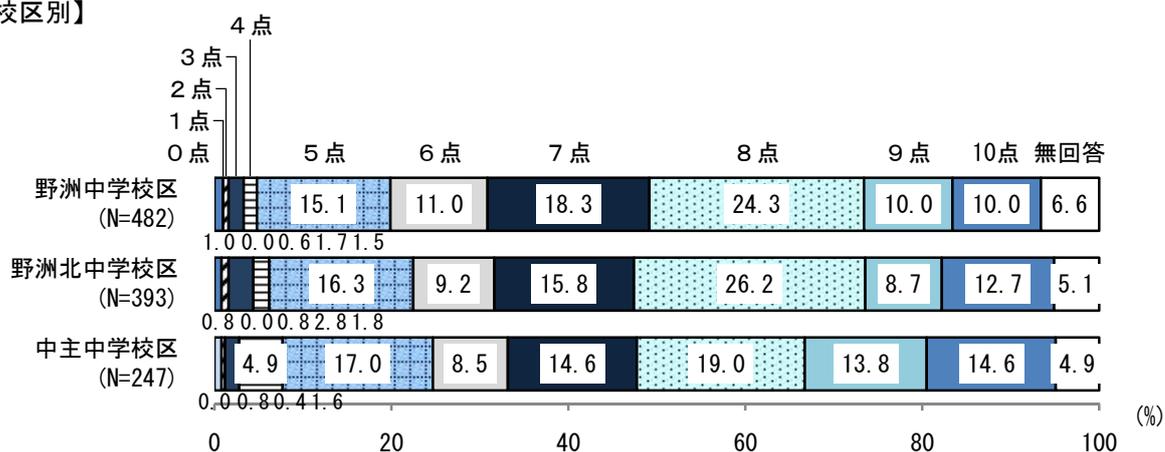
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】

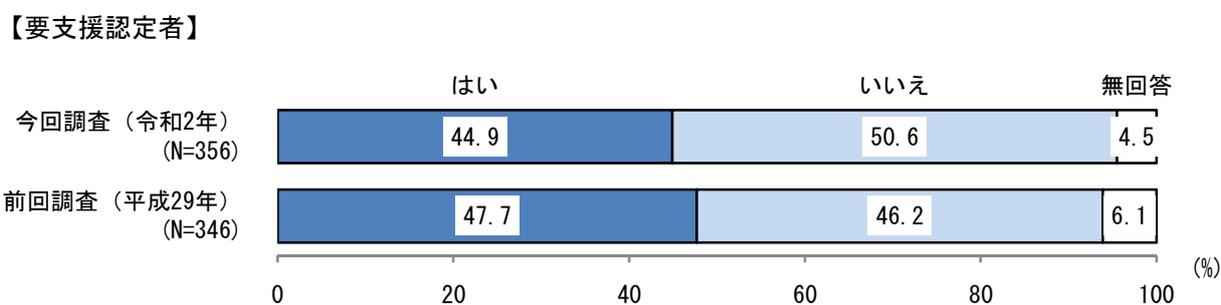
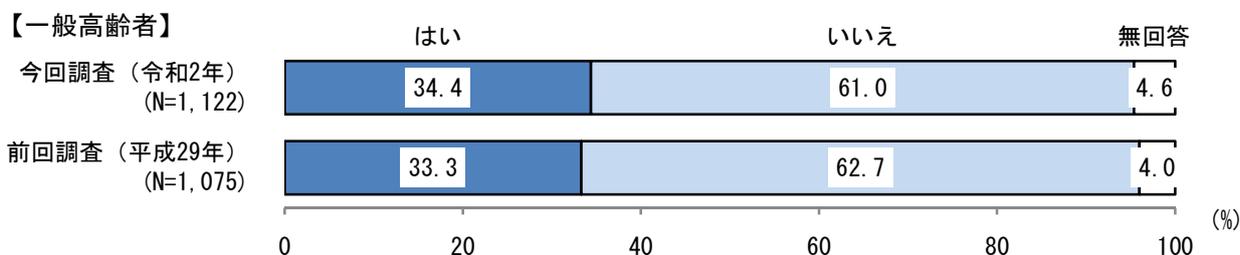


現在どの程度幸せかを10点満点で評価してもらったところ、一般高齢者では「8点」が23.8%と最も多く、次いで、「7点」が16.6%、「5点」が16.0%で、平均7.2点となっています。要支援認定者では「5点」が22.5%と最も多く、次いで、「8点」が19.9%、「7点」が14.0%で、平均6.8点となっています。

中学校区別にみると、野洲中学校区が平均7.1点、野洲北中学校区と中主中学校区は平均7.2点と大きな差はみられません。

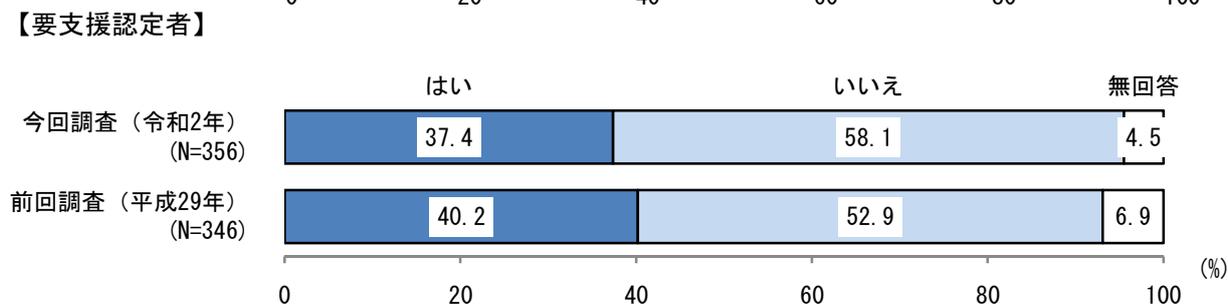
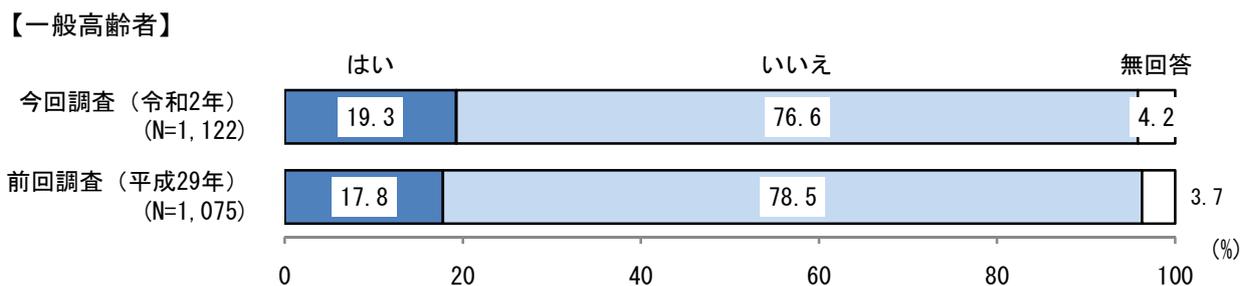
(5) ゆうつ感や物事に対する興味の喪失感

問 49 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(○は1つ)



この1か月間にゆううつな気持ちになったりすることがあった(「はい」と回答している)人は、一般高齢者で34.4%、要支援認定者では44.9%となっています。

問 50 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(○は1つ)

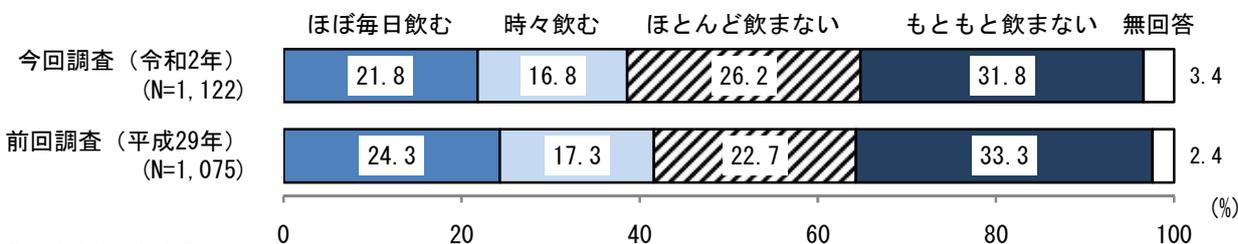


この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった(「はい」と回答している)人は一般高齢者で19.3%、要支援認定者で37.4%となっています。

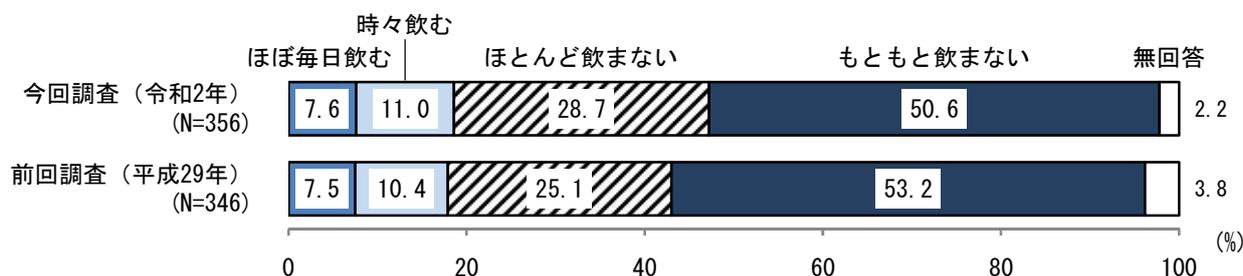
(6) 飲酒習慣

問 51 お酒は飲みますか (○は1つ)

【一般高齢者】



【要支援認定者】

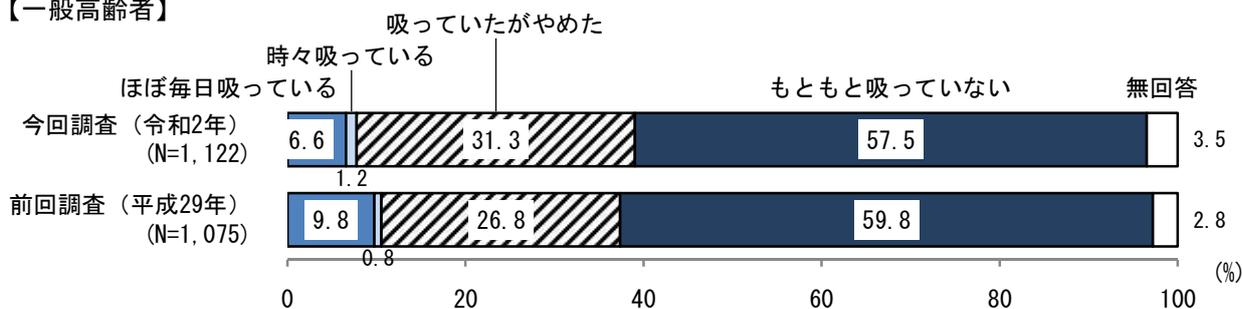


飲酒習慣がある人(「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計)は、一般高齢者で38.6%、要支援認定者で18.6%となっています。前回調査に比べて、飲酒習慣がある人は一般高齢者で3.0ポイント減少しています。

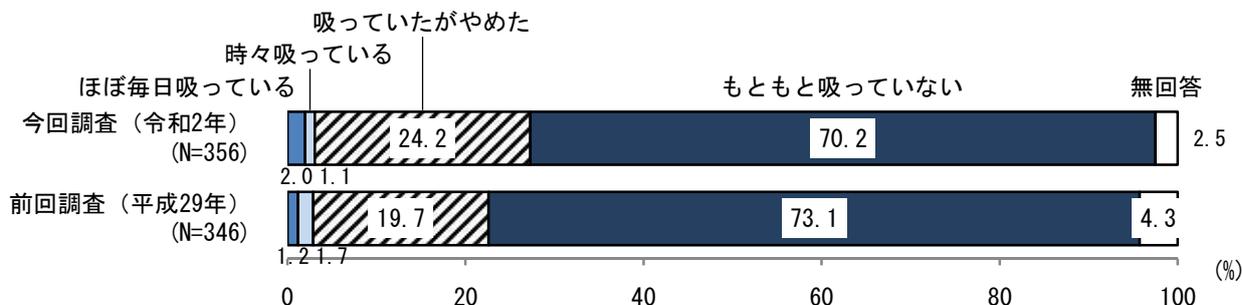
(7) 喫煙習慣

問 52 タバコは吸っていますか (○は1つ)

【一般高齢者】



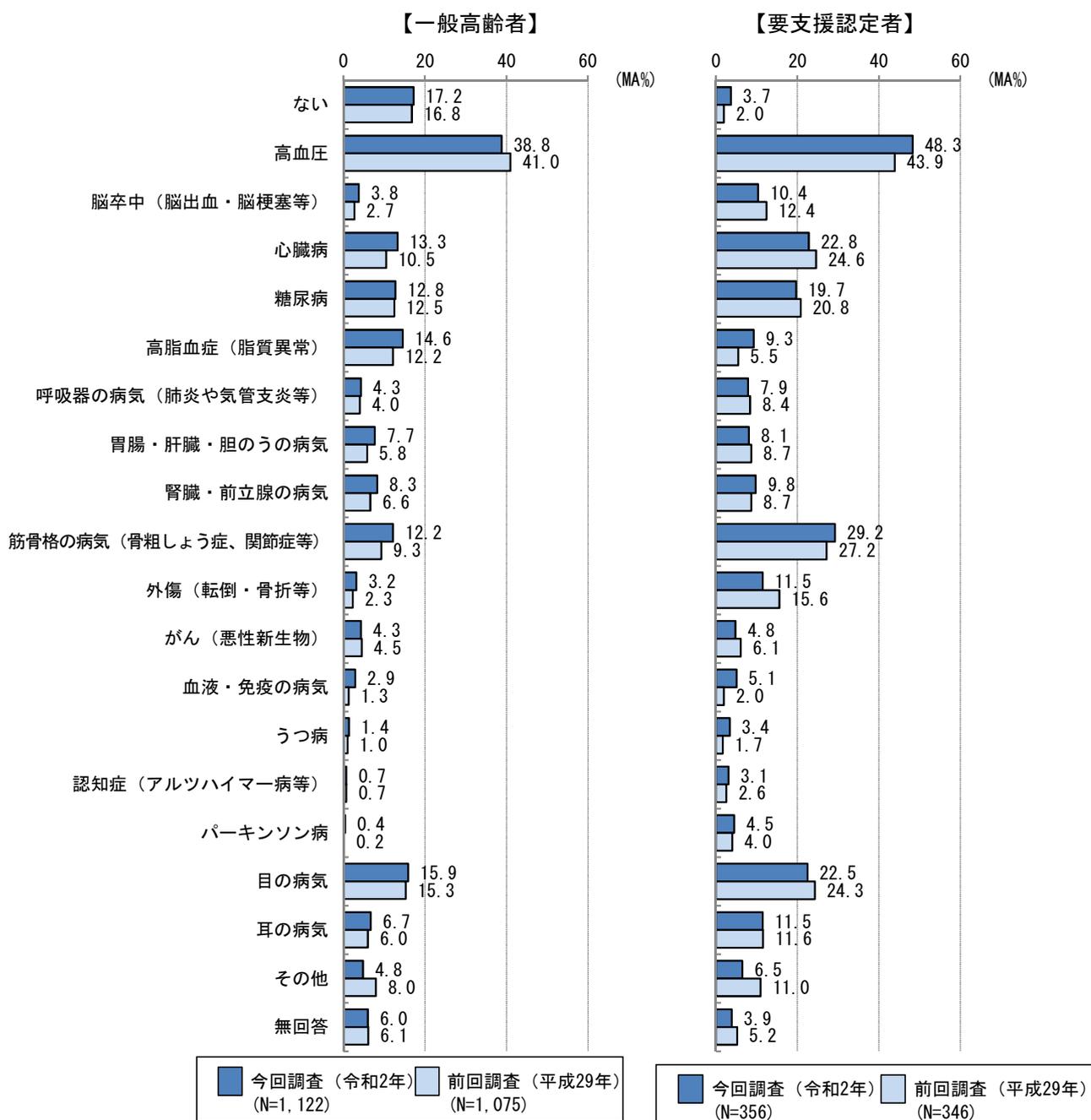
【要支援認定者】



喫煙習慣のある人(「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合計)は、一般高齢者で7.8%、要支援認定者で3.1%となっています。

(8) 治療中や後遺症のある病気

問 53 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)



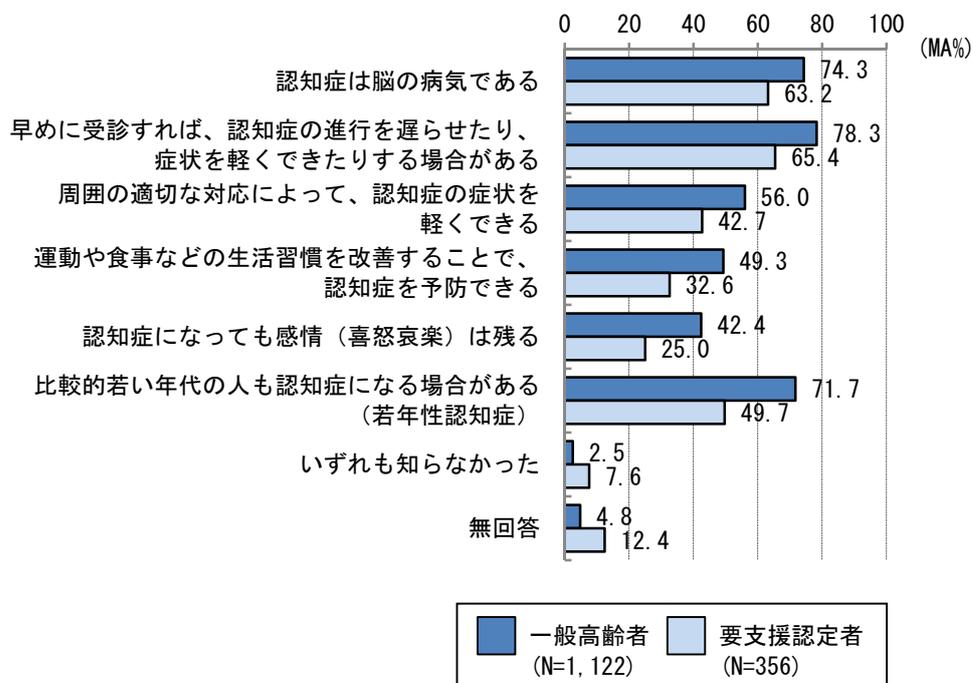
現在治療中、または後遺症のある病気については、一般高齢者では「高血圧」が38.8%と最も多く、次いで、「目の病気」(15.9%)、「高脂血症 (脂質異常)」(14.6%)となっています。要支援認定者では「高血圧」が48.3%と最も多く、次いで、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」(29.2%)、「心臓病」(22.8%)、「目の病気」(22.5%)となっています。

9 認知症対策について

(1) 認知症について知っていたこと

問 54 認知症について、以下であなたが知っていたことはありますか (〇はいくつでも)

【新規設問】



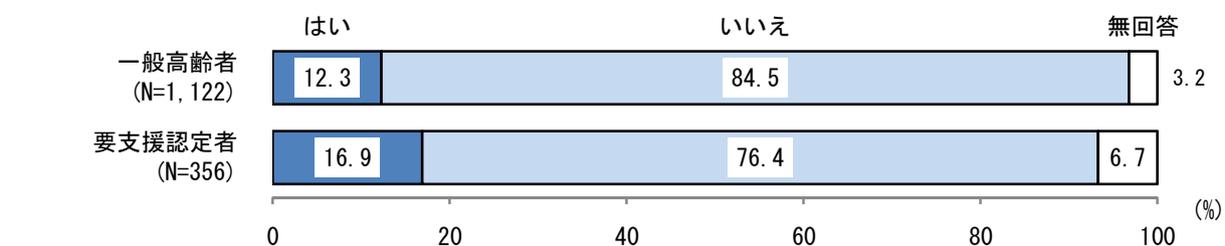
認知症について知っていたことは、一般高齢者、要支援認定者ともに、「早めに受診すれば、認知症の進行を遅らせたり、症状を軽くできたりする場合がある」(一般高齢者 78.3%、要支援認定者 65.4%) が最も多く、次いで、「認知症は脳の病気である」(一般高齢者 74.3%、要支援認定者 63.2%)、「比較的若い年代の人も認知症になる場合がある (若年性認知症)」(一般高齢者 71.7%、要支援認定者 49.7%) となっています。

また、すべての項目で一般高齢者の認知度が高く、とくに、「比較的若い年代の人も認知症になる場合がある (若年性認知症)」では 22.0 ポイント、「認知症になっても感情 (喜怒哀楽) は残る」では 17.4 ポイント、「運動や食事などの生活習慣を改善することで、認知症を予防できる」では 16.7 ポイントと差が大きくなっています。

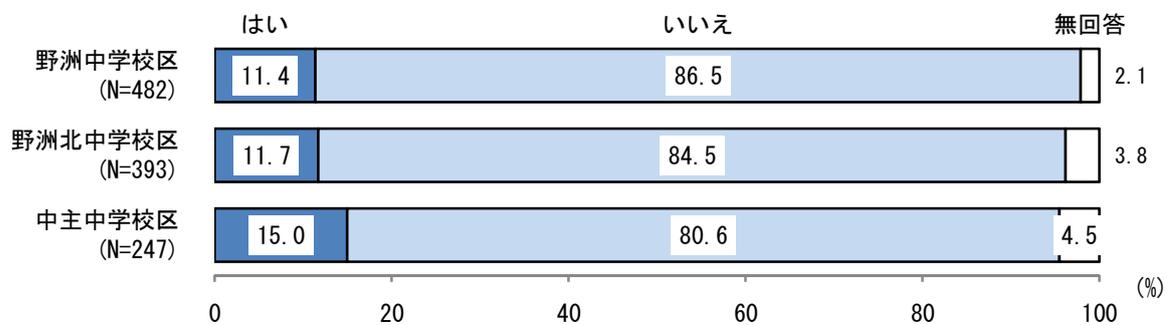
(2) 認知症の症状の有無

問 55 認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

【新規設問】



【中学校区別】



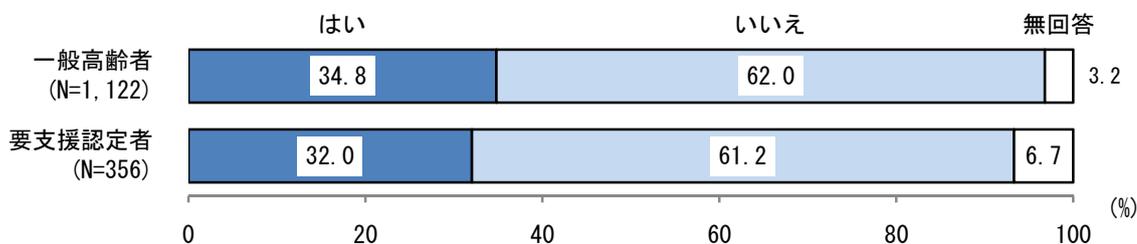
自身または家族に認知症の症状がある（「はい」と回答している）人は、一般高齢者で12.3%、要支援認定者で16.9%となっています。

中学校区別にみると、中主中学校区で15.0%と、他の地区に比べてやや多くなっています。

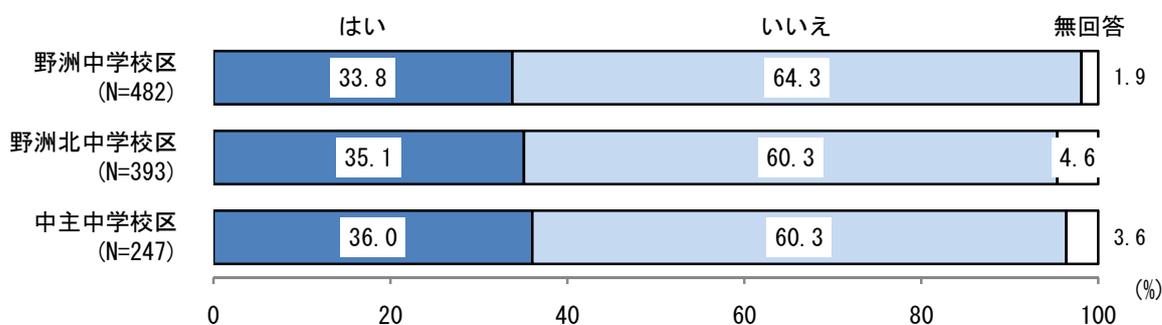
(3) 認知症に関する相談窓口の認知度

問 56 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

【新規設問】



【中学校区別】



認知症に関する相談窓口を知っている（「はい」と回答している）人は、一般高齢者で34.8%、要支援認定者で32.0%となっています。

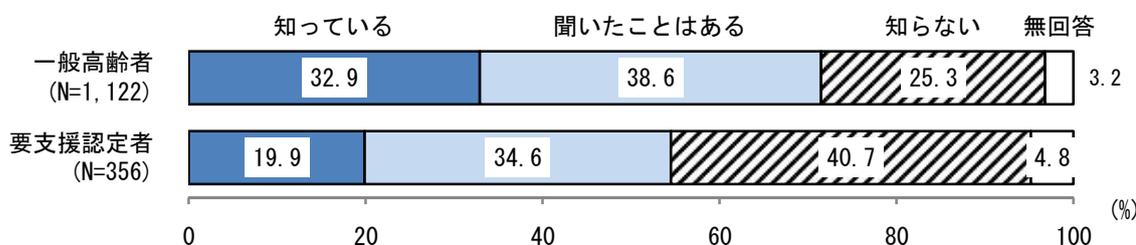
中学校区別には、大きな差はみられません。

10 成年後見制度について

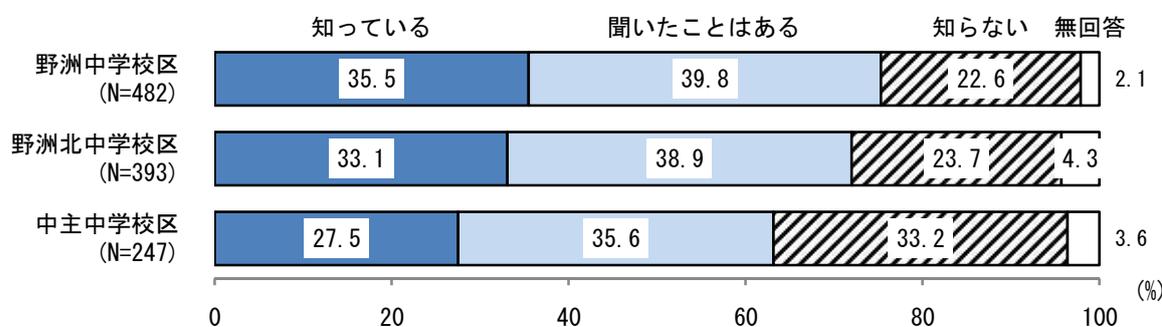
(1) 成年後見制度の認知状況

問 57 あなたは、成年後見制度を知っていますか（○は1つ）

【新規設問】



【中学校区別】



成年後見制度を「知っている」人は一般高齢者で 32.9%で、「聞いたことはある」の 38.6%と合わせて認知者は合計 71.5%となっています。要支援認定者では認知者は合計 54.5%となっています。

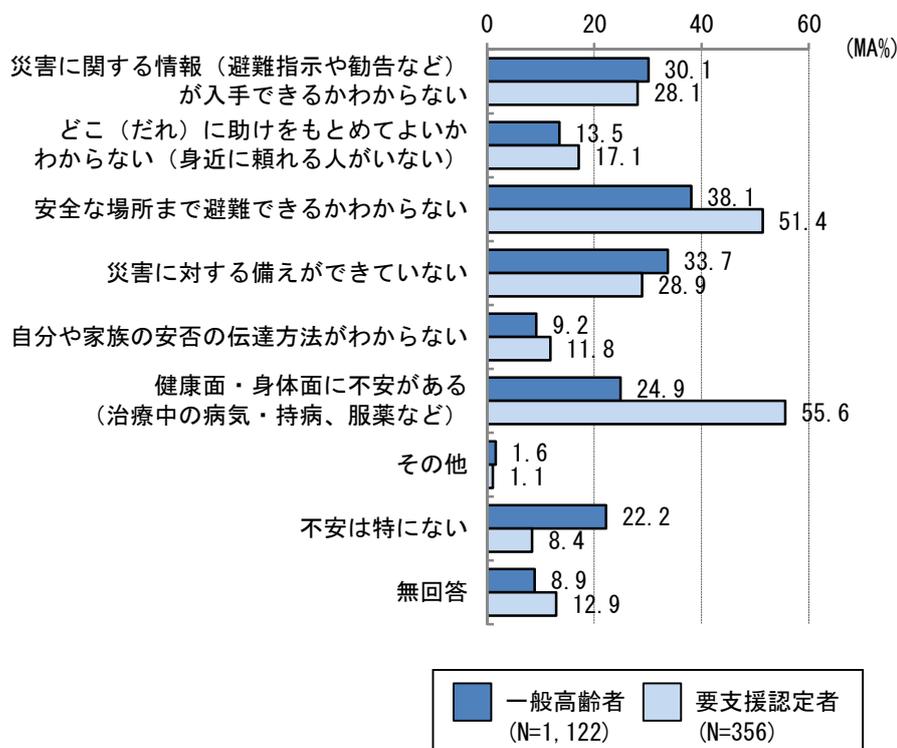
中学校区別にみると、認知者は野洲中学校区で 75.3%、野洲北中学校区で 72.0%、中主中学校区で 63.1%となっています。

11 災害時の対応について

(1) 災害時に不安に思うこと

問 58 地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか（〇はいくつでも）

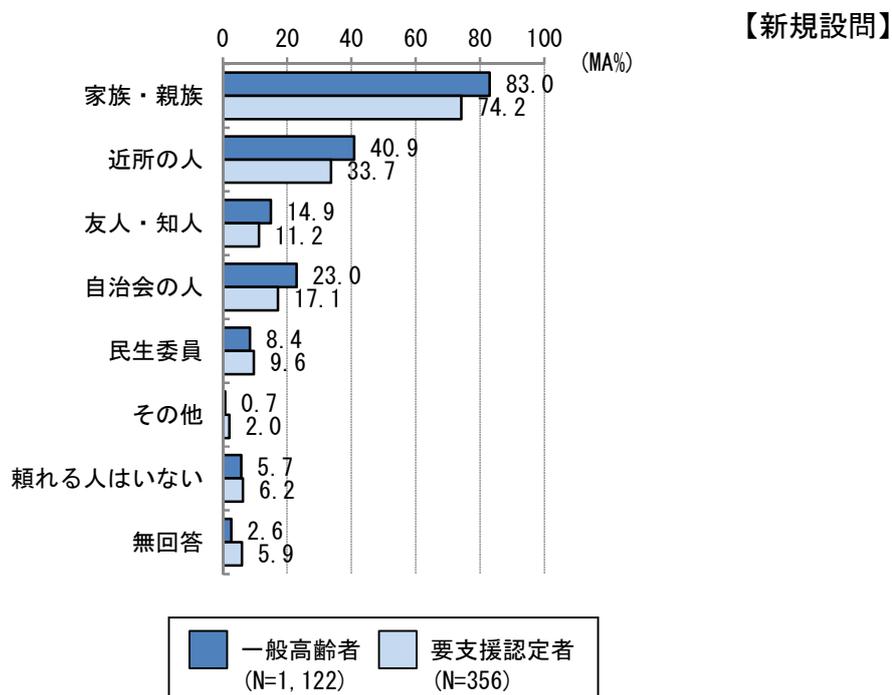
【新規設問】



地震や風水害などの災害時に不安に思うことは、一般高齢者では「安全な場所まで避難できるかわからない」が38.1%と最も多く、次いで、「災害に対する備えができていない」（33.7%）、「災害に関する情報（避難指示や勧告など）が入手できるかわからない」（30.1%）となっています。要支援認定者では「健康面・身体面に不安がある（治療中の病気・持病、服薬など）」が55.6%と最も多く、次いで、「安全な場所まで避難できるかわからない」（51.4%）となっています。

(2) 避難時に身近に頼れる人の有無

問 59 災害等で避難が必要な際、身近に頼れる人はいますか (〇はいくつでも)

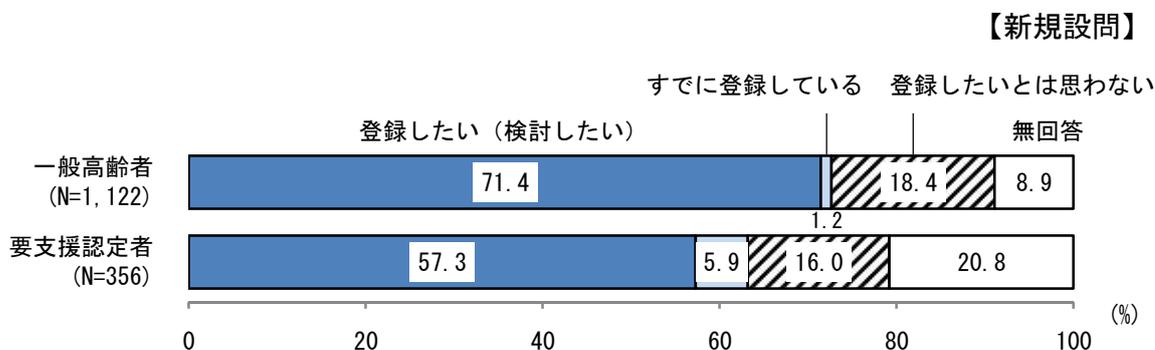


災害等で避難が必要な際、身近に頼れる人は、一般高齢者、要支援認定者ともに「家族・親族」(一般高齢者 83.0%、要支援認定者 74.2%) が最も多く、次いで、「近所の人」(一般高齢者 40.9%、要支援認定者 33.7%) となっています。

(3) 災害時要援護者への登録希望

問 60 市では、災害時の支援体制づくりとして、支援が必要な方(災害時要援護者)を対象に市への登録申請を受け付けています*。将来的に、ご自身が支援が必要な状態になった場合、要援護者として登録したいと思いますか (〇は1つ)

* 災害時に支援が必要な方(災害時要援護者)が、自身の情報を事前に市に登録し、市がその情報を地域の関係者(自治会長・民生委員・避難支援者)に提供することで、災害時の支援体制づくりに備えています。



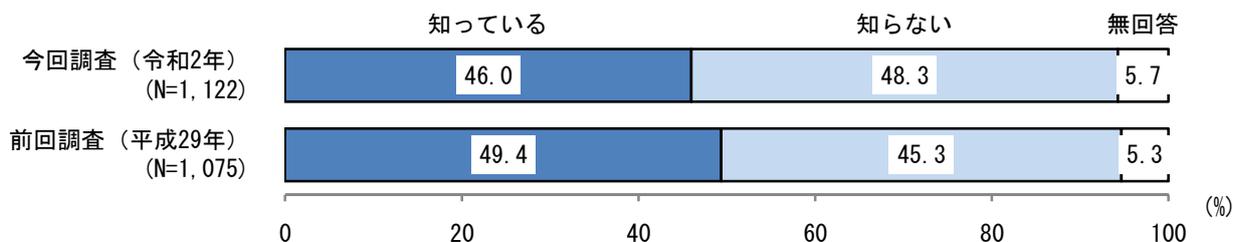
災害時要援護者に「登録したい (検討したい)」人は、一般高齢者で 71.4%、要支援認定者で 57.3% となっています。「すでに登録している」人は要支援認定者で 5.9% ほどみられます。

12 市の施策等について

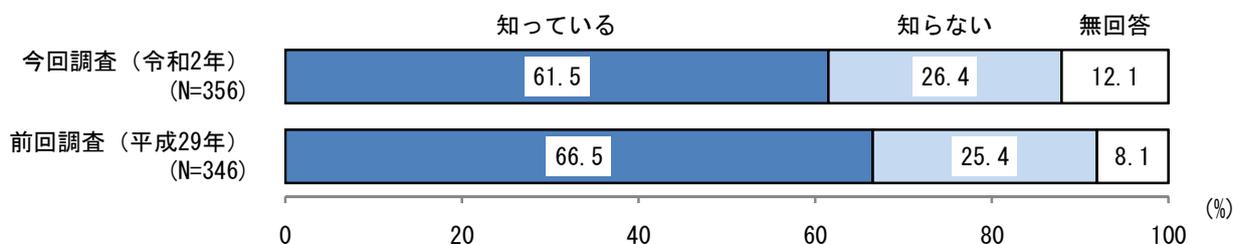
(1) 地域包括支援センターの認知状況

問 61 地域包括支援センター（健康福祉センター内にある、高齢者の介護予防のお手伝い、各種相談への対応や権利擁護に関する窓口）を知っていますか（○は1つ）

【一般高齢者】



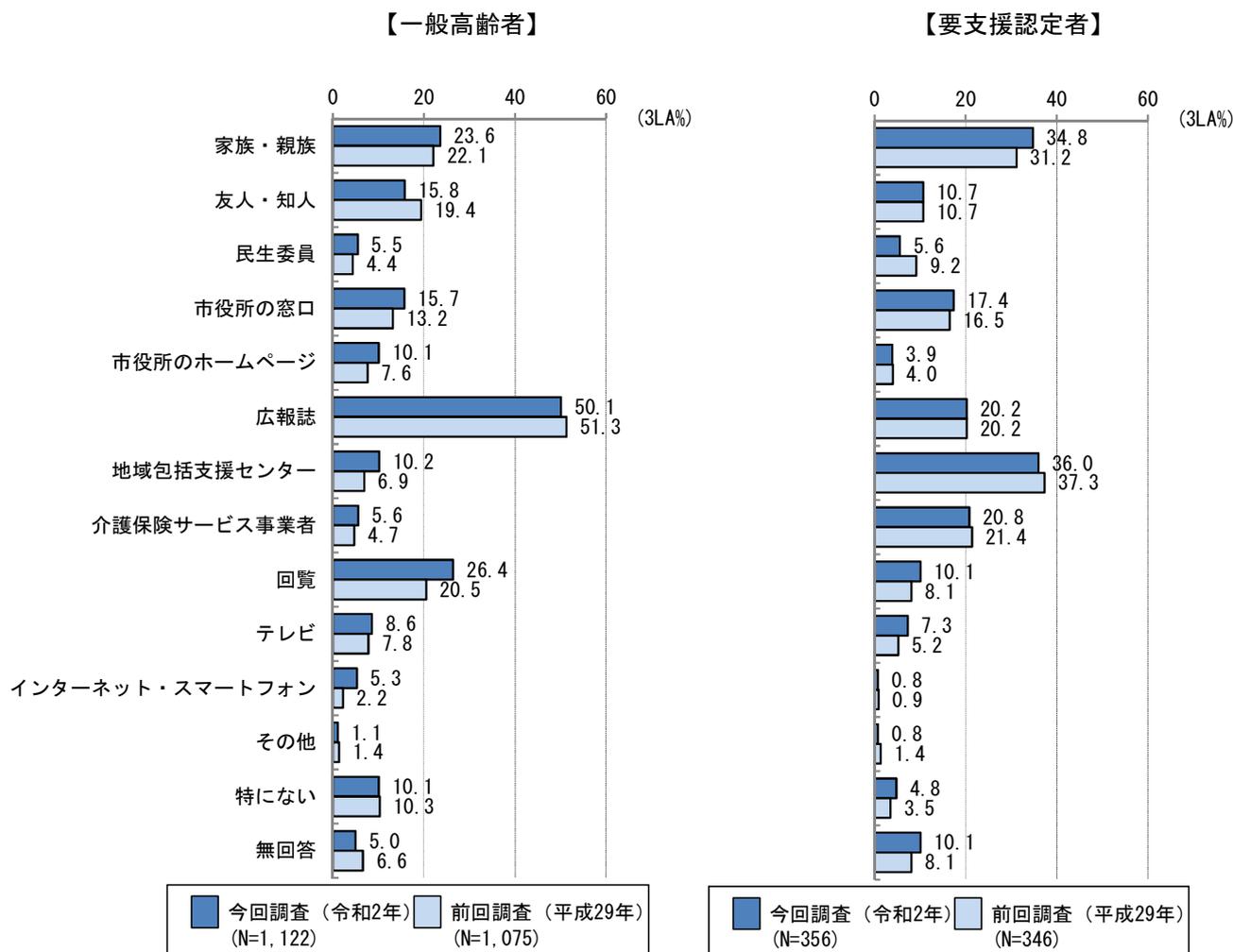
【要支援認定者】



地域包括支援センターを「知っている」人は、一般高齢者で46.0%、要支援認定者で61.5%となっています。

(2) 保健・福祉・介護保険サービスの情報源

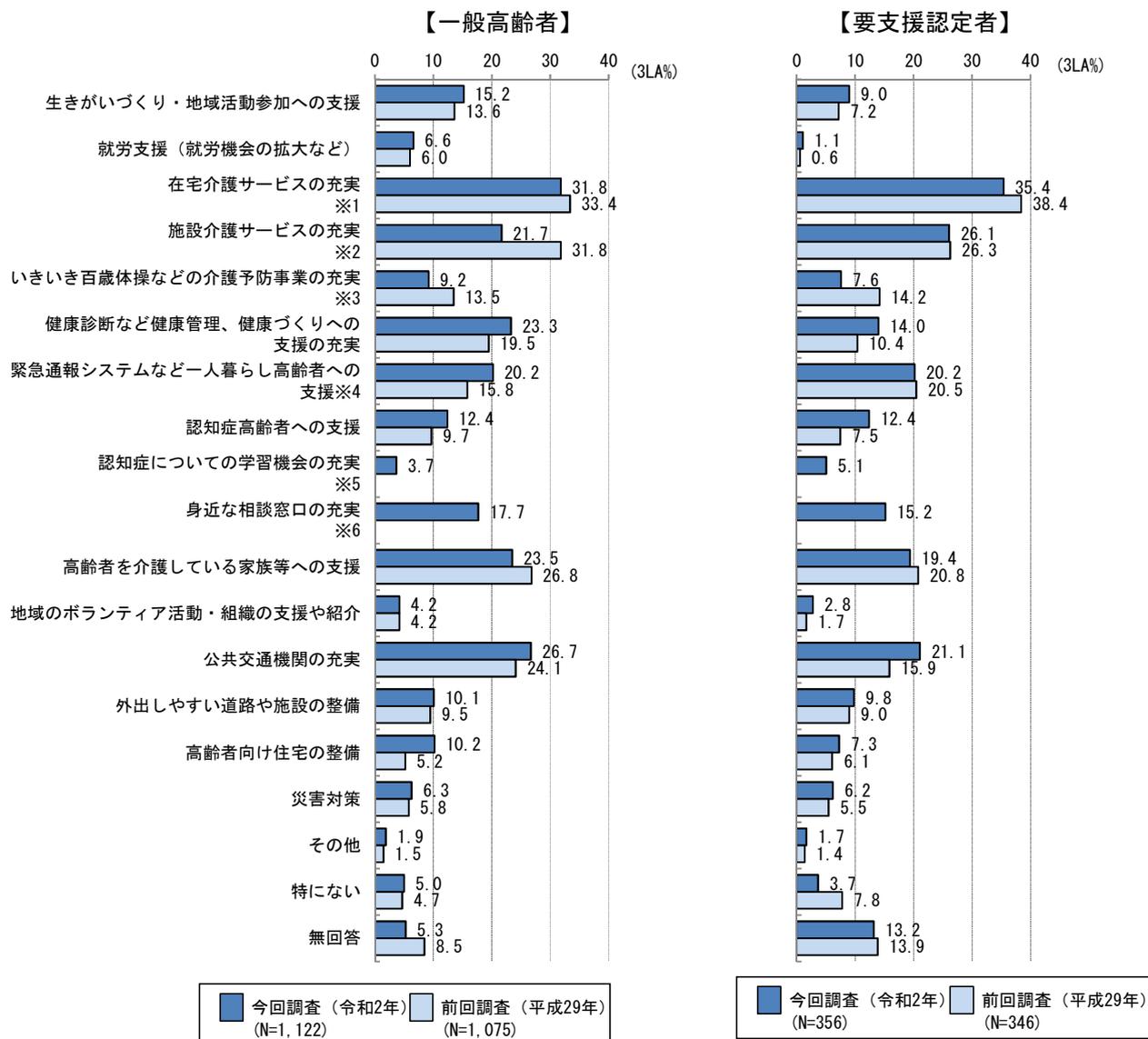
問 62 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報は、主にどこから得ていますか。
(〇は3つまで)



市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報源は、一般高齢者では「広報誌」が50.1%と最も多く、次いで、「回覧」(26.4%)、「家族・親族」(23.6%)となっています。要支援認定者は「地域包括支援センター」が36.0%と最も多く、次いで、「家族・親族」(34.8%)、「介護保険サービス事業者」(20.8%)、「広報誌」(20.2%)となっています。

(3) 充実させてほしい高齢者施策

問 63 市が取り組むべき高齢者の施策として、今後、特に充実させてほしいことは何ですか。
(○は3つまで)



- ※1 前回調査では、「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」
- ※2 前回調査では、「特別養護老人ホームや老人保健施設の整備」
- ※3 前回調査では、「運動機能の向上などを目的とした介護予防事業の充実」
- ※4 前回調査では、「声かけや見守りなど、一人暮らし高齢者への支援」
- ※5、6 前回調査では、選択肢なし

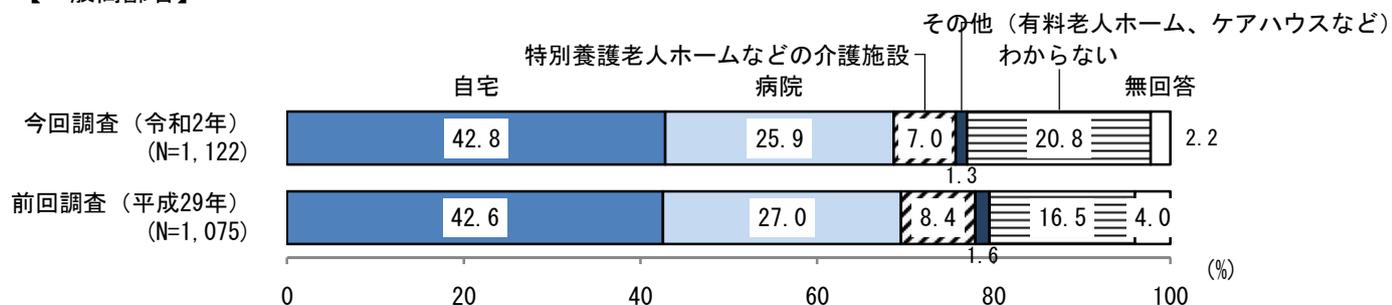
今後、特に充実させてほしい高齢者施策は、一般高齢者では「在宅介護サービスの充実」が31.8%と最も多く、次いで、「公共交通機関の充実」(26.7%)、「高齢者を介護している家族等への支援」(23.5%)、「健康診断など健康管理、健康づくりへの支援の充実」(23.3%)となっています。要支援認定者でも「在宅介護サービスの充実」が35.4%と最も多く、次いで、「施設介護サービスの充実」(26.1%)、「公共交通機関の充実」(21.1%)、「緊急通報システムなど一人暮らし高齢者への支援」(20.2%)となっています。

13 在宅医療・終末期医療について

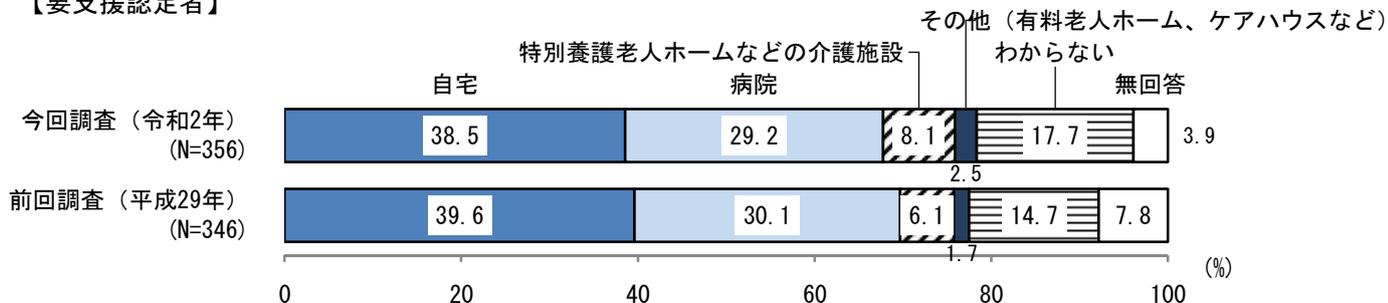
(1) 最期を迎えたい場所

問 64 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。
(○は1つ)

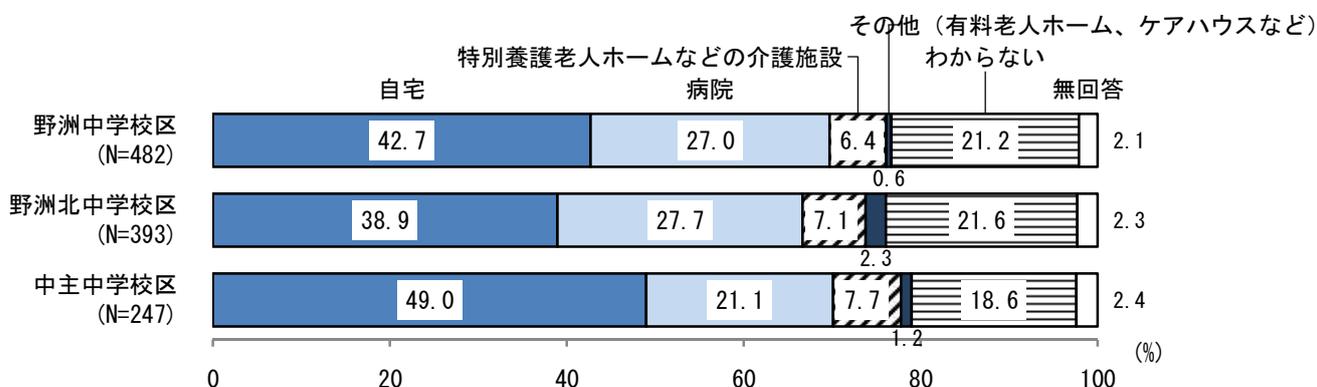
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



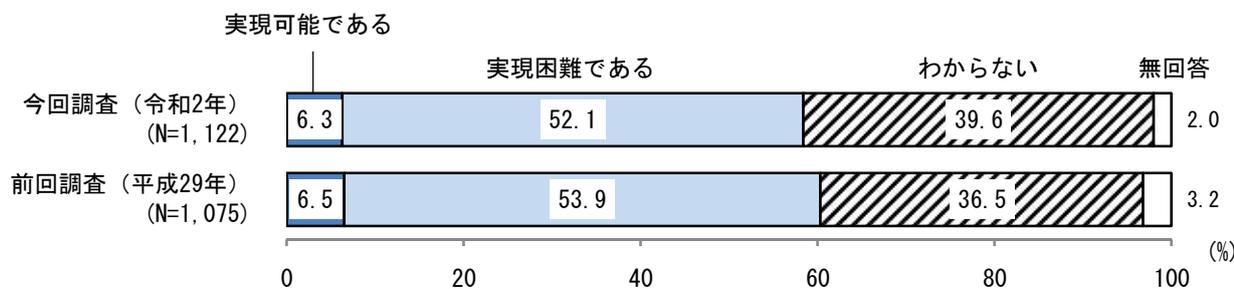
治る見込みがない病気になった場合に最期を迎えたい場所は、一般高齢者では「自宅」が42.8%と最も多く、次いで、「病院」(25.9%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設」(7.0%)となっています。要支援認定者でも「自宅」が38.5%と最も多く、次いで、「病院」(29.2%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設」(8.1%)で、一般高齢者と要支援認定者で大きな差はみられません。

中学校区別にみると、中主中学校区で「自宅」が49.0%と、他の地区に比べて多くなっています。

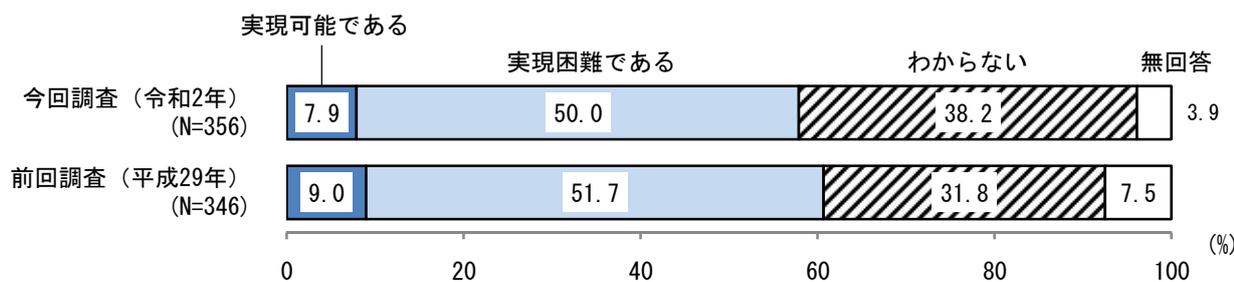
(2) 在宅療養の可否

問 65 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、自宅で最期まで療養できると思いますか。(○は1つ)

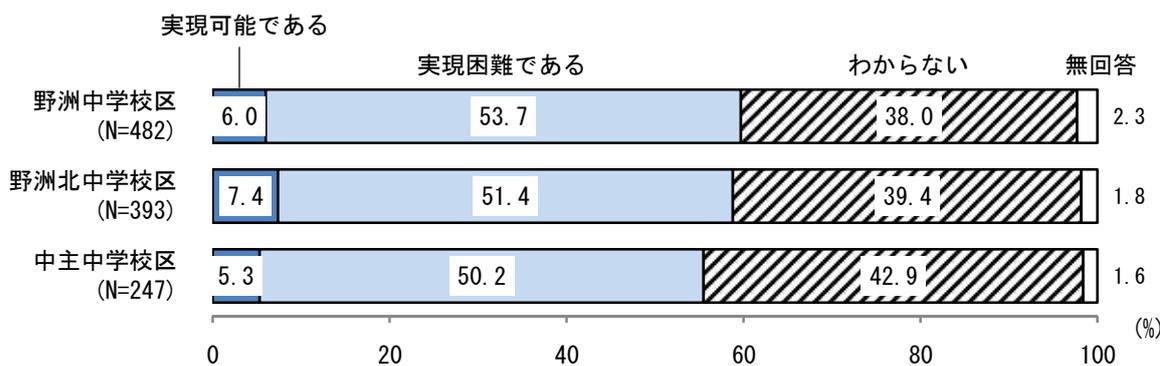
【一般高齢者】



【要支援認定者】



【中学校区別】



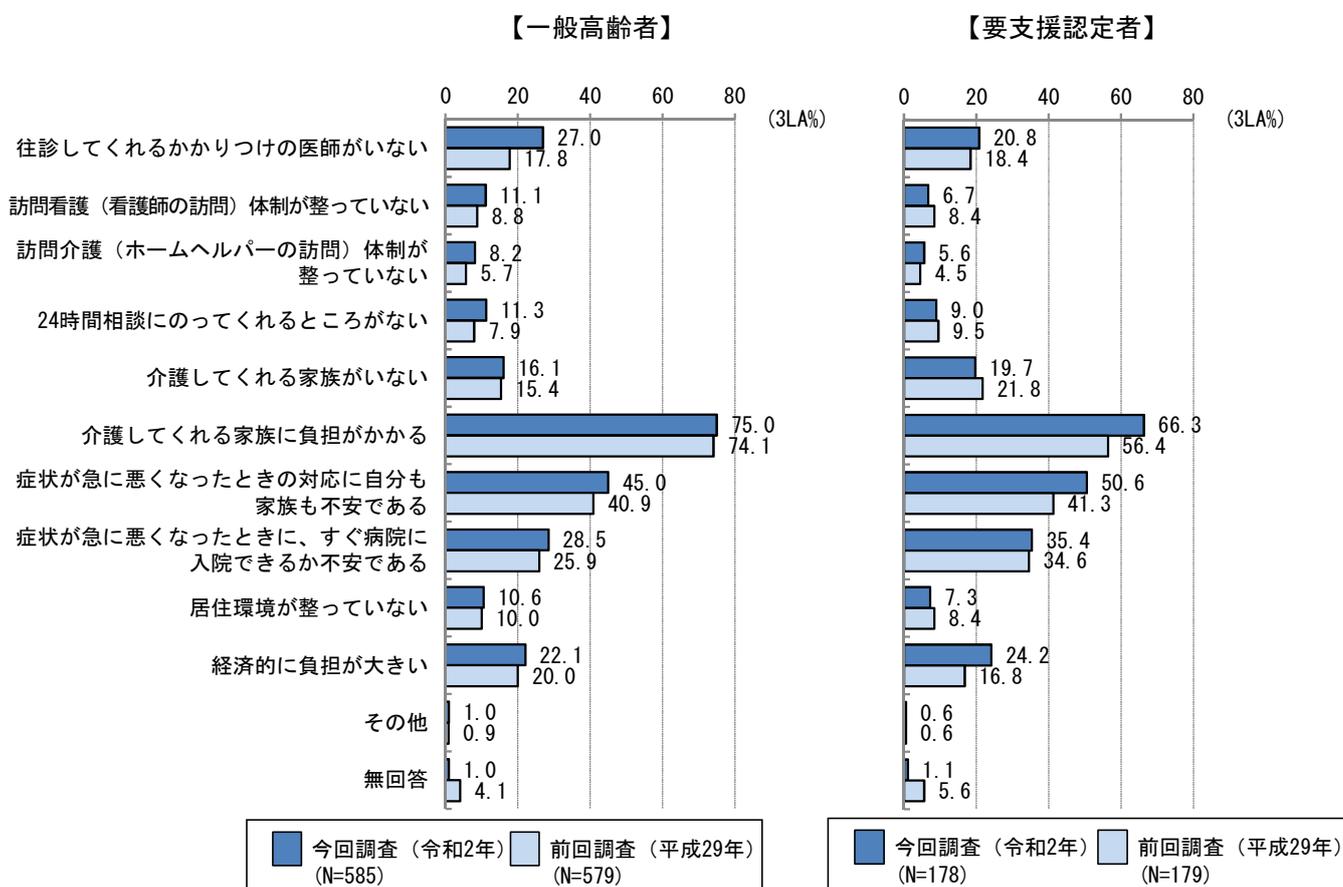
治る見込みがない病気になった場合の自宅療養の可否について、「実現可能である」と回答の人は、一般高齢者で6.3%、要支援認定者で7.9%となっています。

中学校区別にみると、「実現可能である」は野洲北中学校区でやや多くなっていますが、大きな差はみられません。

(3) 自宅療養が実現困難な理由

【問 65 で「1. 実現困難である」と回答した方のみ】

問 65① 自宅療養が実現困難と回答したのはどのような理由ですか。(〇は3つまで)



自宅療養が「実現困難である」理由については、一般高齢者、要支援認定者ともに、「介護してくれる家族に負担がかかる」(一般高齢者 75.0%、要支援認定者 66.3%) が最も多く、次いで、「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」(一般高齢者 45.0%、要支援認定者 50.6%)、「症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である」(一般高齢者 28.5%、要支援認定者 35.4%) となっています。

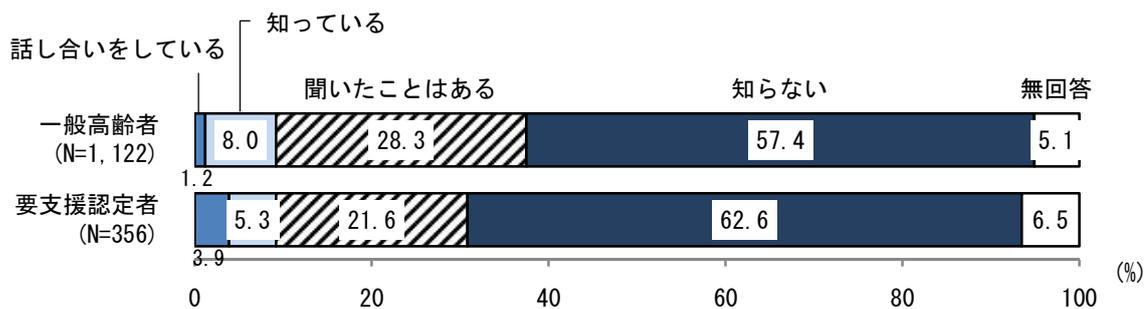
前回調査に比べて、一般高齢者では、「往診してくれるかかりつけの医師がない」で9.2ポイント増加し、要支援認定者では、「介護してくれる家族に負担がかかる」で9.9ポイント、「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」で9.3ポイント、「経済的に負担が大きい」で7.4ポイント増加しています。

(4) アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の認知状況

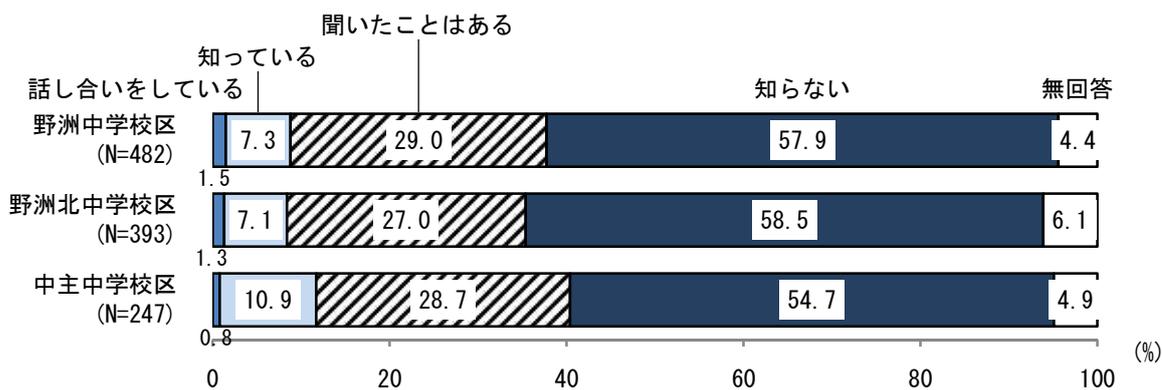
問 66 アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を知っていますか。(〇は1つ)

【新規設問】

* アドバンス・ケア・プランニングとは、人生の最終段階の医療や療養について、自分の意思に沿った医療・療養を受けるために、自分や家族等と、医療関係者があらかじめ話し合うこと



【中学校区別】



アドバンス・ケア・プランニング (ACP) について認知している人 (「話し合いをしている」、「知っている」、「聞いたことはある」の合計) は、一般高齢者で 37.5%、要支援認定者で 30.8% となっています。実際に「話し合いをしている」人は、一般高齢者で 1.2%、要支援認定者で 3.9% となっています。

中学校区別にみると、認知している人は中主中学校区で 40.4% と、他の地区より多くなっています。

14 自由意見

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、延べ 386 件の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。

項 目	件数
高齢者の将来についての不安	42 件
アンケート全般について	38 件
公共交通機関、移動の足の確保について	38 件
福祉全般	28 件
施設サービス	27 件
在宅医療・終末期医療について	24 件
介護保険制度について	21 件
介護予防・健康づくり	21 件
医療・医療費・入院	20 件
情報提供・相談	18 件
家族介護全般	14 件
生活環境	13 件
地域活動・ボランティア	9 件
経済的支援	6 件
生きがい・楽しみ	6 件
自立・自助	4 件
災害時の対応	4 件
現在の健康状態など	4 件
高齢者の住宅の確保	2 件
その他	47 件
合 計	386 件

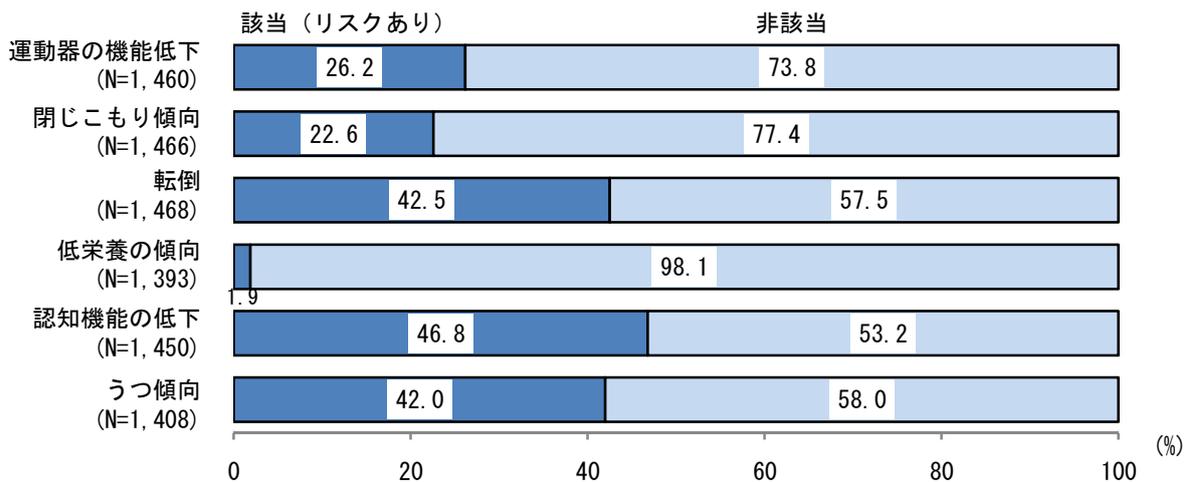
2 生活機能評価等に関する分析

本調査は、地域における高齢者の課題や必要な支援・サービス等をよりの確に把握するため、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れており、介護予防事業の「基本チェックリスト」や「手段的自立度（IADL）」などの指標の判定に関する調査項目が設定されています。

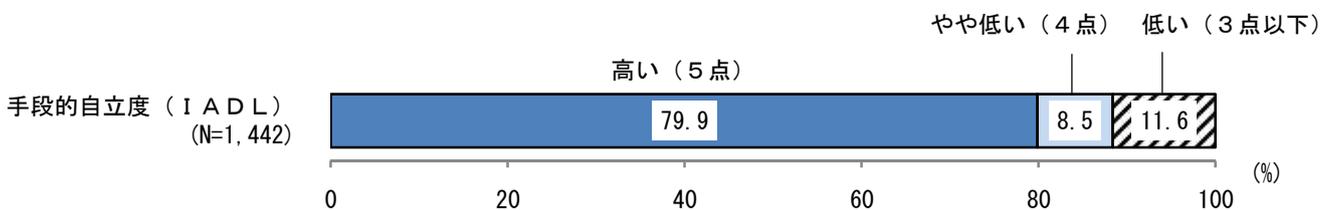
本報告書の『生活機能評価等に関する分析』では、これらの調査項目を使用し、各指標の判定（リスク評価等）を行っています。

一般高齢者、要支援認定者を合わせた全体のリスク評価等については、以下のような結果となっています。機能別のリスク該当者の割合では、『転倒』、『認知機能の低下』、『うつ傾向』でリスク該当者が4割以上みられ、『低栄養の傾向』では該当者は2%未満と少なくなっています。老研式活動能力指標による『手段的自立度（IADL）』の評価では、低下者（「やや低い」「低い」の計）に該当する人は2割となっています。

【機能別リスク該当者】



【手段的自立度（IADL）】



1 生活機能評価

(1) 運動器の機能低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を『運動器の機能低下』のリスク該当者と判定しました。

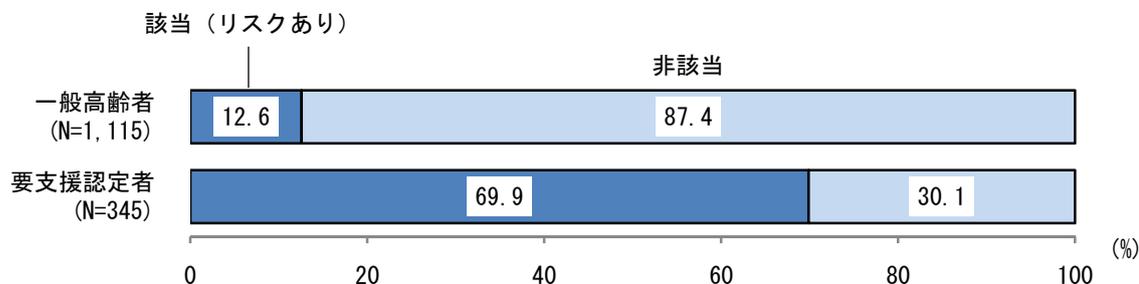
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問5	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問6	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問9	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】 ※無回答により判定・評価困難な場合は、調査数（n数）から除外して集計している。（以下、同様）

国の手引きに基づく『運動器の機能低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で1割強（12.6%）、要支援認定者で7割（69.9%）となっています。

一般高齢者の該当者（リスクあり）は、前回調査（11.1%）に比べてほぼ同様の結果となっています。

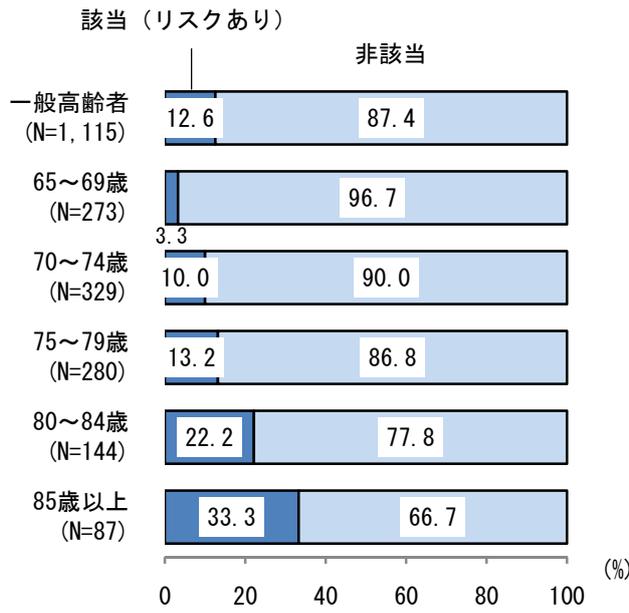


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者では年齢が上がるにつれて該当者（リスクあり）の割合が増えていき、80～84歳で2割（22.2%）、85歳以上で3割（33.3%）となっています。要支援認定者ではどの年齢層も該当者（リスクあり）が6割を超えています。

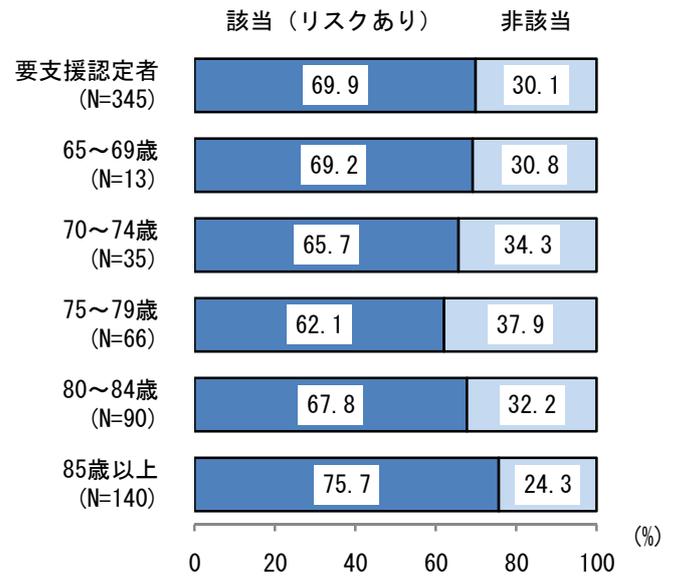
要支援認定者を除いた一般高齢者を性・年齢別にみると、男女とも年齢が上がるにつれて該当者（リスクあり）の割合は増えていきますが、どの年齢層も女性の方が多く、女性85歳以上では約4割（37.8%）となっています。

一般高齢者を中学校区別にみると、該当者（リスクあり）は中主中学校区で15.6%と最も多くなっています。

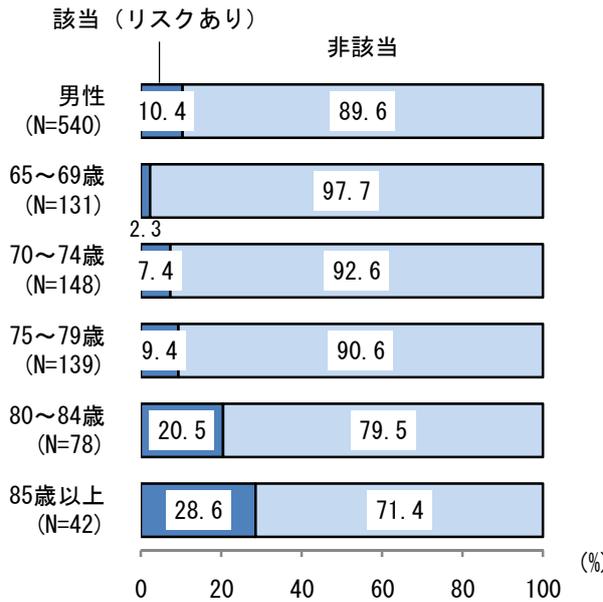
【一般高齢者・年齢別】



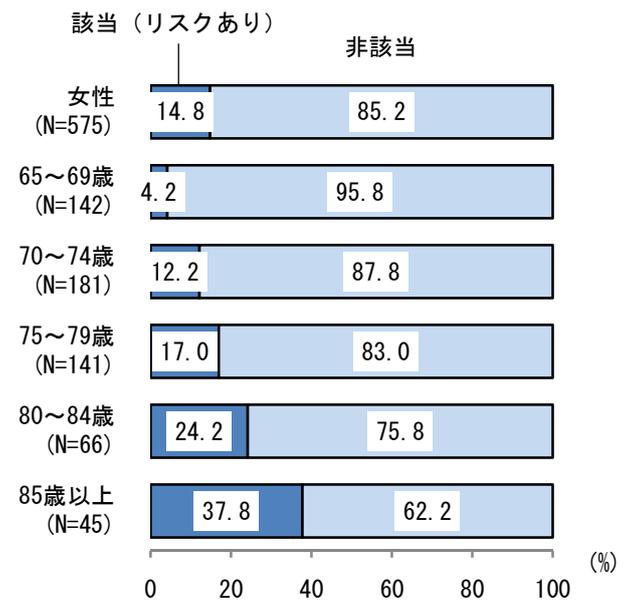
【要支援認定者・年齢別】



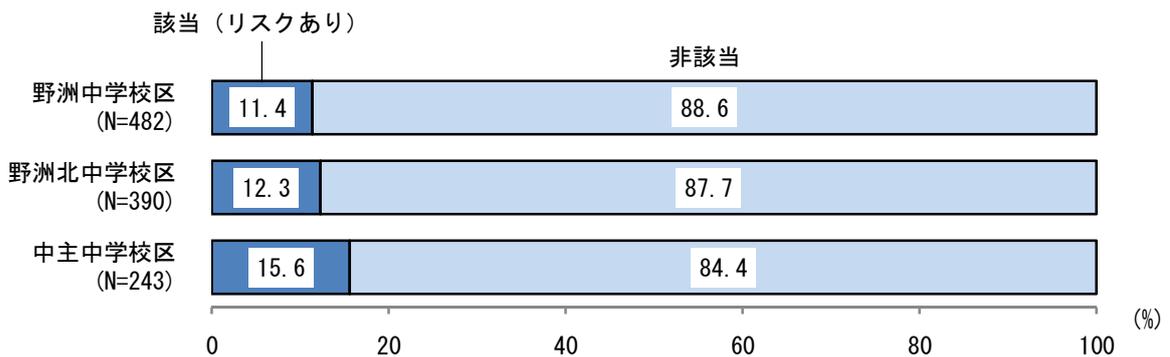
【男性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【女性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【中学校区別】 ※要支援認定者を除く



(2) 閉じこもり傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『閉じこもり傾向』のリスク該当者と判定しました。

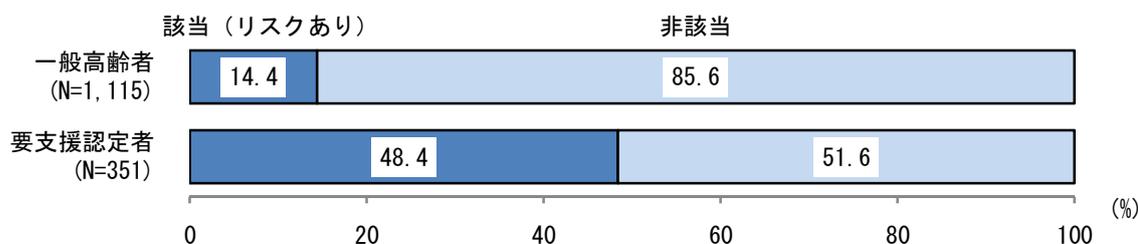
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく『閉じこもり傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で1割強（14.4%）、要支援認定者で約5割（48.4%）となっています。

一般高齢者の該当者（リスクあり）は、前回調査（15.9%）に比べてほぼ同様の結果となっています。

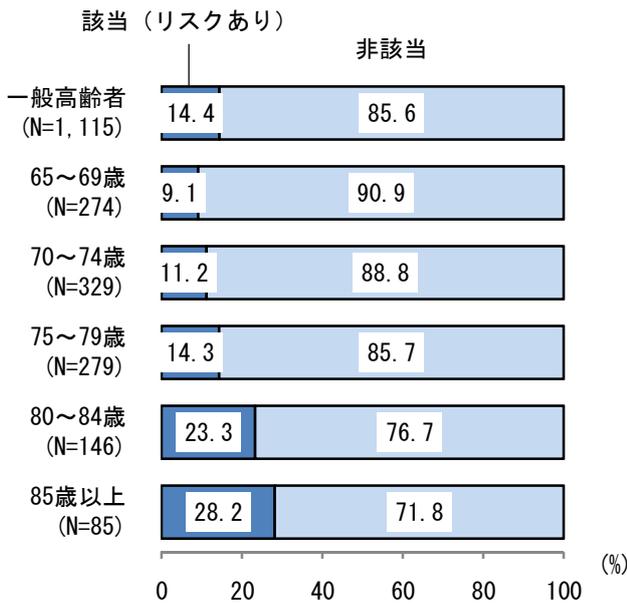


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者、要支援認定者ともに年齢が上がるにつれて該当者（リスクあり）の割合が増えていますが、その割合はどの年齢層も要支援認定者で多く、80～84歳で5割（48.4%）、85歳以上で6割（59.4%）となっています。

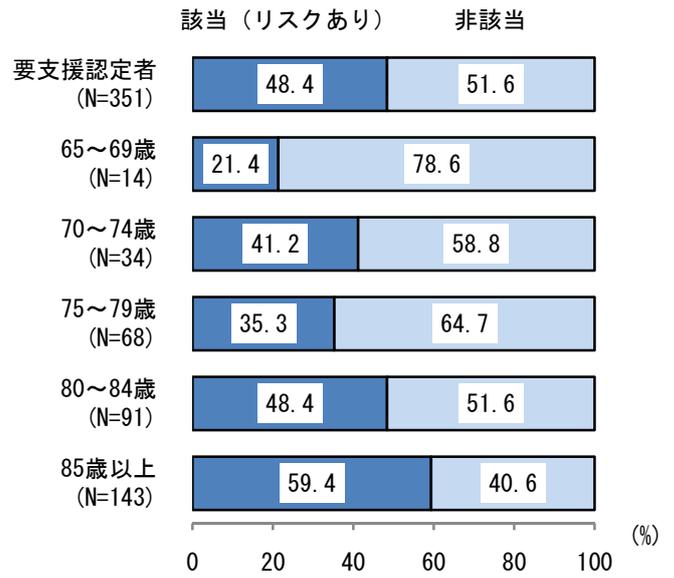
要支援認定者を除いた一般高齢者を性・年齢別にみると、男女とも年齢が上がるにつれて該当者（リスクあり）の割合は増えていきますが、とくに女性80～84歳で26.5%、85歳以上で36.4%と多くなっています。

一般高齢者を中学校区別にみると、該当者（リスクあり）は野洲北中学校区で16.7%と最も多くなっています。

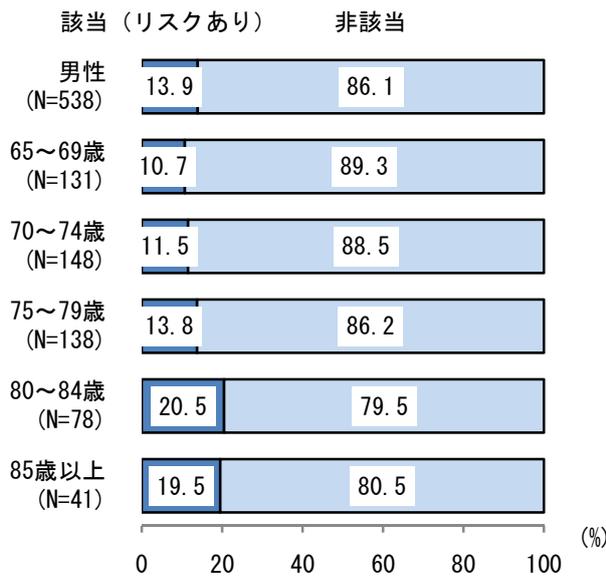
【一般高齢者・年齢別】



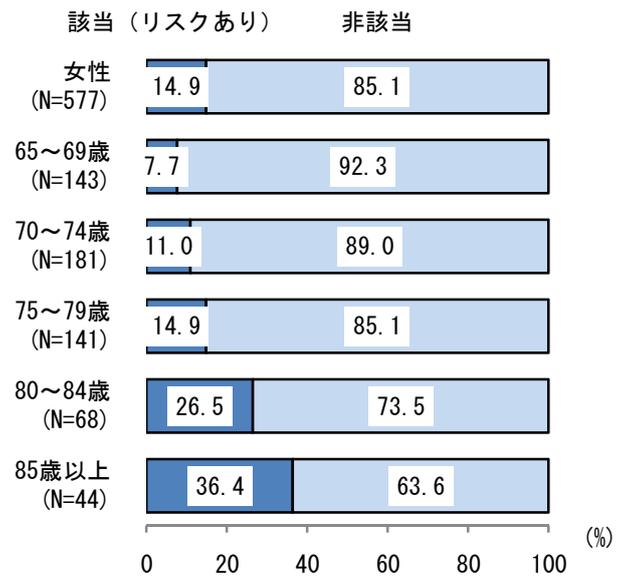
【要支援認定者・年齢別】



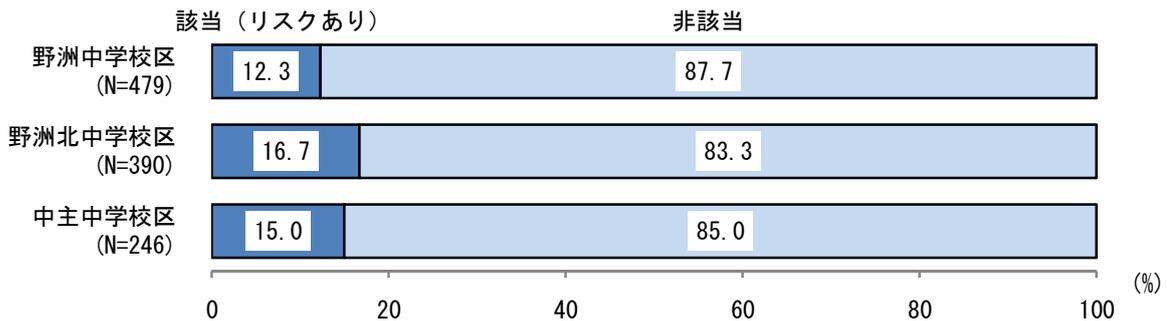
【男性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【女性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【圏域別】 ※要支援認定者を除く



(3) 転倒

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『転倒』のリスク該当者と判定しました。

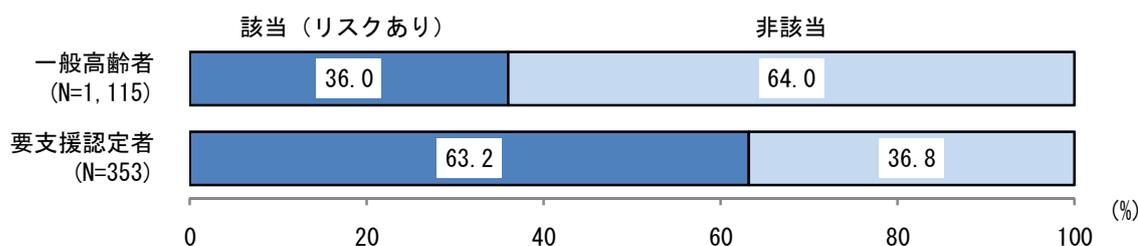
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく『転倒』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で3割台（36.0%）、要支援認定者で6割台（63.2%）となっています。

一般高齢者の該当者（リスクあり）は、前回調査（29.4%）に比べて6.6ポイントの増加となっています。

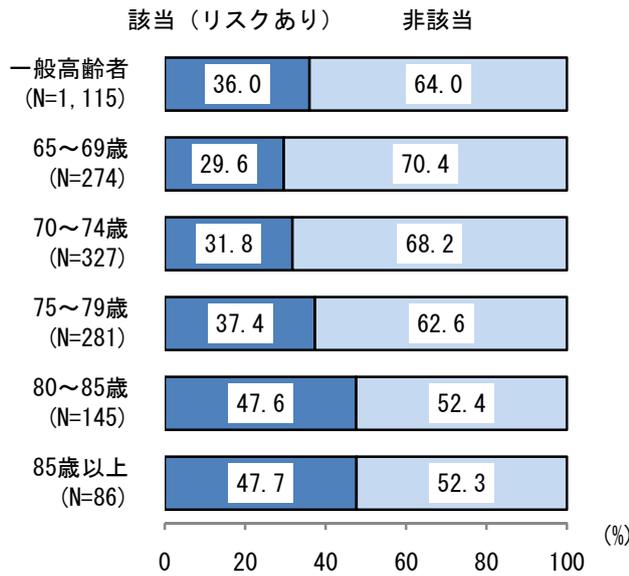


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者、要支援認定者ともに、年齢が上がるにつれて該当者（リスクあり）の割合が増えていく傾向にありますが、要支援認定者では70～74歳が65.7%と多くなっています。

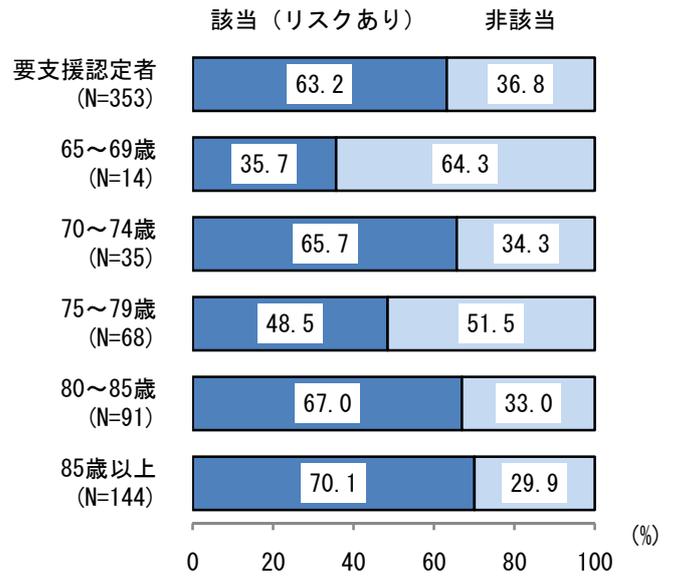
要支援認定者を除いた一般高齢者を性・年齢別にみると、男女とも年齢が上がるにつれて該当者（リスクあり）の割合は増えていく傾向にあり、79歳以下では女性の方が多く、80歳以上では男性の方が多くなっています。

一般高齢者を中学校区別にみると、該当者（リスクあり）は中主中学校区で40.8%と最も多くなっています。

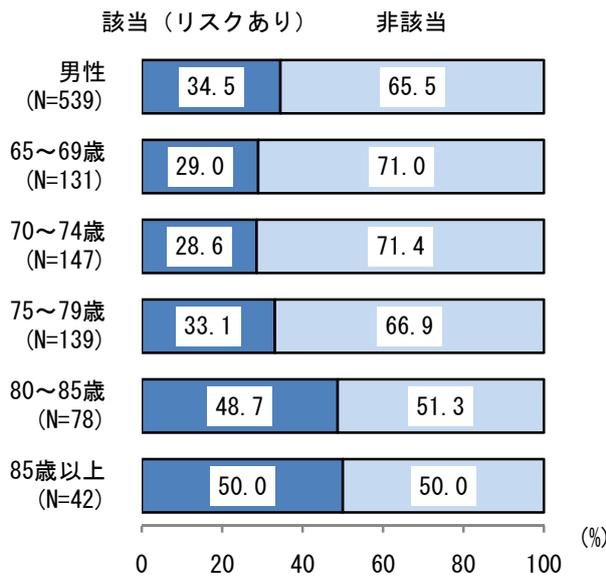
【一般高齢者・年齢別】



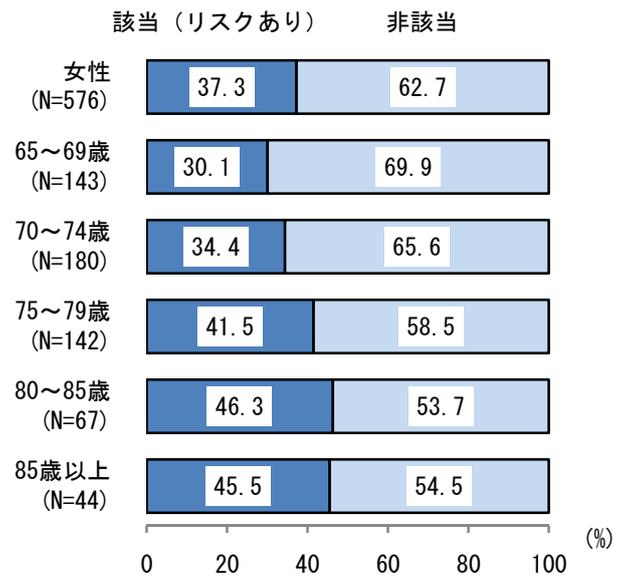
【要支援認定者・年齢別】



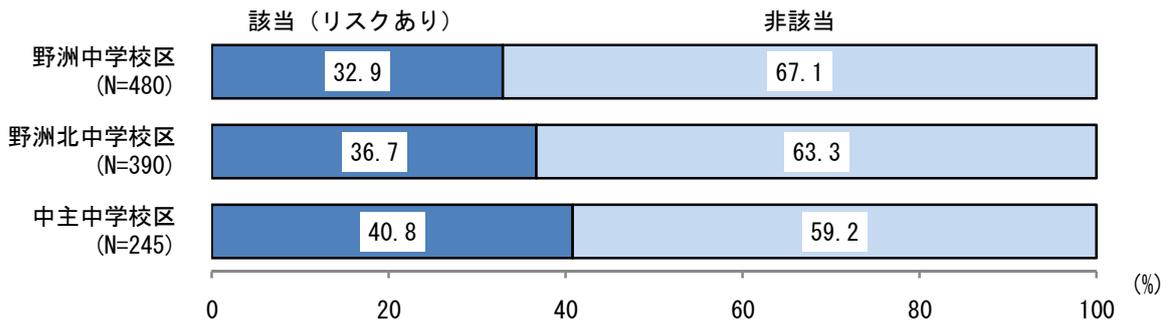
【男性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【女性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【圏域別】 ※要支援認定者を除く



(4) 低栄養の傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目ともに該当する人を『低栄養の傾向』のリスク該当者と判定しました。

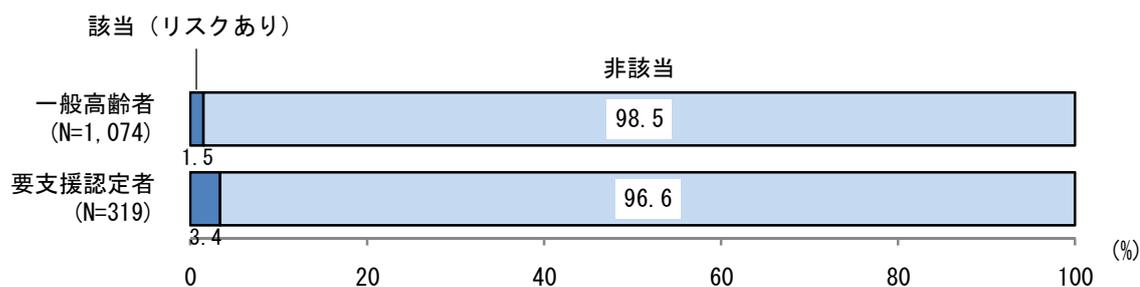
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 14	身長・体重を記入ください	BMI 18.5 未満
問 20	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく『低栄養の傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で1.5%、要支援認定者でも3.4%となっています。

一般高齢者の該当者（リスクあり）は、前回調査（1.0%）に比べてほぼ同様の結果となっています。

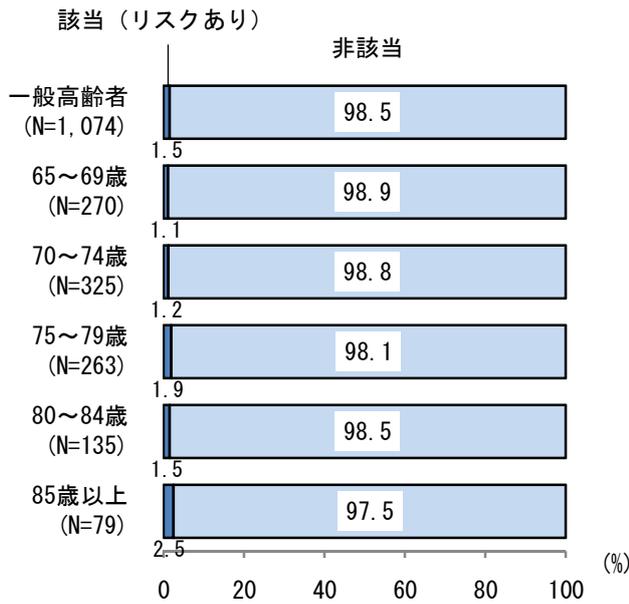


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者、要支援認定者ともにすべての年齢層で該当者（リスクあり）は1割未満となっていますが、要支援認定者70～74歳では8.8%とやや多くなっています。

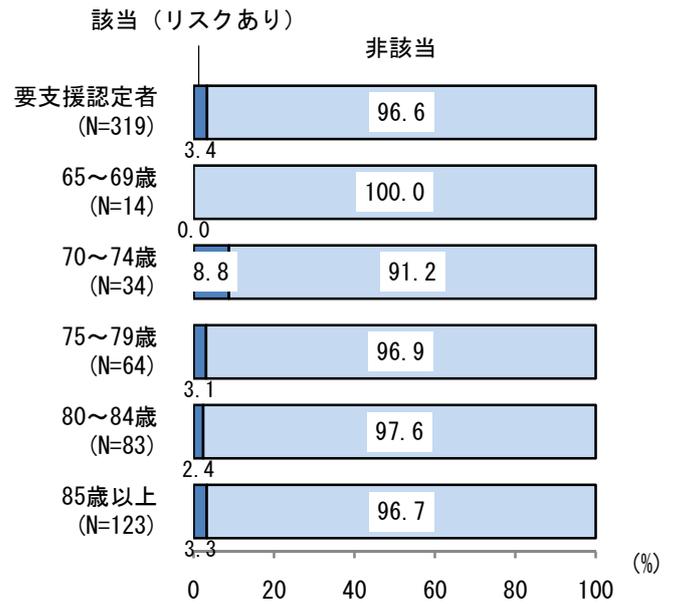
要支援認定者を除いた一般高齢者を性・年齢別にみると、すべての層で該当者（リスクあり）は3%未満となっています。

一般高齢者を中学校区別にみると、該当者（リスクあり）は野洲中学校区で1.9%と多くなっていますが、いずれの校区も2%未満となっています。

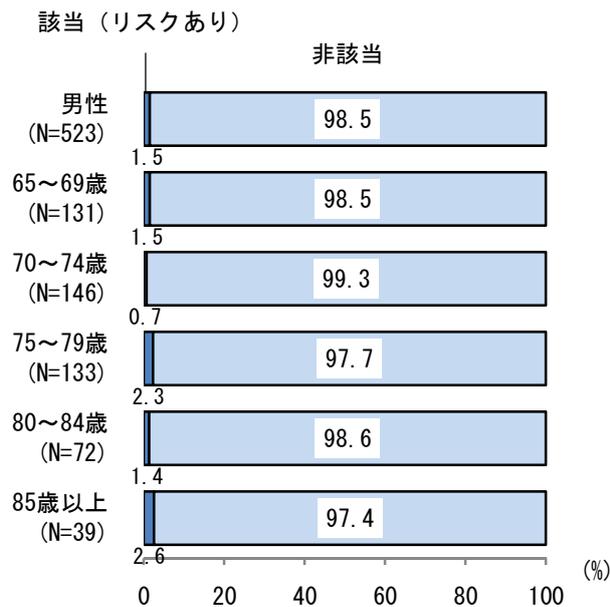
【一般高齢者・年齢別】



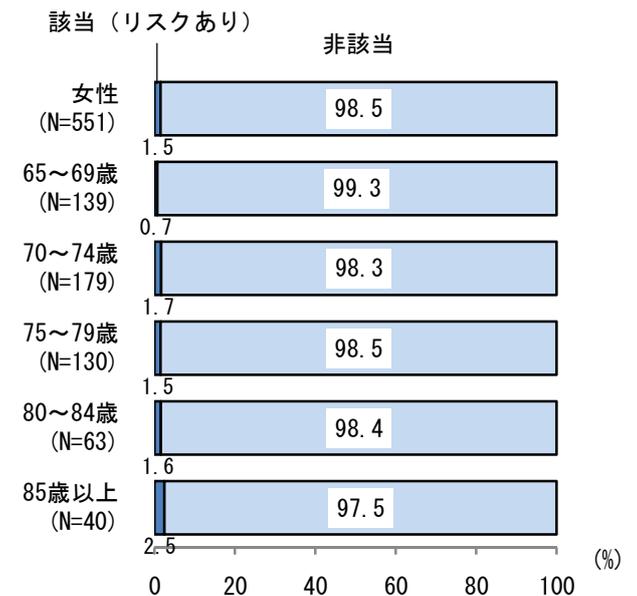
【要支援認定者・年齢別】



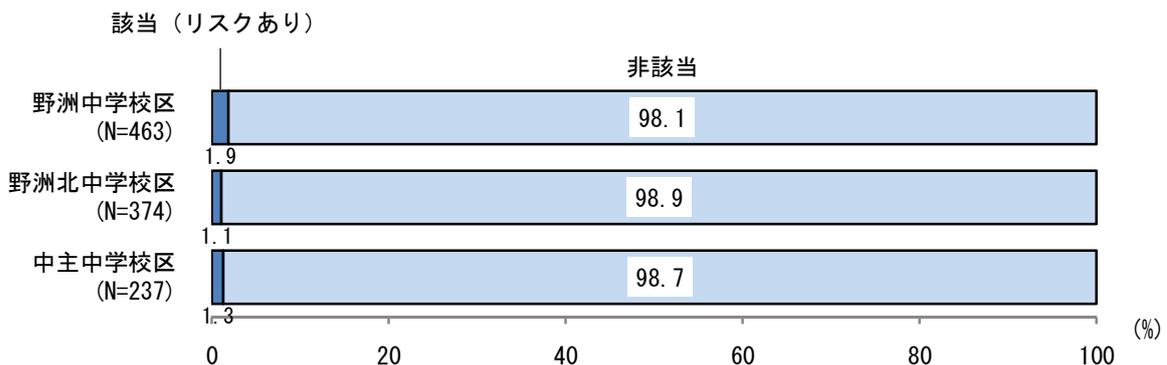
【男性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【女性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【圏域別】 ※要支援認定者を除く



(5) 認知機能の低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『認知機能の低下』のリスク該当者と判定しました。

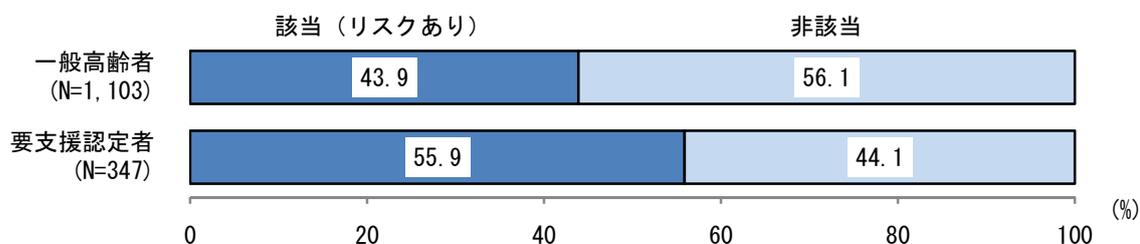
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 22	物忘れが多いと感じますか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく『認知機能の低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で4割強（43.9%）、要支援認定者で5割強（55.9%）となっています。

一般高齢者の該当者（リスクあり）は、前回調査（42.2%）に比べてほぼ同様の結果となっています。

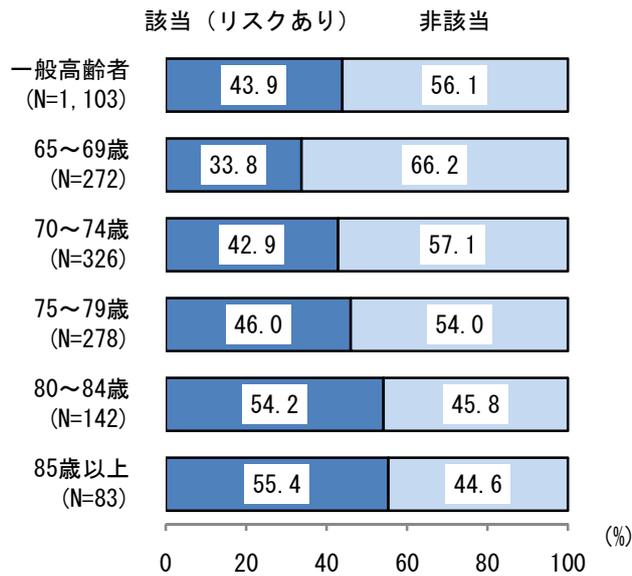


認定状況別・年齢別にみると、一般高齢者、要支援認定者で大きな差はなく、ともに年齢が上がるにつれて該当者（リスクあり）の割合は増えていきます。いずれも80～84歳で5割を超え、85歳以上で6割前後となっています。

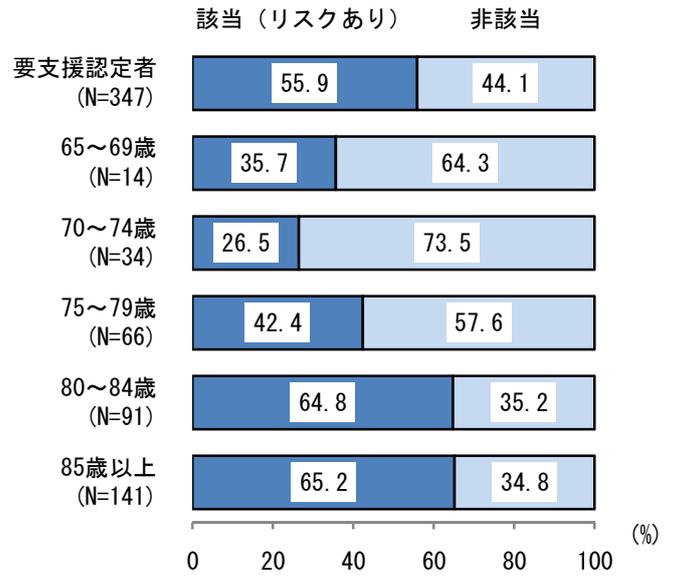
要支援認定者を除いた一般高齢者を性・年齢別にみると、男女で大きな差はなく、とも年齢が上がるにつれて該当者（リスクあり）の割合は増えていき、女性85歳以上で6割（60.5%）と最も多くなっています。

一般高齢者を中学校区別にみると、該当者（リスクあり）は中主中学校区で50.0%と最も多くなっています。

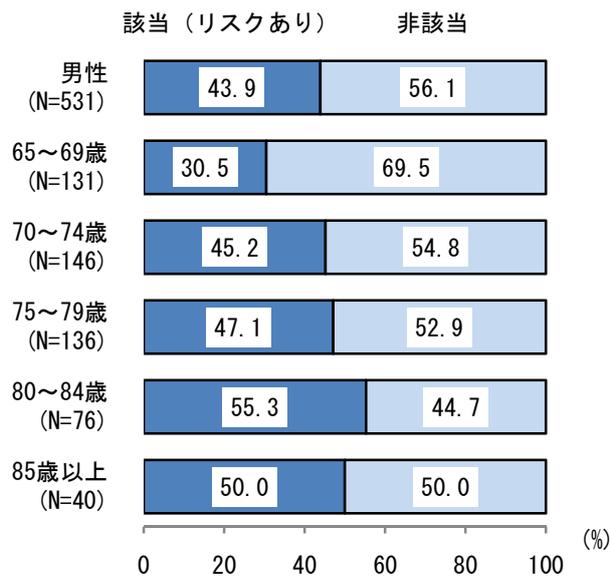
【一般高齢者・年齢別】



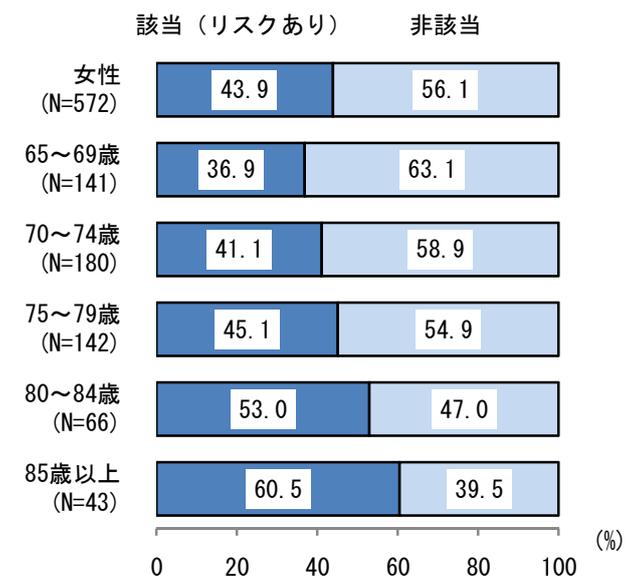
【要支援認定者・年齢別】



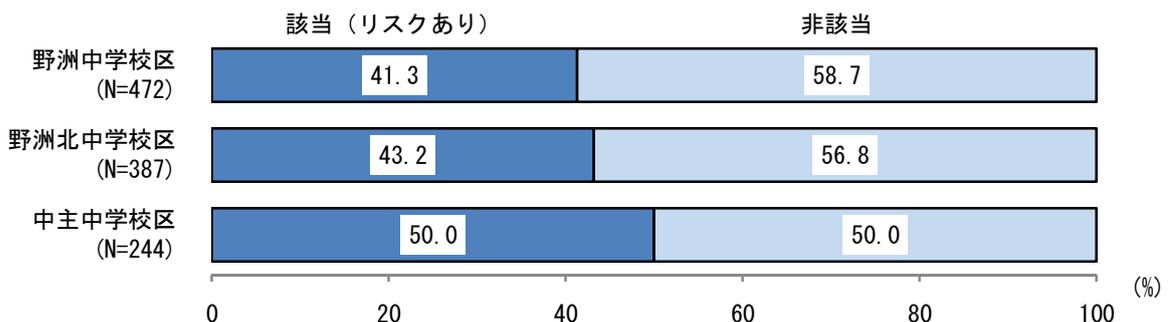
【男性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【女性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【圏域別】 ※要支援認定者を除く



(6) うつ傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人を『うつ傾向』のリスク該当者と判定しました。

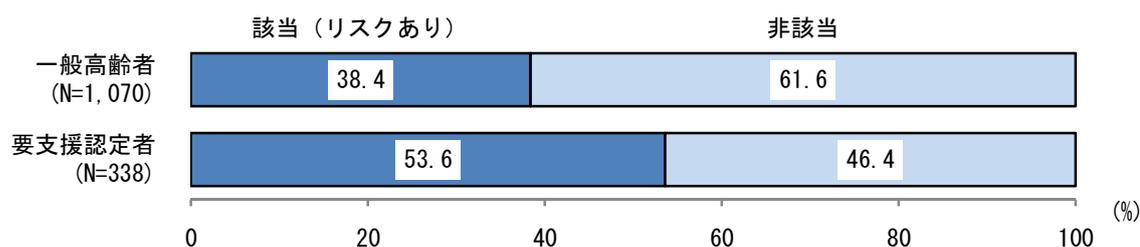
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 49	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問 50	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく『うつ傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で4割弱（38.4%）、要支援認定者で5割強（53.6%）となっています。

一般高齢者の該当者（リスクあり）は、前回調査（36.7%）に比べてほぼ同様の結果となっています。

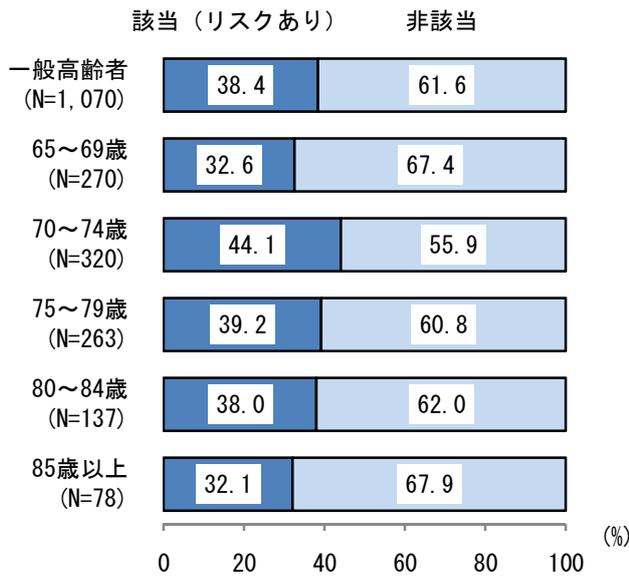


認定状況別・年齢別にみると、該当者（リスクあり）はどの年齢層でも要支援認定者の方がやや多く、75～79歳で60.6%と最も多くなっています。

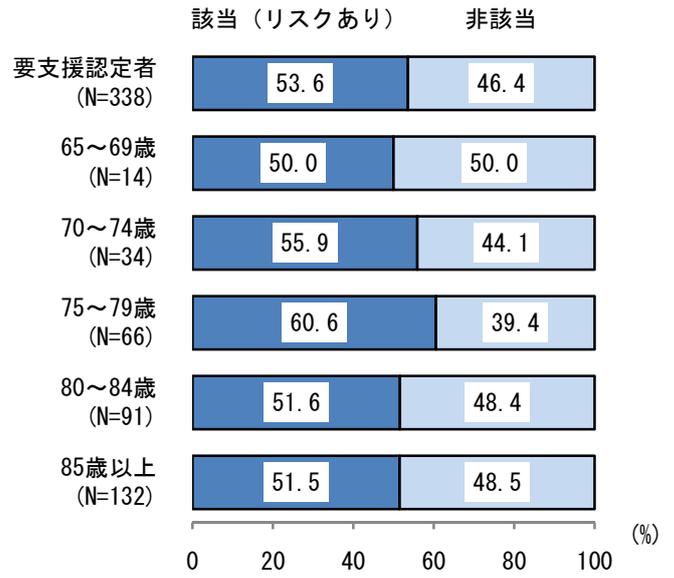
要支援認定者を除いた一般高齢者を性・年齢別にみると、男性は70～74歳で46.2%と最も多く、65～69歳で24.8%と最も少なくなっています。女性はどの年齢層も4割前後となっていますが、85歳以上では29.3%と少なくなっています。

一般高齢者を中学校区別にみると、該当者（リスクあり）は中主中学校区で41.6%と最も多くなっています。

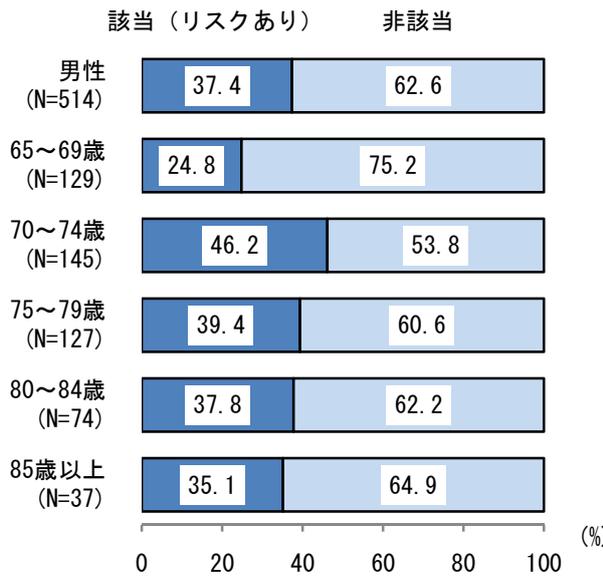
【一般高齢者・年齢別】



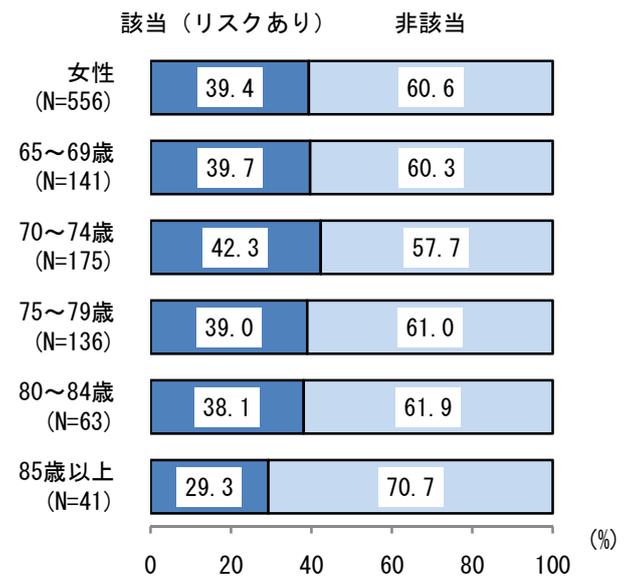
【要支援認定者・年齢別】



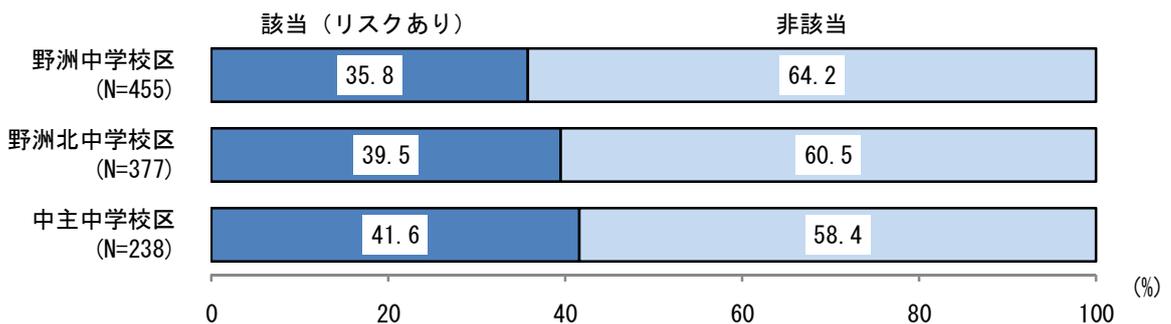
【男性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【女性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【圏域別】 ※要支援認定者を除く



2 日常生活評価

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能进行评估することができる老研式活動能力指標に準じた設問（5項目）に基づき、活動的な日常生活をおくるための能力（手段的自立度：IADL）が低下している人の状況を把握します。

評価は、調査票の以下の設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を“1点”として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」（※4点以下を低下者）と評価しました。

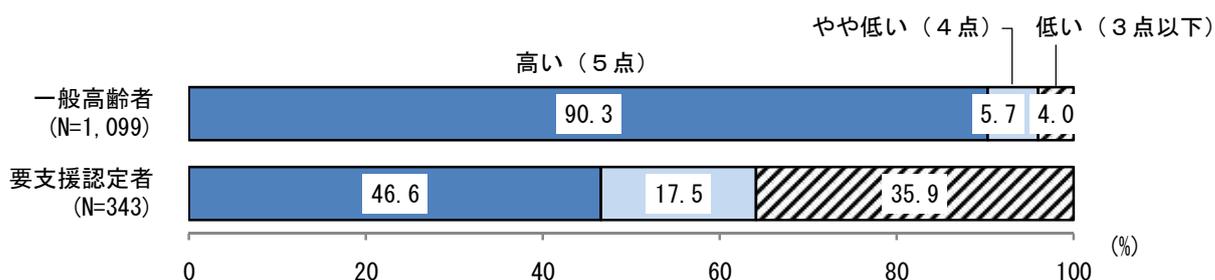
【評価設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 24	バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
問 25	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
問 26	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
問 27	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）
問 28	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している（1点） 2. できるけどしていない（1点）

【該当状況】

老研式活動能力指標に基づく『手段的自立度 (IADL)』の評価結果をみると、低下者（「やや低い」「低い」の計）は一般高齢者で1割（9.7%）、要支援認定者で5割（53.4%）となっています。

一般高齢者の低下者（「やや低い」「低い」の計）は、前回調査（3.0%）に比べて6.7ポイントの増加となっています。

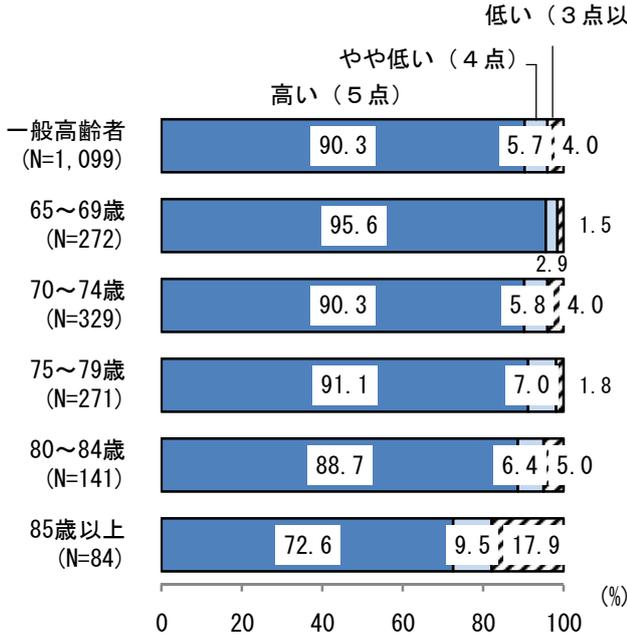


認定状況別・年齢別にみると、低下者はどの年齢層でも要支援認定者の方が多く、84歳以下では4割、85歳以上では7割弱（67.6%）となっています。

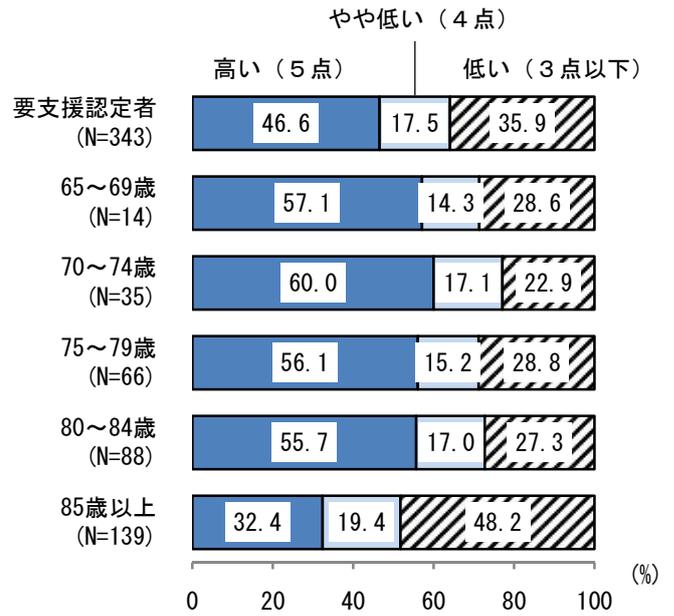
要支援認定者を除いた一般高齢者を性・年齢別にみると、低下者は84歳以下では男性の方が多く、85歳以上では女性の方が多くなっています。

一般高齢者を中学校区別にみると、該当者（リスクあり）は中主中学校区で14.3%と最も多くなっています。

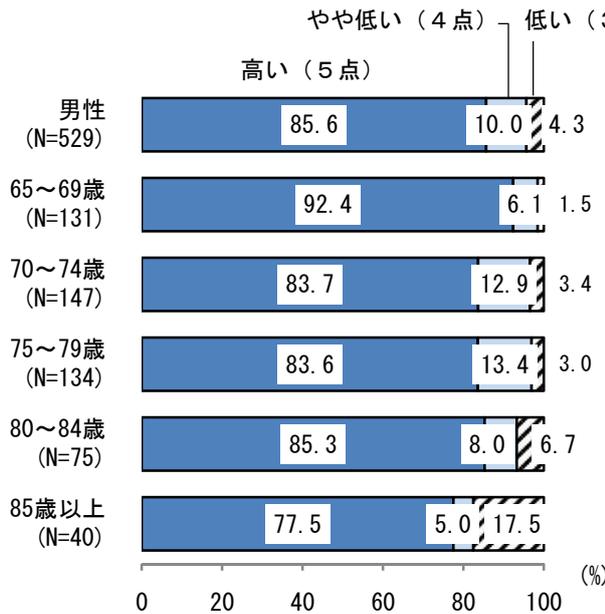
【一般高齢者・年齢別】



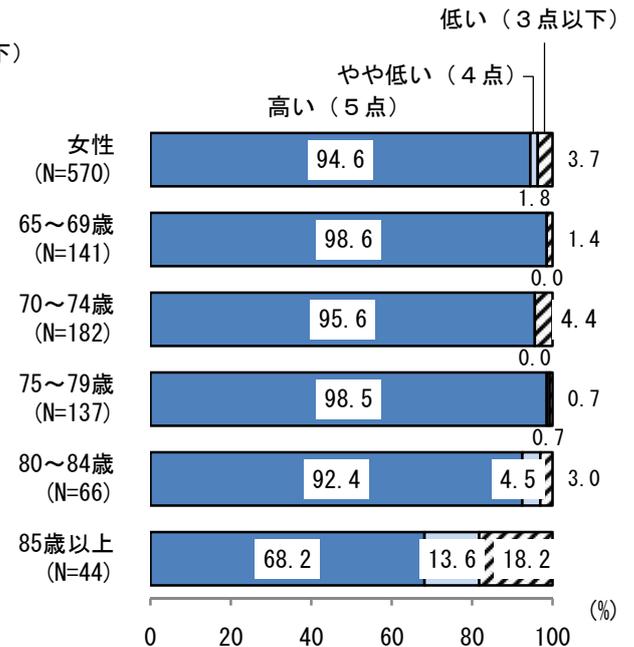
【要支援認定者・年齢別】



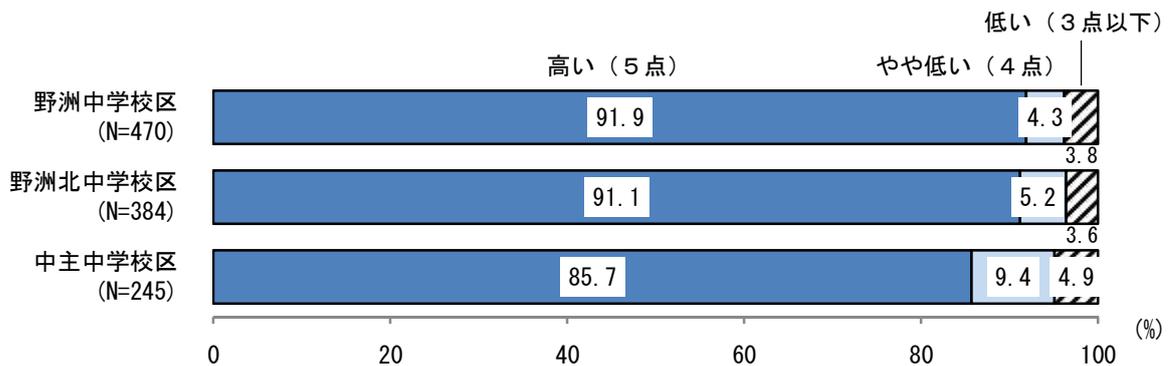
【男性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



【女性・年齢別】 ※要支援認定者を除く



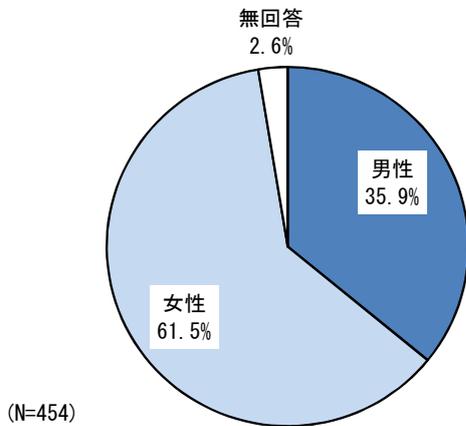
【圏域別】 ※要支援認定者を除く



3 在宅介護実態調査

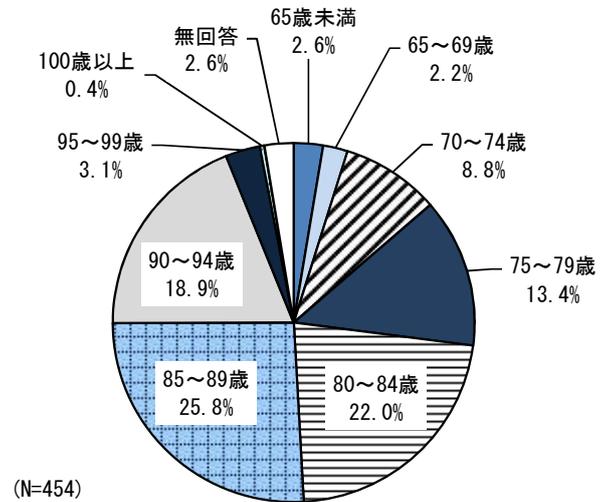
1 調査対象者の属性

(1) 性別



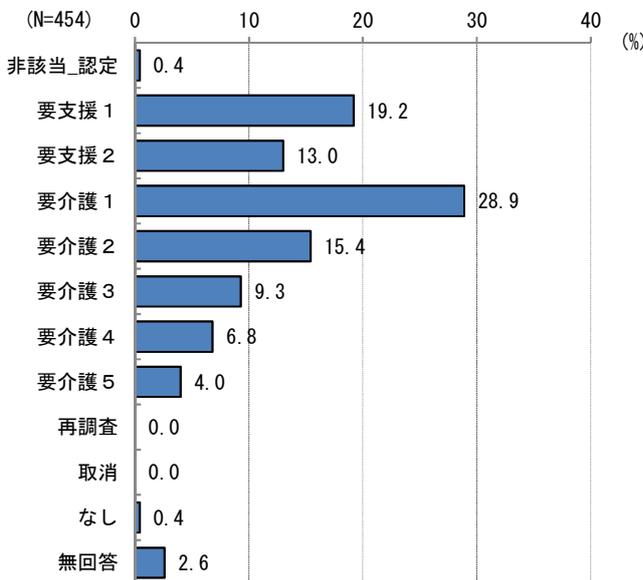
「男性」が 35.9%、「女性」が 61.5%となっています。

(2) 年齢



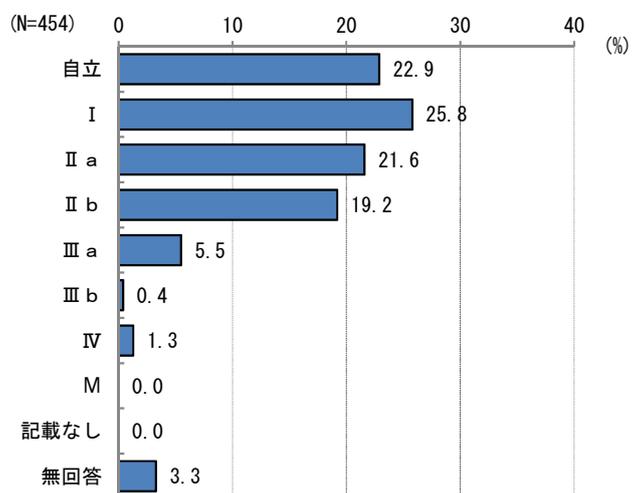
「85～89歳」が 25.8%と最も多く、次いで、「80～84歳」が 22.0%、「90～94歳」が 18.9%となっています。

(3) 要介護度



「要介護 1」が 28.9%と最も多く、次いで、「要支援 1」が 19.2%となっています。

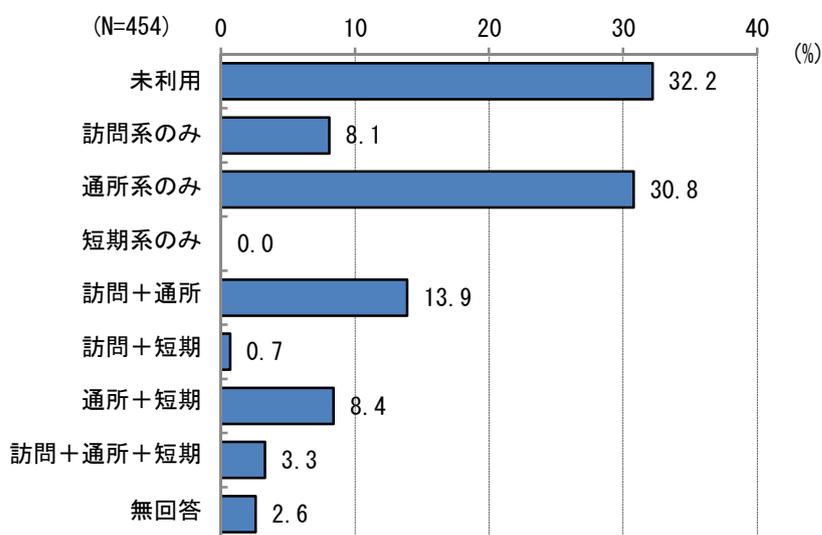
(4) 認知症高齢者の日常生活自立度



「I」が 25.8%と最も多く、次いで、「自立」が 22.9%、「II a」が 21.6%、「II b」が 19.2%となっています。

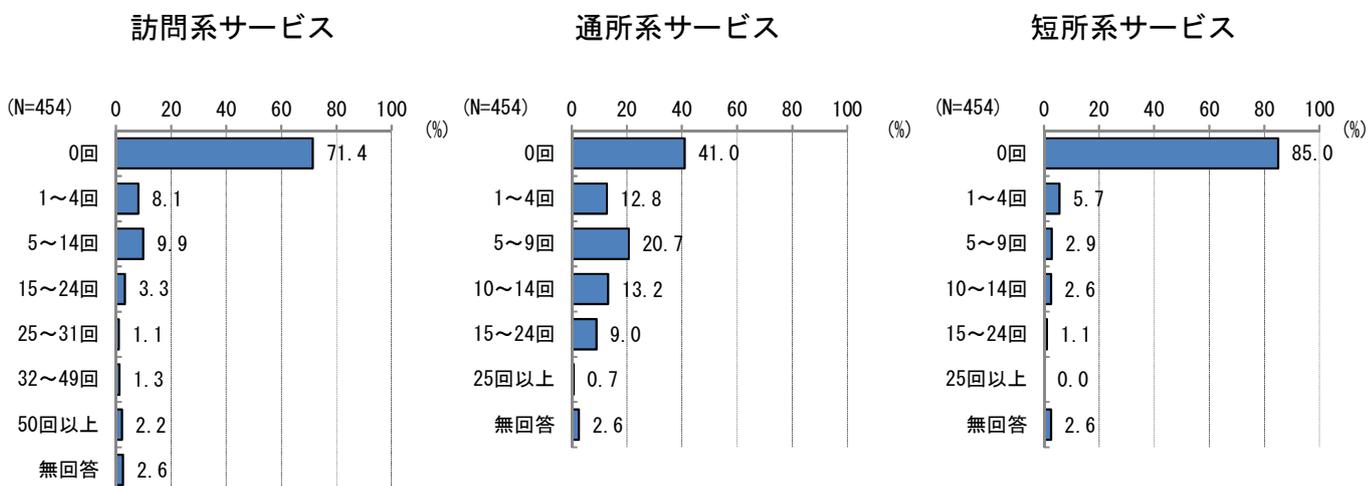
(5) サービス利用状況

① サービス利用の組み合わせ



サービス利用の組み合わせは、「通所系のみ」が30.8%と最も多く、次いで、「訪問+通所」が13.9%で、3割が「未利用」となっています。

② 合計利用回数



訪問系サービスの合計利用回数は、「0回」が71.4%と最も多く、次いで、「5~14回」が9.9%、「1~4回」が8.1%となっています。

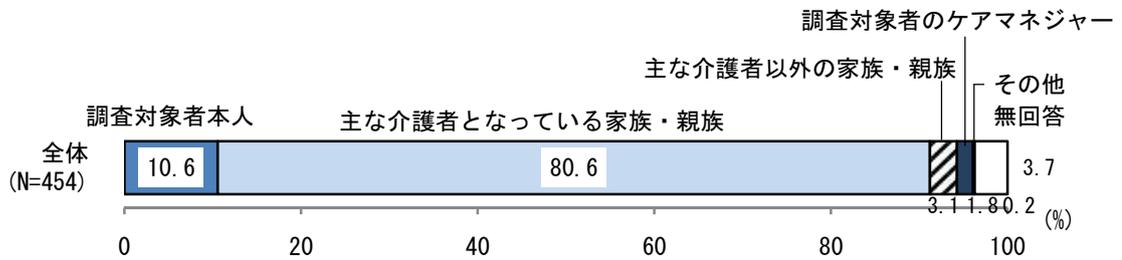
通所系サービスの利用回数は、「0回」が41.0%と最も多く、次いで、「5~9回」が20.7%、「10~14回」が13.2%、「1~4回」が12.8%となっています。

短期系サービスの利用回数は、「0回」が85.0%と最も多く、次いで、「1~4回」が5.7%となっています。

2 調査対象者の状況

(1) 聞き取り相手

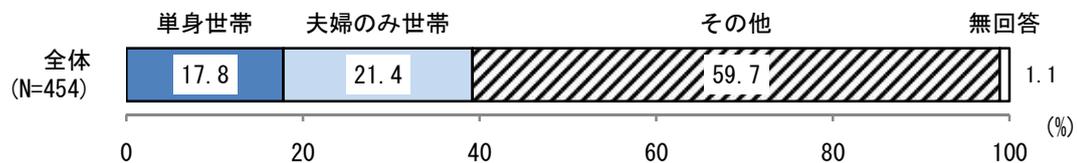
【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】 (複数選択可)



調査の聞き取りを行った相手は、「主な介護者となっている家族・親族」が80.6%と最も多く、次いで、「調査対象者本人」が10.6%となっています。

(2) 世帯類型

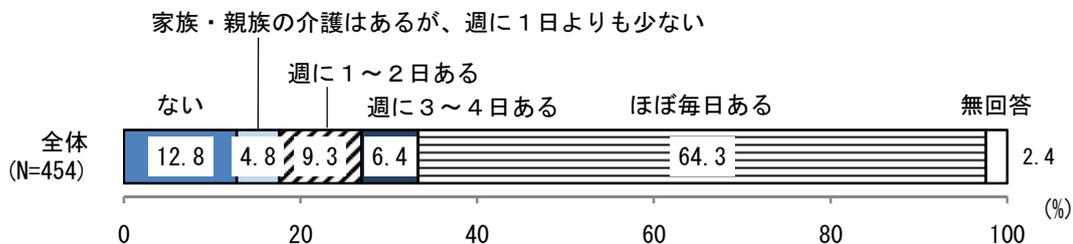
A票 問1 世帯類型について、ご回答ください (1つを選択)



世帯類型は、「単身世帯」が17.8%、「夫婦のみ世帯」が21.4%となっています。

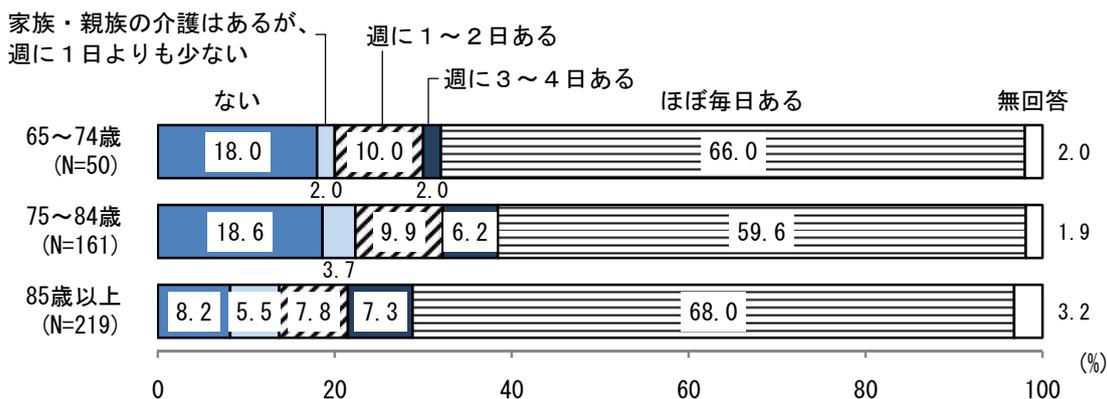
(3) 家族等による介護の頻度

A票 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)



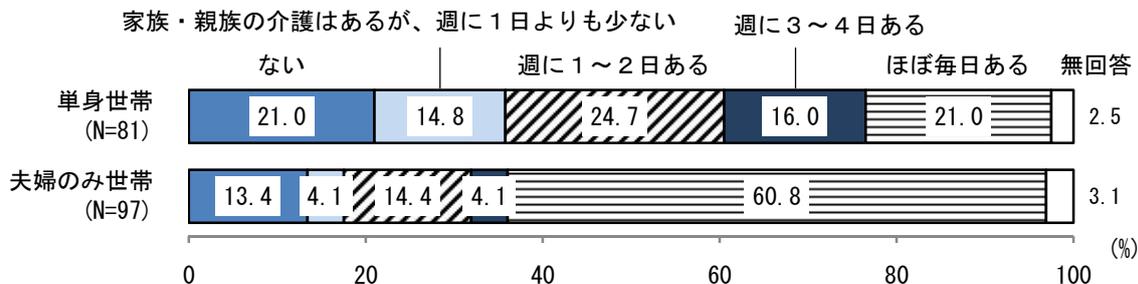
家族等の介護を受ける頻度は、「ほぼ毎日ある」が64.3%、「週に3~4日ある」が6.4%、「週に1~2日ある」が9.3%で、週1日以上介護を受けている人は合計8割(80.0%)となっています。

【年齢別】



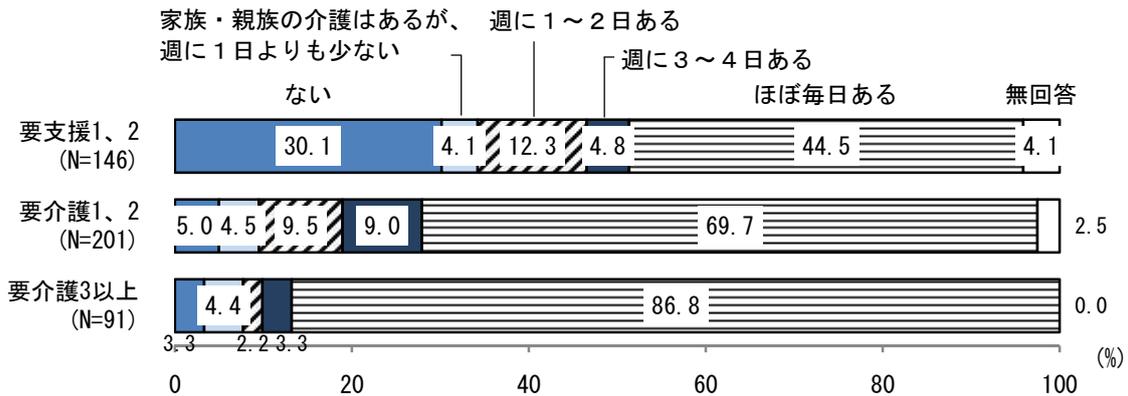
調査対象者の年齢別にみると、週1日以上介護を受けている人は、84歳以下では8割弱、85歳以上では約9割(88.6%)となっています。84歳以下では家族等の介護を受けていない人も2割ほどみられます。

【世帯類型別】



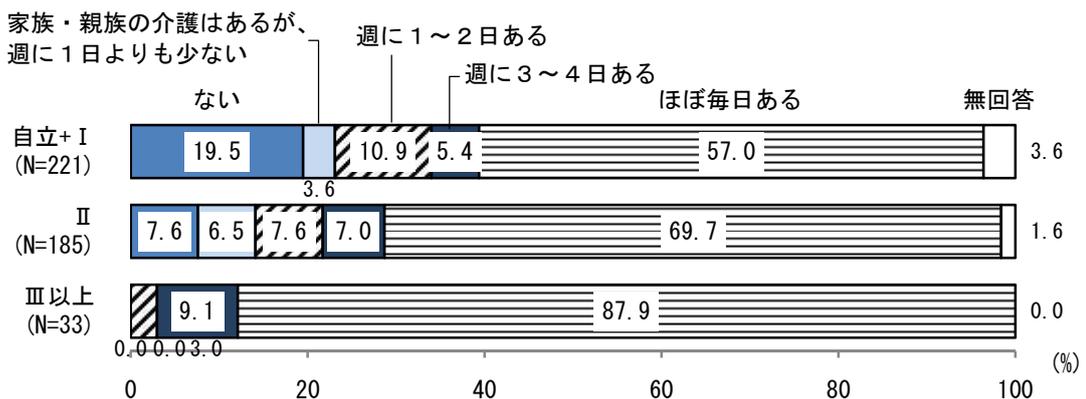
世帯類型別にみると、単身世帯では「週に1~2日ある」が24.7%と最も多く、週1日以上介護を受けている人は6割(61.7%)と全体に比べて少なくなっています。

【要介護度別】



要介護度別にみると、要支援1、2では「ない」が30.1%と多く、週1日以上介護を受けている人は6割（61.6%）となっています。要介護3以上になると、週1日以上介護を受けている人が9割以上（92.3%）となっています。

【認知症自立度別】

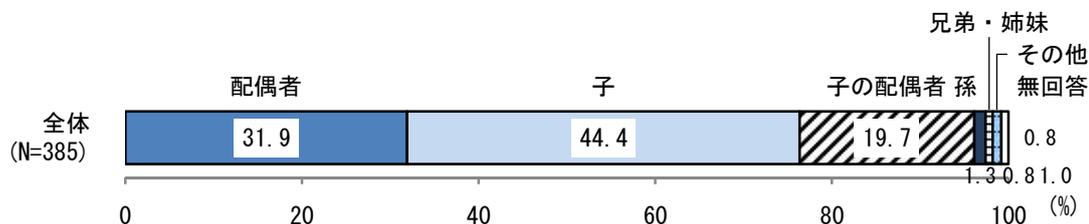


認知症自立度別にみると、自立+Iでは週1日以上介護を受けている人が7割台（73.3%）で、III以上になると約9割（87.9%）が「ほぼ毎日ある」となっています。

3 主な介護者について

(1) 主な介護者

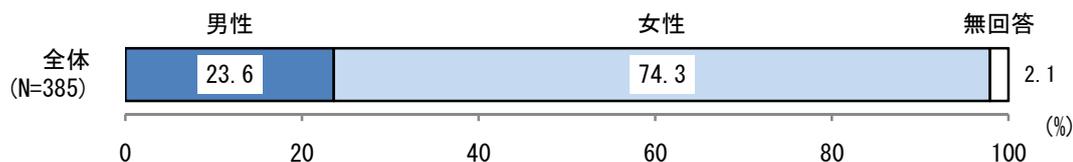
A票 問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）



主な介護者は、「子」が44.4%と最も多く、次いで、「配偶者」が31.9%、「子の配偶者」が19.7%となっています。

(2) 主な介護者の性別

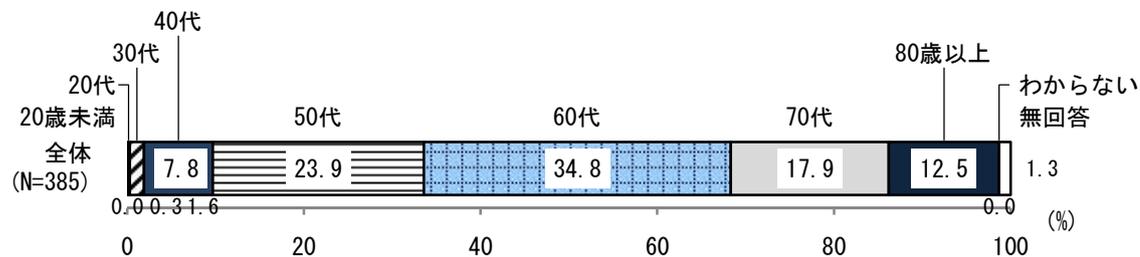
A票 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）



主な介護者の性別は、「女性」が74.3%と多く、「男性」は23.6%となっています。

(3) 主な介護者の年齢

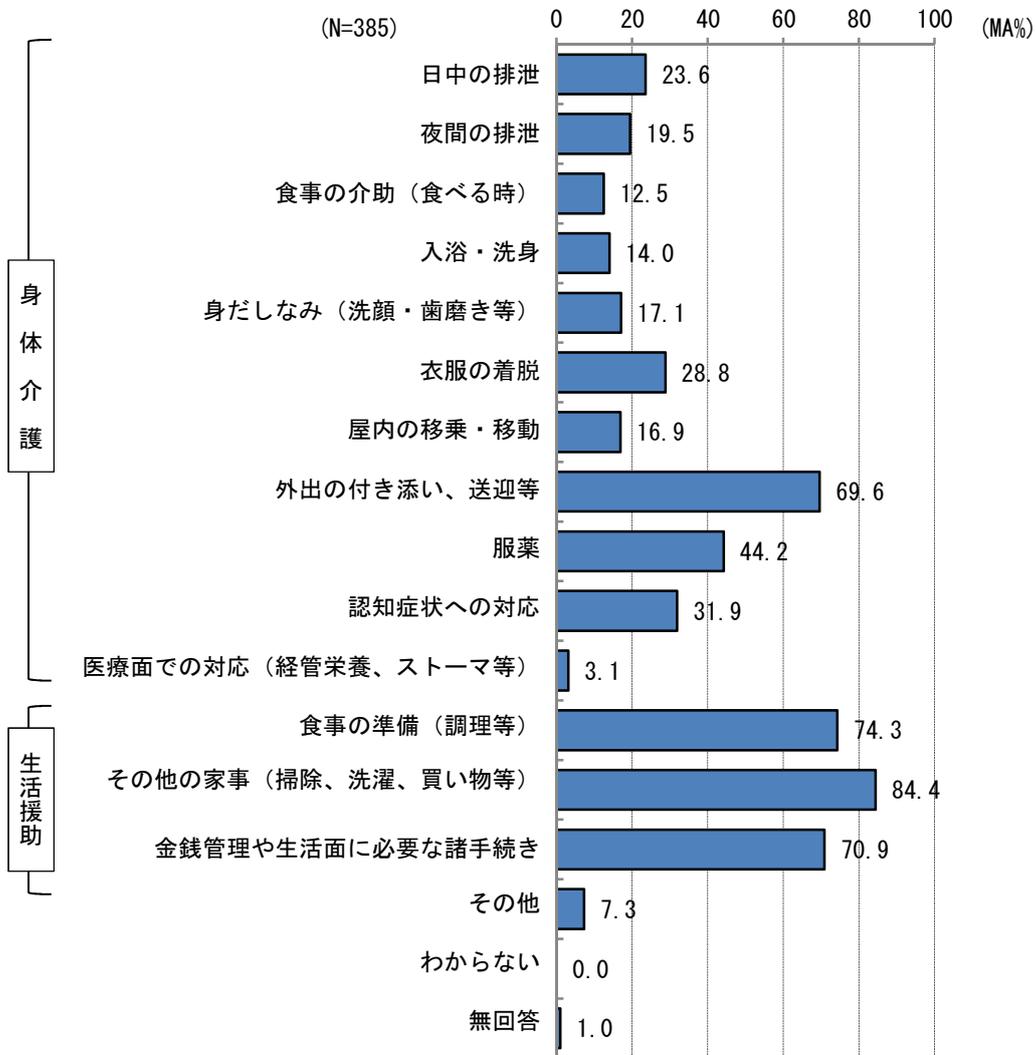
A票 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



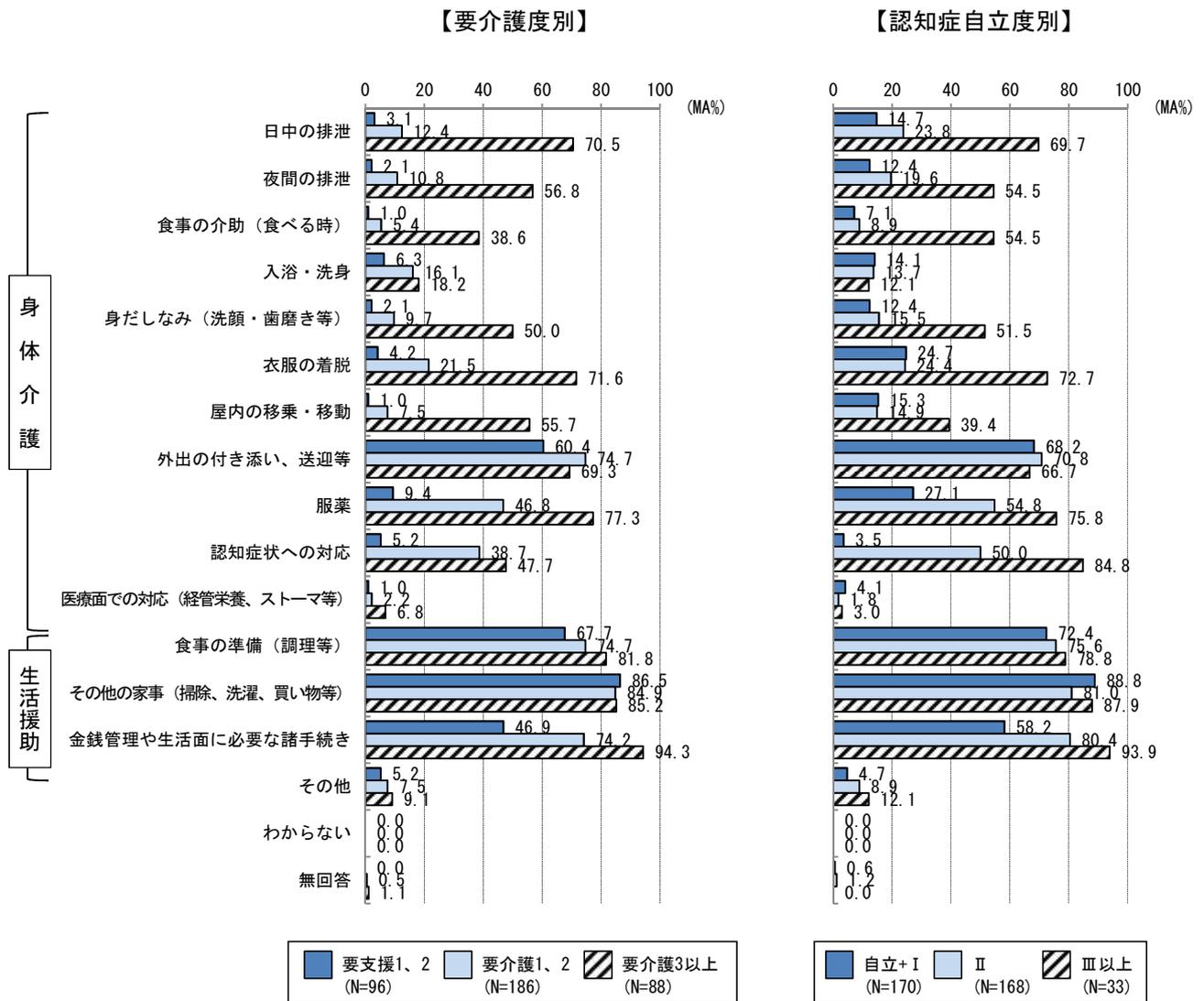
主な介護者の年齢は、「60代」が34.8%と最も多く、次いで、「50代」が23.9%、「70代」が17.9%となっています。

(4) 主な介護者が行っている介護の内容

A票 問 6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



主な介護者が行っている介護の内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が84.4%と最も多く、次いで、「食事の準備（調理等）」（74.3%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（70.9%）と生活援助で多くなっています。身体介護では、「外出の付き添い、送迎等」が69.6%と多くなっています。

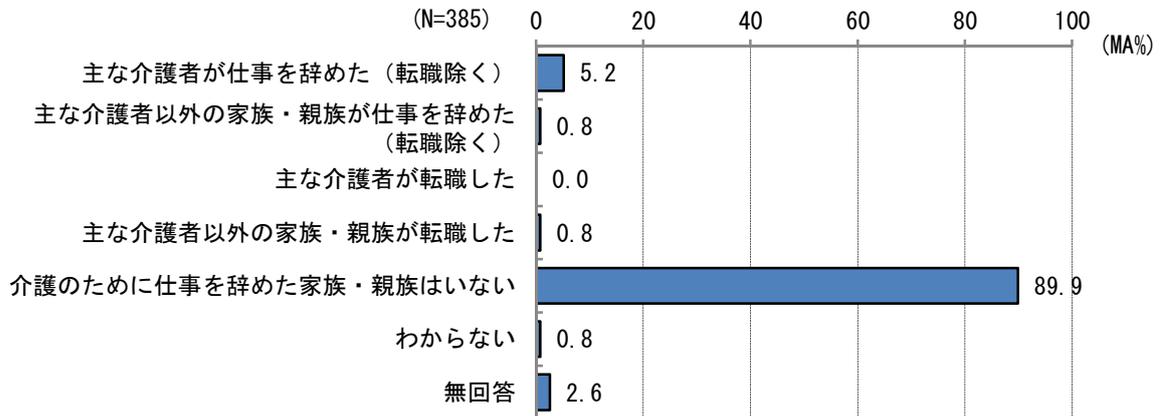


要介護度別にみると、要支援1、2、要介護1、2では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が8割以上で最も多くなっています。要介護3以上では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が94.3%と最も多く、多くの項目で要支援1、2、要介護1、2よりも高い割合となっています。

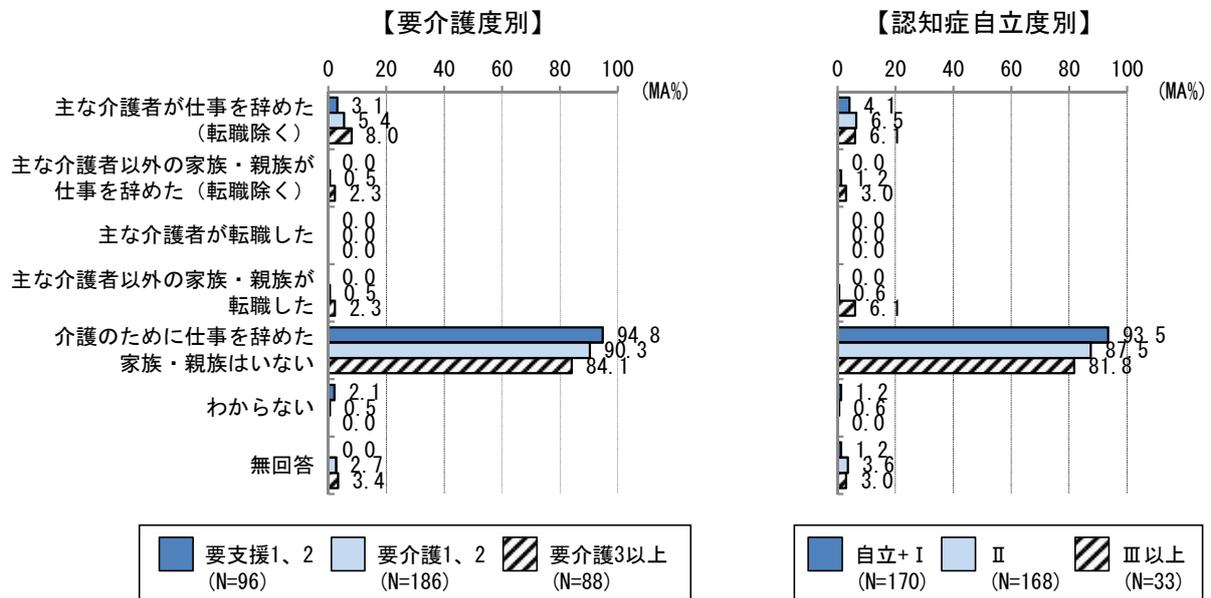
認知症自立度別にみると、自立+I、IIでは、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が8割以上で最も多くなっています。III以上では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が93.9%と最も多く、多くの項目で自立+I、IIよりも高い割合となっています。

(5) 介護離職の有無

A票 問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）



主な介護者の介護離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約9割（89.9%）と多く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が5.2%となっています。



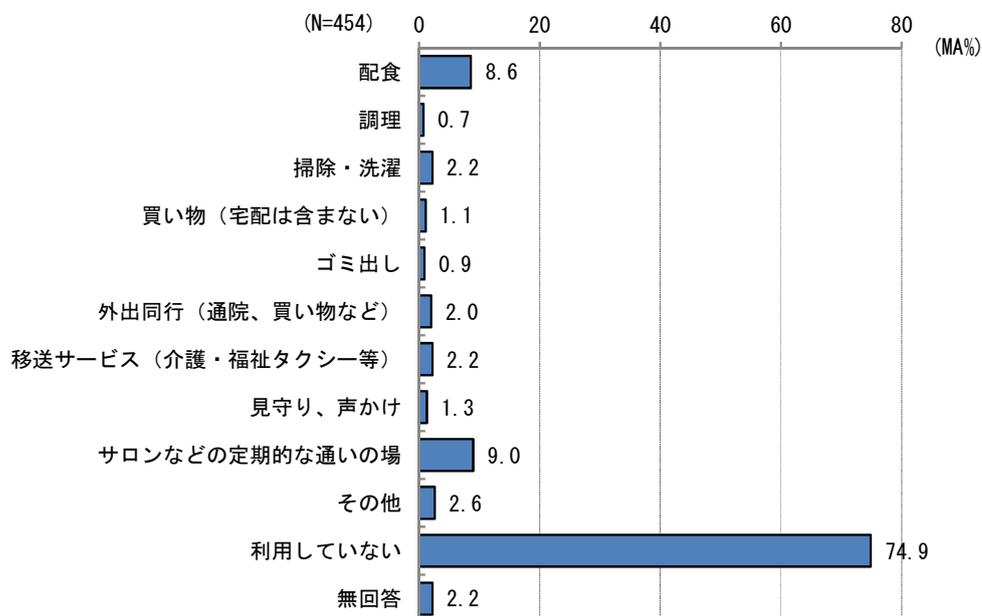
要介護度別にみると、要介護3以上で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」がやや多くなっています。

認知症自立度別にみると、Ⅱ、Ⅲ以上で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」がやや多くなっています。

4 支援・サービスの利用について

(1) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

A票 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）



介護保険以外の支援・サービスについては、「サロンなどの定期的な通いの場」（9.0%）、「配食」（8.6%）で1割弱の利用がみられますが、「利用していない」が7割台（74.9%）となっています。

【要介護度別】

	N	(上段：人、下段：MA%)												
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉タクシー等	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	通いの場	その他	利用していない	無回答
要支援1、2	146	10	0	5	1	1	1	2	0	23	6	102	3	
	100	6.8	0	3.4	0.7	0.7	0.7	1.4	0	15.8	4.1	69.9	2.1	
要介護1、2	201	23	2	3	3	2	5	2	5	17	3	151	3	
	100	11.4	1.0	1.5	1.5	1.0	2.5	1.0	2.5	8.5	1.5	75.1	1.5	
要介護3以上	91	6	1	2	1	1	3	6	1	1	3	71	4	
	100	6.6	1.1	2.2	1.1	1.1	3.3	6.6	1.1	1.1	3.3	78.0	4.4	

【認知症自立度別】

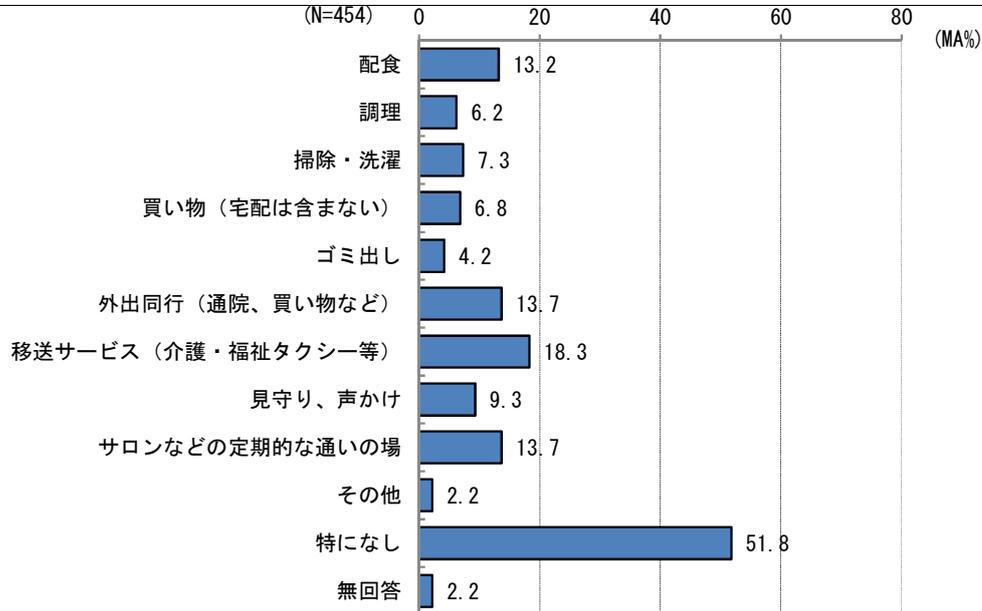
自立+I	221	17	1	5	3	2	3	3	2	26	8	159	5
	100	7.7	0.5	2.3	1.4	0.9	1.4	1.4	0.9	11.8	3.6	71.9	2.3
II	185	19	2	5	2	2	6	4	4	15	3	142	3
	100	10.3	1.1	2.7	1.1	1.1	3.2	2.2	2.2	8.1	1.6	76.8	1.6
III以上	33	3	0	0	0	0	0	3	0	0	1	24	2
	100	9.1	0	0	0	0	0	9.1	0	0	3.0	72.7	6.1

要介護度別にみると、要支援1、2では「サロンなどの定期的な通いの場」、要介護1、2では「配食」、要介護3以上では「配食」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。

認知症自立度別にみると、自立+Iでは「サロンなどの定期的な通いの場」、IIでは「配食」、III以上では「配食」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。

(2) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

A票 問9 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）



在宅生活の継続に必要な支援・サービスは、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」が 18.3% と最も多く、次いで、「外出同行 (通院、買い物など)」、「サロンなどの定期的な通いの場」がそれぞれ 13.7%、「配食」が 13.2% となっています。

【要介護度別】

(上段：人、下段：MA%)

	N	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	福祉移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
要支援1、2	146	14	6	11	10	8	13	25	6	26	4	77	4
	100	9.6	4.1	7.5	6.8	5.5	8.9	17.1	4.1	17.8	2.7	52.7	2.7
要介護1、2	201	35	16	14	13	7	37	33	21	26	3	98	2
	100	17.4	8.0	7.0	6.5	3.5	18.4	16.4	10.4	12.9	1.5	48.8	1.0
要介護3以上	91	10	6	8	8	4	11	23	14	9	3	49	4
	100	11.0	6.6	8.8	8.8	4.4	12.1	25.3	15.4	9.9	3.3	53.8	4.4

【認知症自立度別】

自立+I	221	19	13	17	12	11	23	42	13	29	6	115	5
	100	8.6	5.9	7.7	5.4	5.0	10.4	19.0	5.9	13.1	2.7	52.0	2.3
II	185	36	14	14	17	7	36	31	22	27	3	94	3
	100	19.5	7.6	7.6	9.2	3.8	19.5	16.8	11.9	14.6	1.6	50.8	1.6
III以上	33	4	1	2	2	1	2	8	6	5	1	16	2
	100	12.1	3.0	6.1	6.1	3.0	6.1	24.2	18.2	15.2	3.0	48.5	6.1

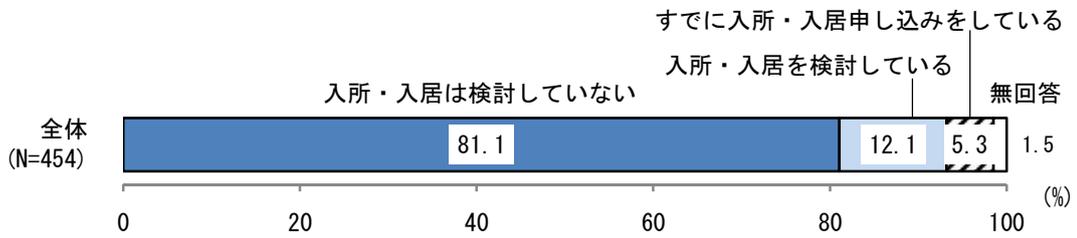
要介護度別にみると、要支援1、2では「サロンなどの定期的な通いの場」、要介護1、2では「外出同行 (通院、買い物など)」、要介護3以上では「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」が最も多くなっています。

認知症自立度別にみると、自立+IとIII以上では「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」

Ⅱでは「配食」と「外出同行（通院、買い物など）」が最も多くなっています。

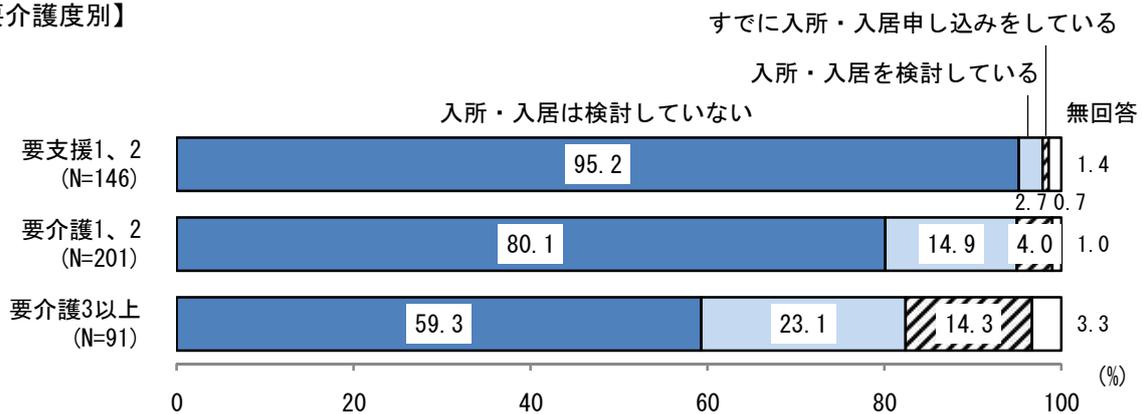
(3) 施設等への入所・入居の検討状況

A票 問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)



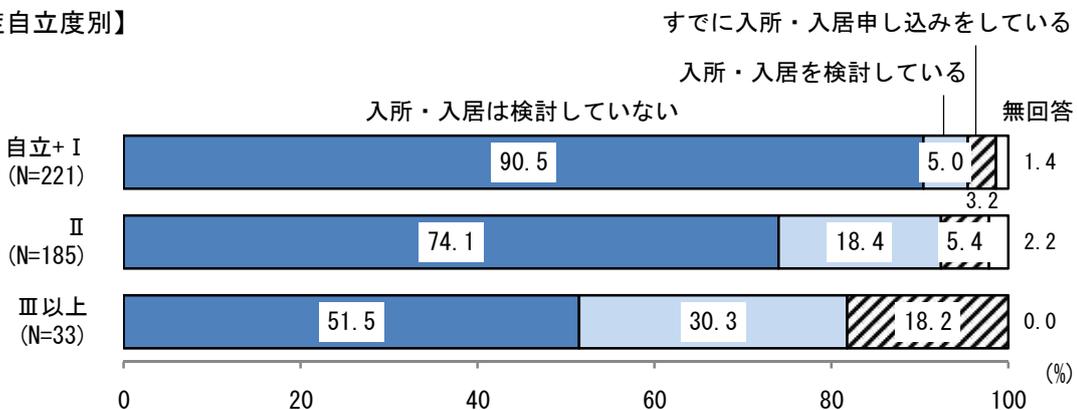
施設等への「入所・入居を検討している」人は12.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は5.3%で、「入所・入居は検討していない」が8割(81.1%)となっています。

【要介護度別】



要介護度別にみると、「入所・入居を検討している」は要介護1、2で14.9%、要介護3以上で23.1%となっています。

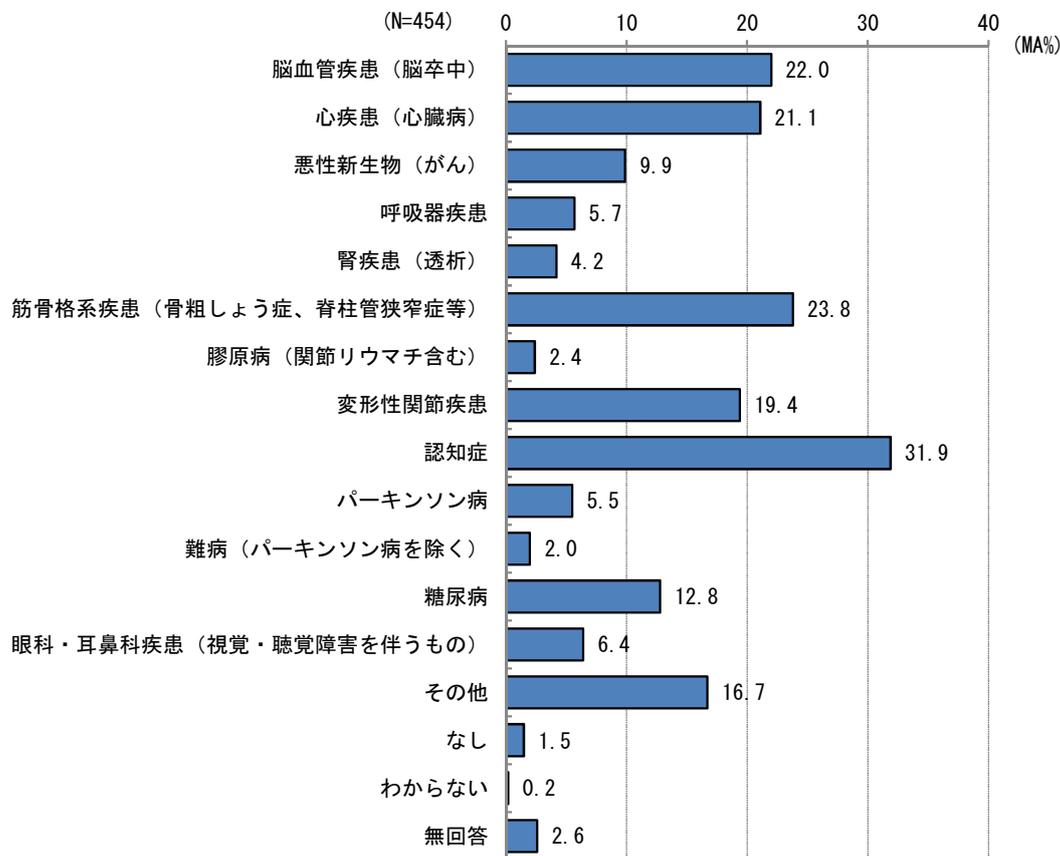
【認知症自立度別】



認知症自立度別にみると、「入所・入居を検討している」はIIで18.4%、IIIで30.3%となっています。

(4) 現在抱えている傷病

A票 問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数選択可）



本人が抱える傷病は、「認知症」が31.9%と最も多く、次いで、「筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が23.8%、「脳血管疾患 (脳卒中)」が22.0%、「心疾患 (心臓病)」が21.1%、「変形性関節疾患」が19.4%となっています。

【要介護度別】

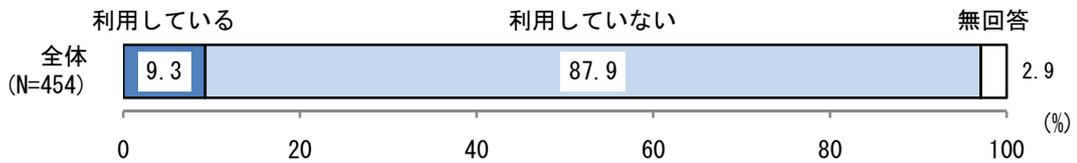
(上段：人、下段：MA%)

	N	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
要支援1、2	146	22	31	14	5	6	44	4	39	6	6	6	20	15	28	3	0	1
	100	15.1	21.2	9.6	3.4	4.1	30.1	2.7	26.7	4.1	4.1	4.1	13.7	10.3	19.2	2.1	0	0.7
要介護1、2	201	45	47	20	12	11	41	7	35	89	11	1	27	10	33	2	1	8
	100	22.4	23.4	10.0	6.0	5.5	20.4	3.5	17.4	44.3	5.5	0.5	13.4	5.0	16.4	1.0	0.5	4.0
要介護3以上	91	32	15	10	9	2	17	0	11	49	6	1	10	4	13	1	0	1
	100	35.2	16.5	11.0	9.9	2.2	18.7	0	12.1	53.8	6.6	1.1	11.0	4.4	14.3	1.1	0	1.1

要介護度別にみると、要支援1、2では「筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」、要介護1、2、要介護3以上では「認知症」が最も多くなっています。

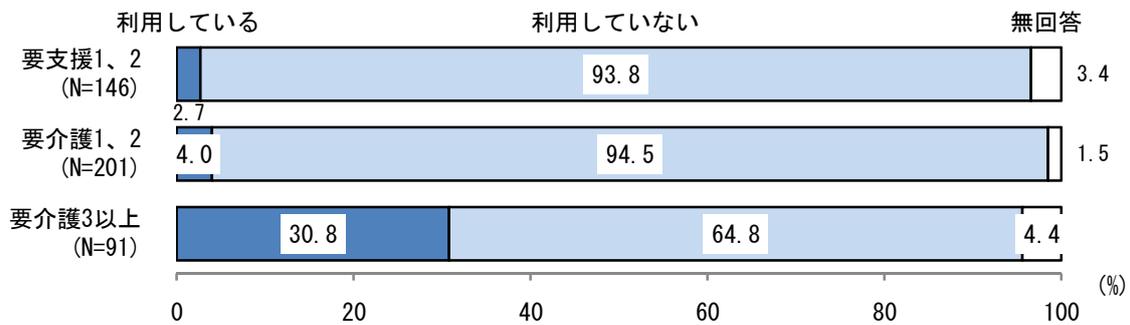
(5) 訪問診療の利用状況

A票 問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。



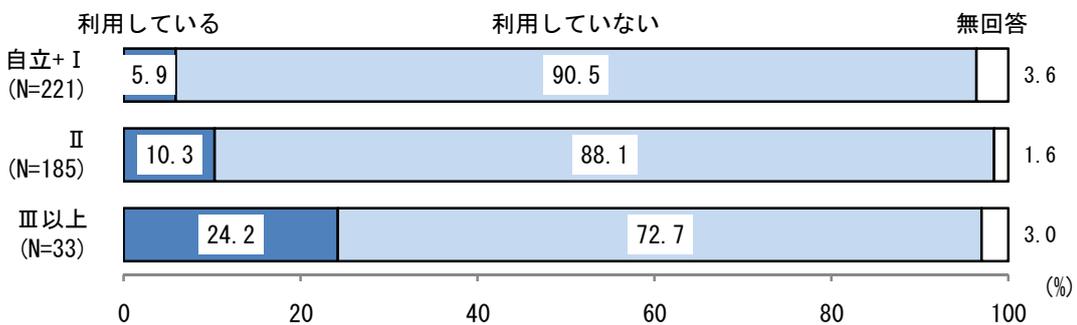
訪問診療を「利用している」は約1割（9.3%）となっています。

【要介護度別】



要介護度別にみると、「利用している」は要支援1、2で2.7%、要介護1、2で4.0%、要介護3以上で30.8%となっています。

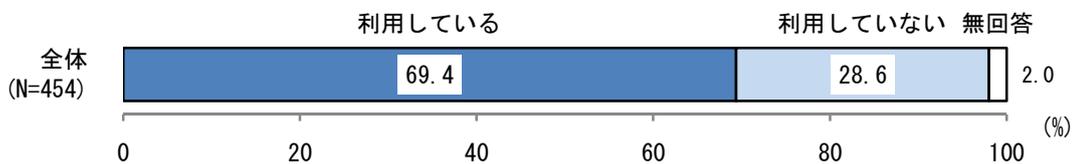
【認知症自立度別】



認知症自立度別にみると、「利用している」は自立+ Iで5.9%、Ⅱで10.3%、Ⅲ以上で24.2%となっています。

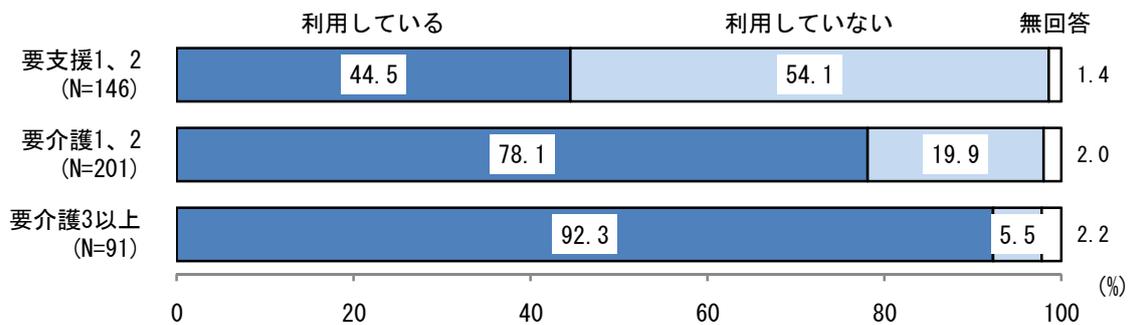
(6) 介護保険サービスの利用状況

A票 問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)



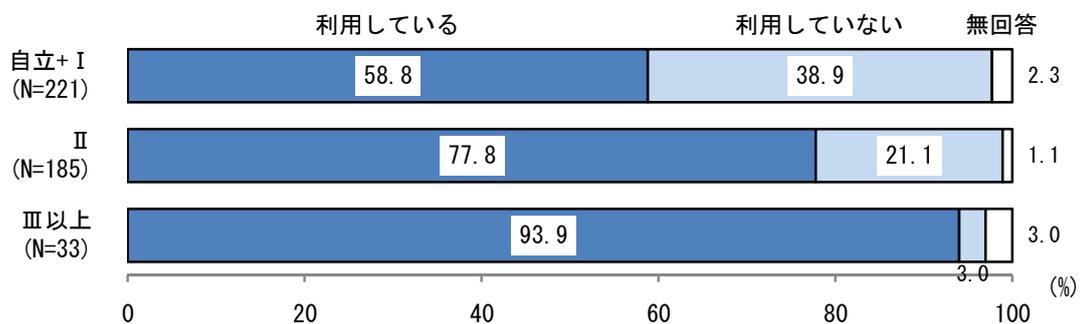
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを「利用している」人は約7割(69.4%)となっています。

【要介護度別】



要介護度別にみると、「利用している」人は要支援1、2で44.5%、要介護1、2で78.1%、要介護3以上で92.3%となっています。

【認知症自立度別】

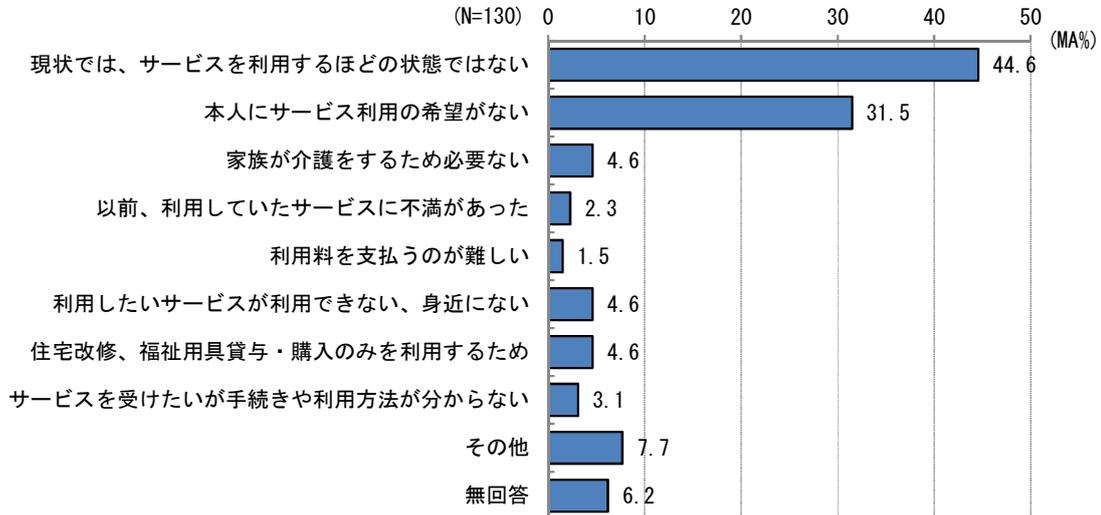


認知症自立度別にみると、「利用している」人は自立+Iで58.8%、IIで77.8%、III以上で93.9%となっています。

(7) 介護保険サービスを利用していない理由

【問13で「2. 利用していない」と回答した方のみ】

A票 問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）



介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.6%と最も多く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が31.5%となっています。

【要介護度別】

	N	現状では、サービスを利用するほどではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
要支援1、2	79	47	18	1	1	0	5	5	3	3	4
	100	59.5	22.8	1.3	1.3	0	6.3	6.3	3.8	3.8	5.1
要介護1、2	40	6	20	3	2	0	1	1	1	7	2
	100	15.0	50.0	7.5	5.0	0	2.5	2.5	2.5	17.5	5.0

【認知症自立度別】

	N	現状では、サービスを利用するほどではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
自立+ I	86	45	21	3	1	0	4	6	3	6	6
	100	52.3	24.4	3.5	1.2	0	4.7	7	3.5	7	7
II	39	10	18	2	2	1	2	0	1	4	1
	100	25.6	46.2	5.1	5.1	2.6	5.1	0	2.6	10.3	2.6

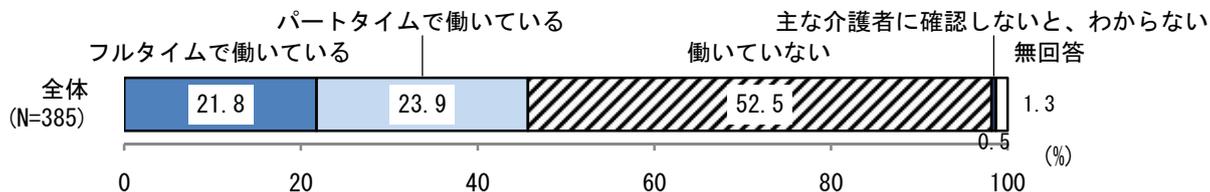
要介護度別にみると、要支援1、2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が59.5%と最も多く、要介護1、2では「本人にサービス利用の希望がない」が50.0%と最も多くなっています。

認知症自立度別にみると、自立+ Iでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.3%と最も多く、IIでは「本人にサービス利用の希望がない」が46.2%と最も多くなっています。

5 主な介護者の就労等について

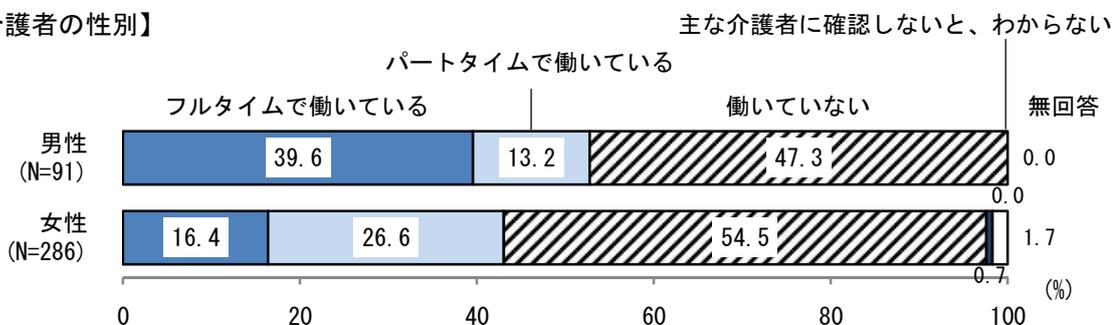
(1) 主な介護者の就労状況

B票 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）



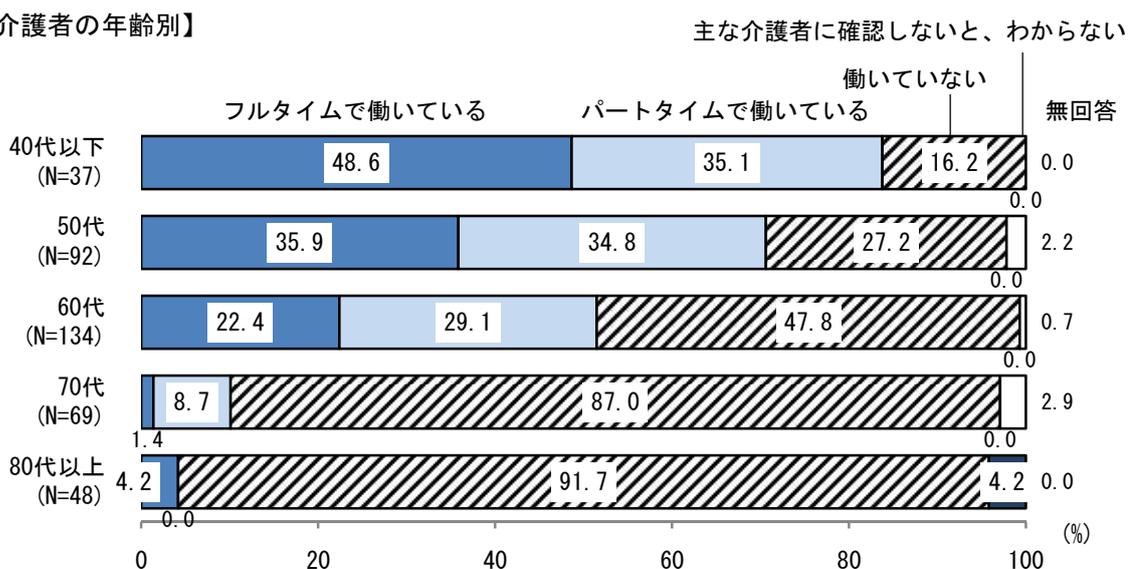
主な介護者の就労状況については、「フルタイムで働いている」が21.8%、「パートタイムで働いている」が23.9%で、就労している介護者は合計45.7%となっています。

【主な介護者の性別】



主な介護者の性別にみると、男性は「フルタイムで働いている」が39.6%と多く、女性は「働いていない」が54.5%と多くなっています。

【主な介護者の年齢別】

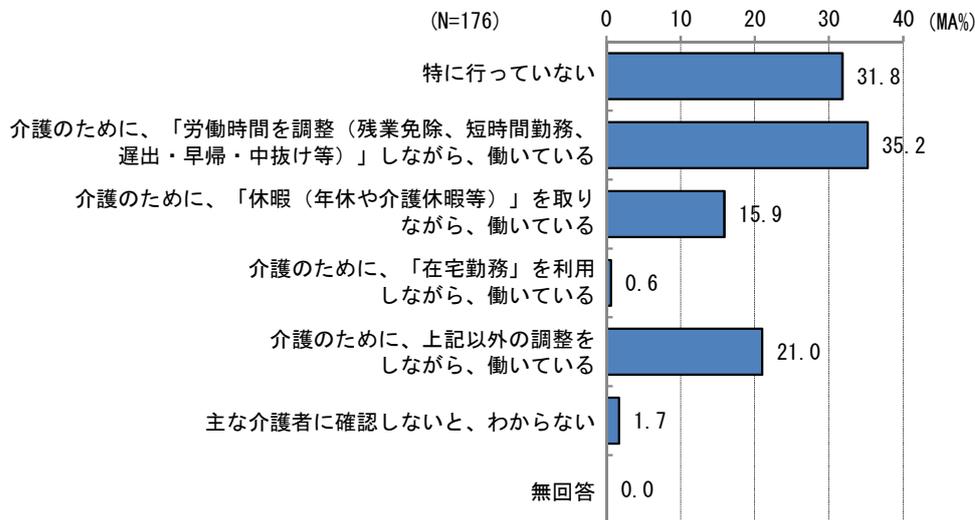


主な介護者の年齢別にみると、50代までは就労している人が7割以上と多く、60代で5割、70代以上では「働いていない」が9割前後となっています。

(2) 主な介護者の勤務調整の有無

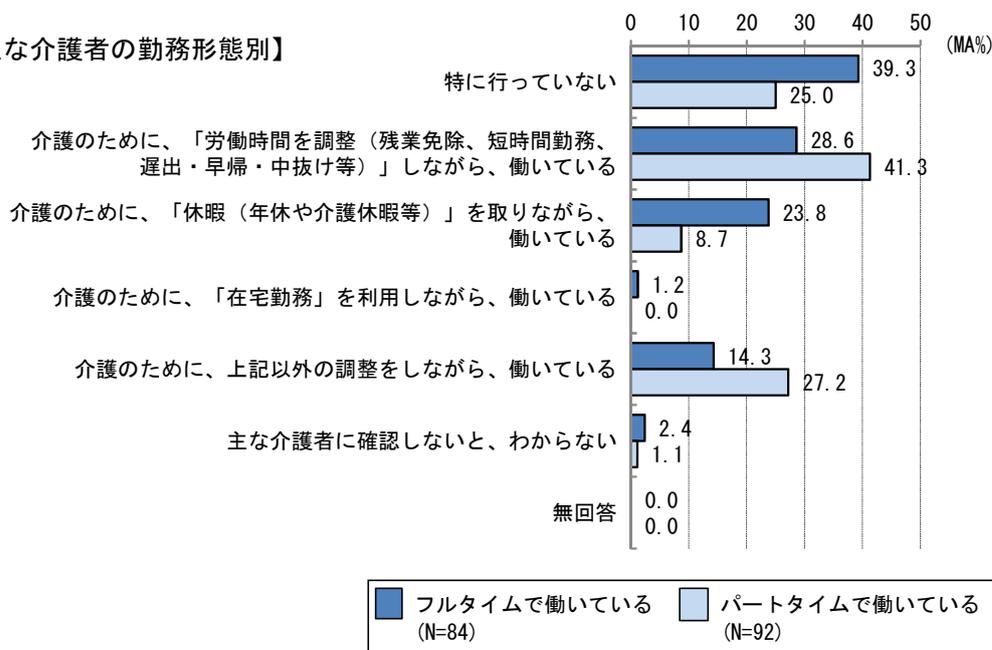
【問1で「1.」「2.」(働いている)と回答した方のみ】

B票 問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして
いますか(複数選択可)



就労している介護者の勤務調整等については、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が35.2%と最も多く、次いで、「介護のために、上記以外(労働時間調整、休暇、在宅勤務以外)の調整をしながら、働いている」が21.0%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が15.9%で、「特に行っていない」人も3割(31.8%)ほどみられます。

【主な介護者の勤務形態別】

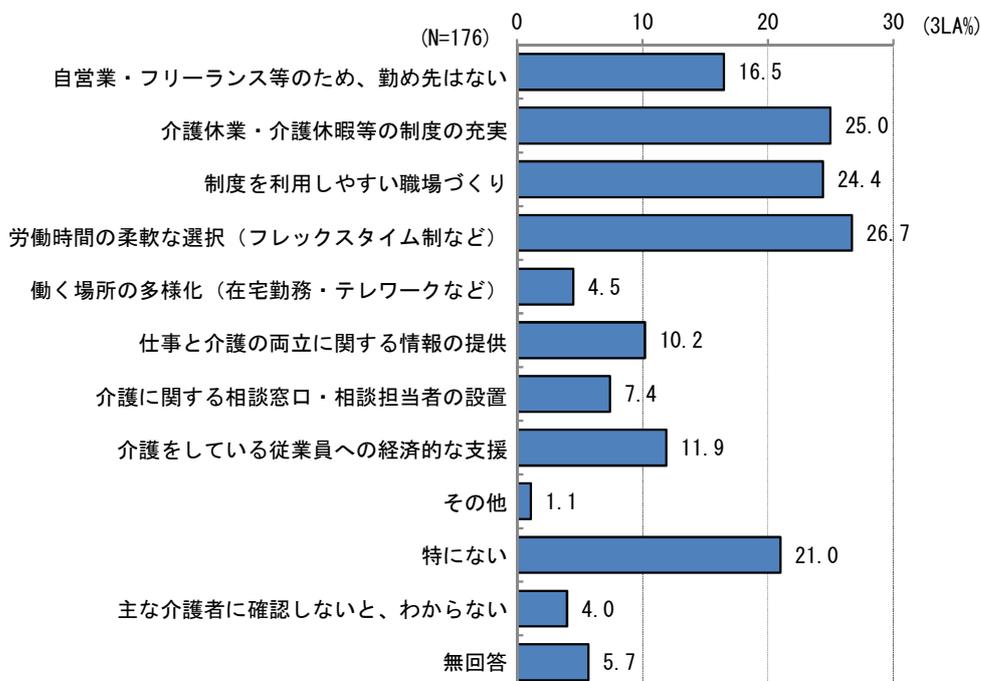


主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイムで働いている人は、「特に行っていない」が39.3%と最も多く、パートタイムで働いている人は、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が41.3%と最も多くなっている。

(3) 仕事と介護の両立に効果的な支援

【問1で「1.」「2.」(働いている)と回答した方のみ】

B票 問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)



仕事と介護の両立のために必要な勤め先からの支援は、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が26.7%と最も多く、次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」が24.4%となっています。

【主な介護者の勤務形態別】

(上段:人、下段:3LA%)

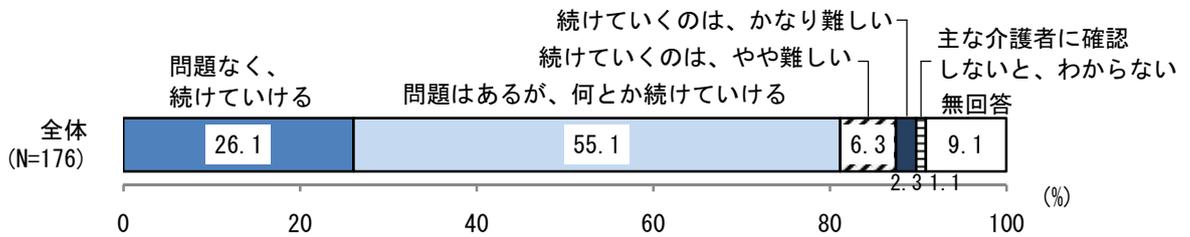
	N	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
フルタイムで働いている	84	22	26	20	25	6	3	7	10	1	8	5	6
	100	26.2	31.0	23.8	29.8	7.1	3.6	8.3	11.9	1.2	9.5	6.0	7.1
パートタイムで働いている	92	7	18	23	22	2	15	6	11	1	29	2	4
	100	7.6	19.6	25.0	23.9	2.2	16.3	6.5	12.0	1.1	31.5	2.2	4.3

主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイムで働いている人は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.0%と最も多く、パートタイムで働いている人は、「制度を利用しやすい職場づくり」が25.0%と最も多くなっています。

(4) 就労継続の可否

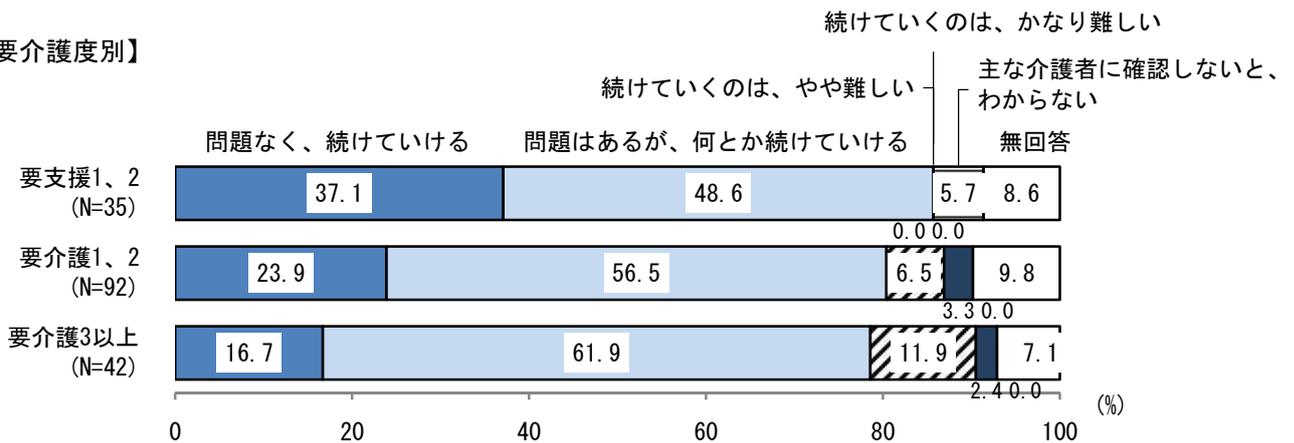
【問1で「1.」「2.」(働いている)と回答した方のみ】

B票 問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)



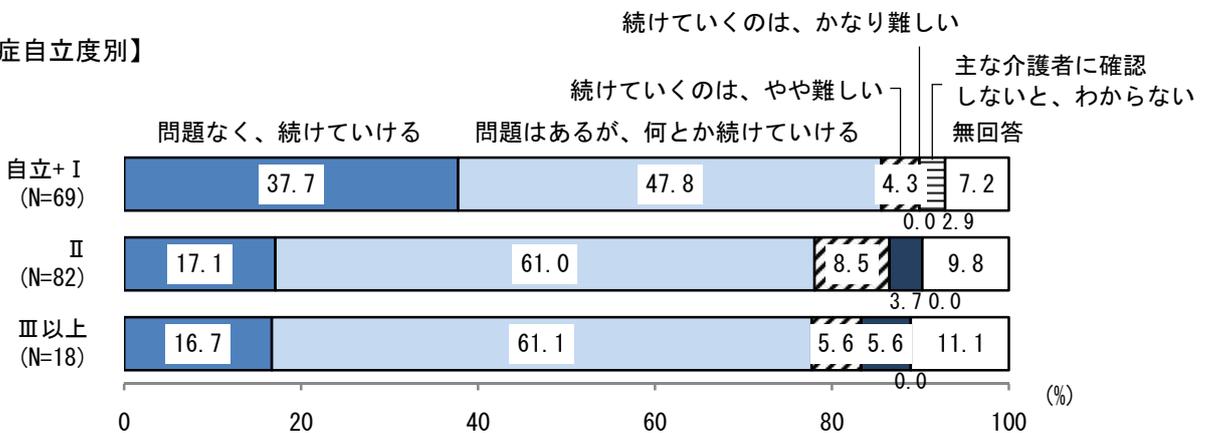
主な介護者の就労継続の可否については、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.1%と最も多く、次いで、「問題なく、続けていける」が26.1%で、約8割(81.2%)が『続けていける』と回答しています。

【要介護度別】



要介護度別にみると、『続けていける』は要支援1、2で85.7%、要介護1、2で80.4%、要介護3以上で78.6%となっています。

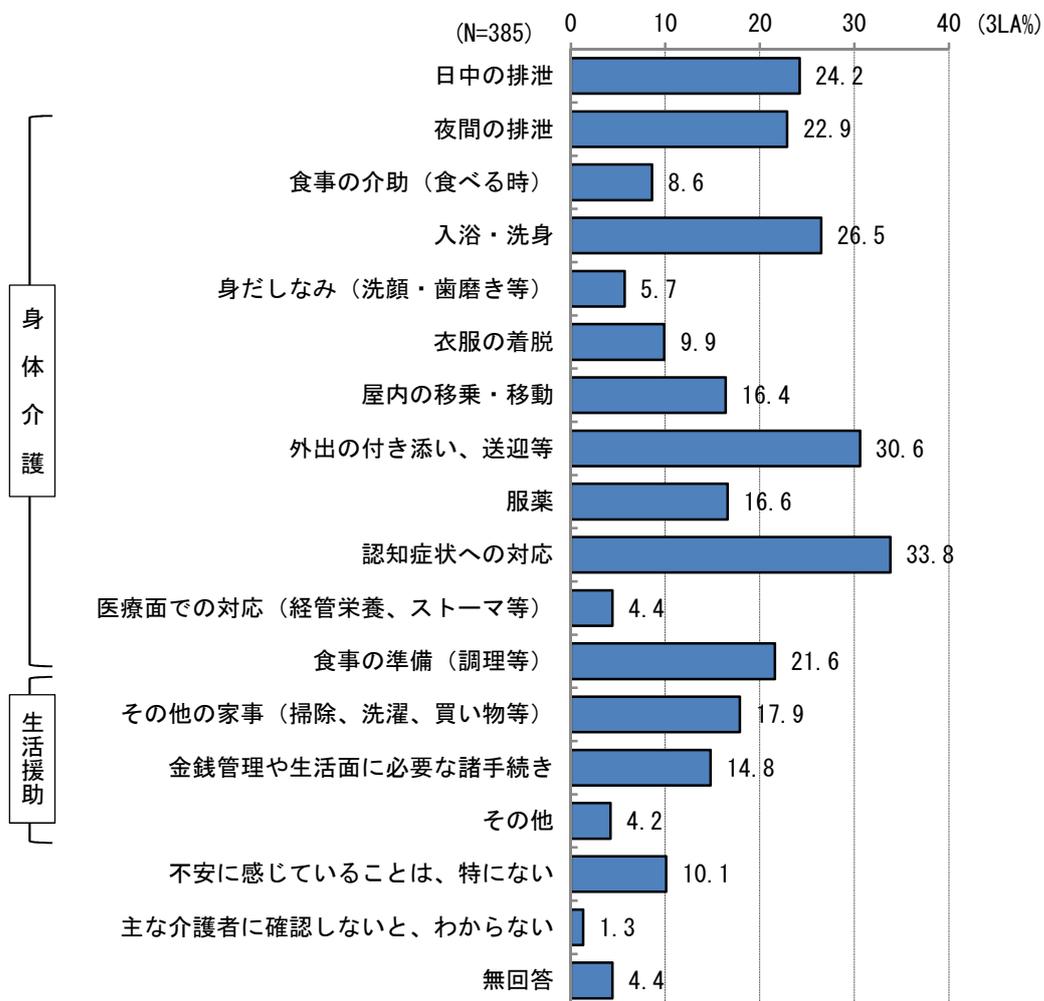
【認知症自立度別】



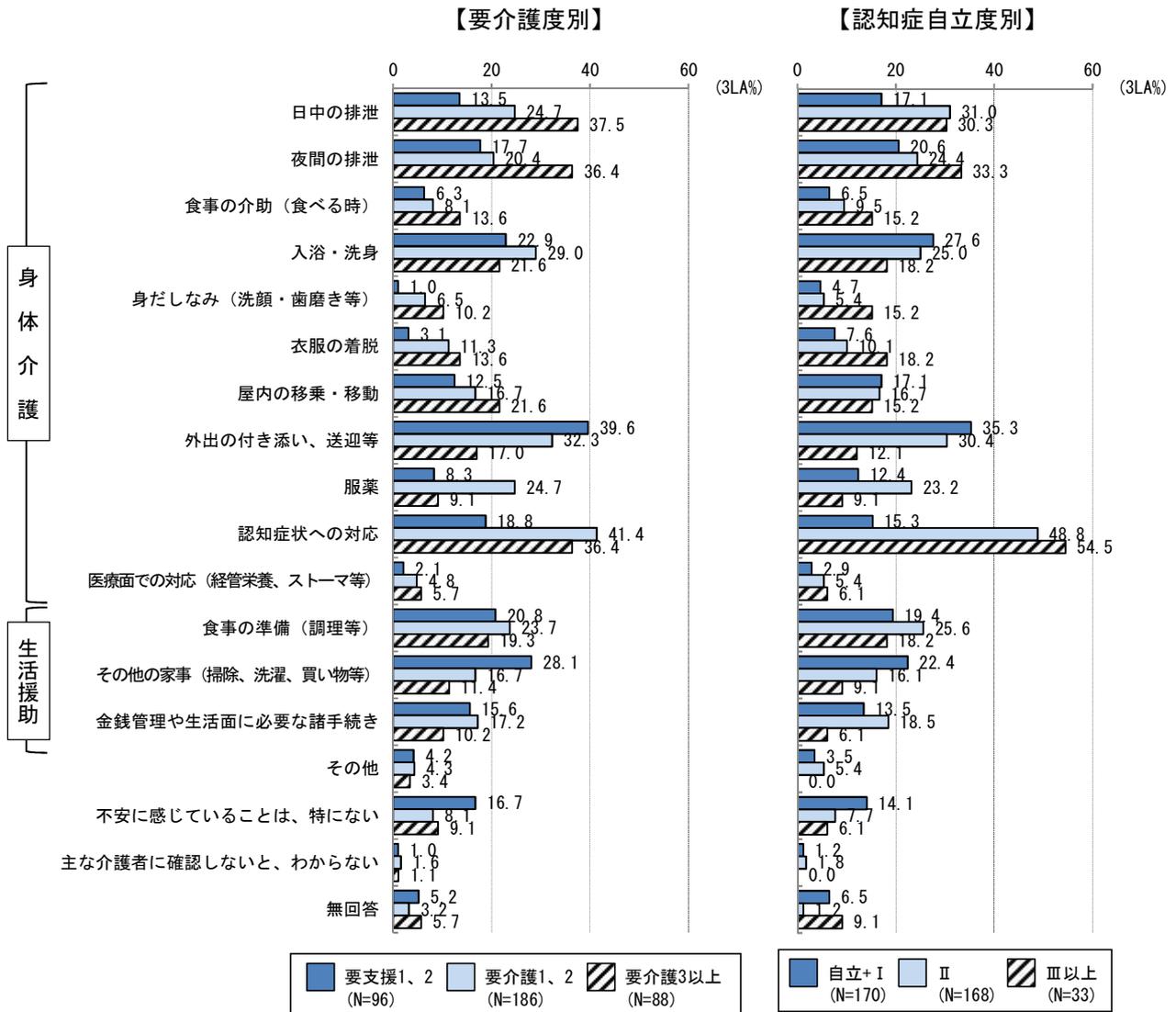
認知症自立度別にみると、『続けていける』は自立+Iで85.5%、IIで78.1%、要介護3以上で77.8%となっています。

(5) 主な介護者が不安に感じる介護

B票 問 5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が 33.8%と最も多く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」が 30.6%、「入浴・洗身」が 26.5%となっています。



要介護度別にみると、要支援1、2では「外出の付き添い、送迎等」(39.6%)、要介護1、2では「認知症状への対応」(41.4%)が最も多くなっています。要介護3以上では、「日中の排泄」が37.5%と最も多く、次いで、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」がそれぞれ36.4%となっています。

認知症自立度別にみると、自立+Iでは「外出の付き添い、送迎等」(35.3%)、IIでは「認知症状への対応」(48.8%)が最も多くなっています。III以上では、「認知症状への対応」が54.5%と最も多く、次いで、「夜間の排泄」が33.3%、「日中の排泄」が30.3%となっています。

参考資料（調査票）

野洲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート

ご協力のお願い

皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後の高齢者福祉行政に役立てるために、皆様の普段の生活や健康状態などをお伺いするアンケート調査を行います。ご回答いただいた内容は、次期の介護保険事業計画策定の基礎資料とさせていただきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、お答えいただいた内容は、調査目的に限って統計的に処理するものであり、個人が特定されたり他にもれることはありません。

令和2年1月

野洲市長 山仲 善彰

ご記入にあたってのお願い

1. この調査の対象者は、令和元年12月1日現在、65歳以上で、要支援1、2の方全員と、要介護認定を受けられていない方から1,500名を無作為抽出してアンケート調査を実施します。
2. ご回答にあたってはあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、その他（ ）には、具体的にご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
 介護：介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
 介助：ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
5. 調査票は、**令和2年1月24日（金）まで**に3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください（切手を貼る必要はありません）。
6. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

【問合せ先】

野洲市高齢福祉課介護保険担当

電話：587-6074（直通）

FAX：586-2176

整理番号： 1-001

※この整理番号は、調査結果の分析に必要となる基本的な情報【性別、年齢階層、生活圏域（中学校区）、要支援等の認定の有無】についてのみ機械的に把握するためのものです。個人を特定することはありません。

記入日：令和2年 月 日

調査票を記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入(あて名のご本人からみた続柄：)
3. その他()

1 あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えてください(○は1つ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(○は1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

2 からだを動かすことについて

問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問6 15分位続けて歩いていますか(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問7 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

3 食べることについて

問14 身長・体重をご記入ください

- ① 身長 () cm ② 体重 () kg

問15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問16 お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問17 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問18 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問19 1日3食きちんと食べていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問20 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問21 どなたかと食事をともにする機会がありますか (○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

4 毎日の生活について

問22 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問23 周りの人から「いつも同じことを聞く」等の物忘れがあるとされていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問24 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問25 自分で食品・日用品の買物をしていますか（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問26 自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問27 自分で請求書の支払いをしていますか（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問28 自分で預貯金の出し入れをしていますか（○は1つ）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問29 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問30 新聞を読んでいますか（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問31 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（○は1つ）

1. 趣味あり（ ） 2. 思いつかない

問32 生きがいがありますか（○は1つ）

1. 生きがいあり ⇒問32-1へ 2. 思いつかない ⇒問33へ

問32で「1. 生きがいあり」と回答した方にお伺いします

問32-1 あなたが生きがいを感じるのどのような時ですか（○はいくつでも）

1. 働いているとき 2. 趣味の会や文化サークルなどの活動
3. ハイキング、釣り、登山などのアウトドアレジャー
4. 体操、グラウンドゴルフ、水泳などのスポーツ活動
5. ボランティア活動 6. 旅行
7. 買い物、ウィンドウショッピング 8. 家族・親族、友人などの仲間とのふれあい
9. 地域活動や近所づきあいなど
10. その他（ ）

問33 あなたが今後の生きがいにしたいことは何ですか（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 働くこと | 2. 趣味の会や文化サークルなどの活動 |
| 3. ハイキング、釣り、登山などのアウトドアレジャー | |
| 4. 体操、グラウンドゴルフ、水泳などのスポーツ活動 | |
| 5. ボランティア活動 | 6. 旅行 |
| 7. 買い物、ウィンドウショッピング | 8. 家族・親族、友人などの仲間とのふれあい |
| 9. 地域活動や近所づきあいなど | |
| 10. その他（ | ） |
| | 11. 特にない |

問34 ふだんから家族や友人と付き合いがありますか（○は1つ）

- | | |
|---------|---------|
| 1. ある方だ | 2. ない方だ |
|---------|---------|

問35 ご近所や地域の方との付き合いはどのようなようすですか（○は1つ）

- | |
|------------------------------|
| 1. よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ |
| 2. あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ |
| 3. ご近所や地域との付き合いはほとんどない |

5 地域での活動について

問36 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれ1つに○

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②体操、グラウンドゴルフ、水泳等スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場（ふれあいサロン・いきいき百歳体操など）	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問44 介護保険サービス以外で、特にどのようなサービスや助け合いがあれば良いと思いますか
(○は5つまで)

1. ごみ出し(ごみ集積所までもっていく)
2. 居間や寝室、台所など普段使っている部屋の掃除
3. 窓拭きやワックスがけなどの大掃除、普段使っていない部屋の掃除
4. 通院の送り迎え
5. 買物の送り迎え
6. 配食(食事の宅配)サービス
7. 安否確認など見守りサービス
8. 大型家具の移動
9. 冷暖房器具の出し入れや電球などの交換
10. 移動販売(自動車で食品や日用品などを自宅近くに販売に来るサービス)
11. 入院した時の病院内での洗濯などの援助サービス
12. 役所や銀行等へ提出する書類などの作成・援助
13. その他()
14. 特になし

7 健康について

問45 現在のあなたの健康状態はいかがですか(○は1つ)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

問46 健康のために特に気をつけていることは何ですか(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 運動をする | 2. バランスの良い食生活 |
| 3. ストレスをためない | 4. 十分な休養・睡眠 |
| 5. 生きがい・やりがいを持つ | 6. お酒を飲まない・飲み過ぎない |
| 7. たばこを吸わない | 8. 歯や口腔の健康 |
| 9. 人との交流を持つ | 10. その他() |
| 11. 特に何もしていない | |

問47 具合が悪くなったときにいつも診てもらう「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」は決まっていますか(①~③それぞれ1つに○)

①かかりつけ医

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1. 決まっている | 2. 決まっていない | 3. 受診したことがない |
|-----------|------------|--------------|

②かかりつけ歯科医

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1. 決まっている | 2. 決まっていない | 3. 受診したことがない |
|-----------|------------|--------------|

③かかりつけ薬局

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1. 決まっている | 2. 決まっていない | 3. 使ったことがない |
|-----------|------------|-------------|

問48 あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○を1つ)

(とても不幸) ←————→ (とても幸せ)
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問49 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問50 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問51 お酒は飲みますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

問52 タバコは吸っていますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

問53 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

1. ない 2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病
5. 糖尿病 6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等) 12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気 14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病
17. 目の病気 18. 耳の病気
19. その他 ()

8 認知症対策について

問54 認知症について、以下であなたが知っていたことはありますか（○はいくつでも）

1. 認知症は脳の病気である
2. 早めに受診すれば、認知症の進行を遅らせたり、症状を軽くできたりする場合がある
3. 周囲の適切な対応によって、認知症の症状を軽くできる
4. 運動や食事などの生活習慣を改善することで、認知症を予防できる
5. 認知症になっても感情（喜怒哀楽）は残る
6. 比較的若い年代の人でも認知症になる場合がある（若年性認知症）
7. いずれも知らなかった

問55 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（○は1つ）

1. はい
2. いいえ

問56 認知症に関する相談窓口を知っていますか（○は1つ）

1. はい
2. いいえ

9 成年後見制度について

問57 あなたは、成年後見制度を知っていますか（○は1つ）

1. 知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない

※成年後見制度とは、意思能力が低い状態がある程度の期間続いている場合に、本人の判断を他の者が補うことによって、本人を法的に支援するための制度

10 災害時の対応について

問58 地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか（○はいくつでも）

1. 災害に関する情報（避難指示や勧告など）が入手できるかわからない
2. どこ（だれ）に助けをもとめてよいかわからない（身近に頼れる人がいない）
3. 安全な場所まで避難できるかわからない
4. 災害に対する備えができていない
5. 自分や家族の安否の伝達方法がわからない
6. 健康面・身体面に不安がある（治療中の病気・持病、服薬など）
7. その他（ ）
8. 不安は特にない

問59 災害等で避難が必要な際、身近に頼れる人はいますか（○はいくつでも）

1. 家族・親族
2. 近所の人
3. 友人・知人
4. 自治会の人
5. 民生委員
6. その他（ ）
7. 頼れる人はいない

問60 市では、災害時の支援体制づくりとして、支援が必要な方（災害時要援護者）を対象に市への登録申請を受け付けています*。将来的に、ご自身が支援が必要な状態になった場合、要援護者として登録したいと思いますか（○は1つ）

* 災害時に支援が必要な方（災害時要援護者）が、自身の情報を事前に市に登録し、市がその情報を地域の関係者（自治会長・民生委員・避難支援者）に提供することで、災害時の支援体制づくりに備えています。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 登録したい（検討したい） | 2. すでに登録している |
| 3. 登録したいとは思わない | |

11 市の施策等について

問61 地域包括支援センター（健康福祉センター内にある、高齢者の介護予防のお手伝い、各種相談への対応や権利擁護に関する窓口）を知っていますか（○は1つ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問62 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報は、主にどこから得ていますか。（○は3つまで）

- | | | |
|---------------|---------------------|----------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 | 3. 民生委員 |
| 4. 市役所の窓口 | 5. 市役所の方ムページ | 6. 広報誌 |
| 7. 地域包括支援センター | 8. 介護保険サービス事業者 | 9. 回覧 |
| 10. テレビ | 11. インターネット・スマートフォン | |
| 12. その他（ | ） | 13. 特にない |

問63 市が取り組むべき高齢者の施策として、今後、特に充実させてほしいことは何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 生きがいづくり・地域活動参加への支援 | |
| 2. 就労支援（就労機会の拡大など） | |
| 3. 在宅介護サービスの充実 | 4. 施設介護サービスの充実 |
| 5. いきいき百歳体操などの介護予防事業の充実 | |
| 6. 健康診断など健康管理、健康づくりへの支援の充実 | |
| 7. 緊急通報システムなど一人暮らし高齢者への支援 | |
| 8. 認知症高齢者への支援 | 9. 認知症についての学習機会の充実 |
| 10. 身近な相談窓口の充実 | 11. 高齢者を介護している家族等への支援 |
| 12. 地域のボランティア活動・組織の支援や紹介 | |
| 13. 公共交通機関の充実 | 14. 外出しやすい道路や施設の整備 |
| 15. 高齢者向け住宅の整備 | 16. 災害対策 |
| 17. その他（ | ） 18. 特にない |

被保険者番号[_____]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

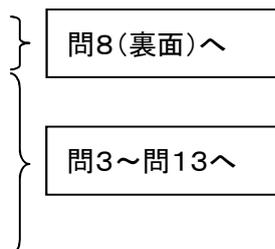
A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある



問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 |
| 15. なし | 16. わからない |

問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問 13 で「2.」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他 |

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方に B 票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。